目次

インディアナ州運転免許証の取得
居住者としての資格 1
インディアナ州で新たに居住者になった場合 1
インディアナ州運転免許の取得 1
免許証の不正使用 1
申請に必要な身元証明 2
非運転者用IDカード 2
運転方法を学ぶ 2
免許証と許可証の種類 2
運転者教育向け許可証 2
教習許可証 3
普通免許証 4
ティーンエイジャーの運転について：ご両親へのメッセージ 5
ティーンエイジャーのリスク要因 5
ティーンエイジャーのご両親のためのヒント 5
ティーンエイジャーのドライバーのためのヒント 5
特殊免許証とその取得条件 6
保護観察下の運転免許証 6
財務責任の同意書 6
他州・外国から移転した新規住民 7
ショーファーライセンス 8
一般乗客用ショーファーライセンス 9
商業運転免許証とCDL教習許可証 9
オートバイの教習許可証、一時的教習許可証 10
オートバイ専用運転免許証 11
他州の免許証をもつ者によるオートバイ運転認可書の取得 12
免許証と許可証の種類別有効期間 13
モーターボート、動力付き自転車、全地形型車両 13
免許証の更新、変更、再発行 14
氏名の変更 15
住所の変更 15
臓器提供 15
特殊免許証の種類と運転者に対するサービス 16
写真免除の免許証 16
一時的免許証／認可証 16
従軍 17
国際運転許可証 17
障害者と通訳者向けサービス 17
身体障害者向け駐車ステッカー 17
投票者登録手続き 18
運転免許証の取得に必要な試験や検査 18
視力検査 18
筆記試験 19
路上での実地試験 20
実地試験免除資格 20
免除資格の喪失 21
実地試験の予約 21

実地試験の一般的内容 ....21 -22
運転免許証に表示される制限マーク 23
第2章：道路標識と路上マーク
道路標識と標識の色 ....24 -25
言葉とシンボルによる表示 26
規制標識 27
踏切りの標識 27
五角形の標識 28
道路工事中・メンテナンス中の標識....28
案内標識 29
ゆっくり動く車につけるステッカー 30
交差点での交通制御 30
交差点を直進する車両 30
交差点で曲がる車両 30
点滅している信号 31
歩行者用の信号 31
『停止』『譲れ』の標識
....32
信号も標識もない交差点 32
第3章：安全運転と交通法規
車線と路上マーク 33
安全に曲がるための規則 34
正しい車線から正しい車線へと曲がる 34
これから曲がるという合図 35
交通信号が赤のときに合法的に右折する 36
ロータリー型交差点 36
左折の際の特別例外 37
Uターン 37
左折専用の中央車線からの左折 37
追越しの規則 37
歩行者の安全性....38
歩行者が盲人のとき....38
駐車規則／道路と平行に駐車する 39
バックさせる 39
違法な駐車区域 40
速度制限 40
州間高速道路での安全運転 41
特別状況における最高制限速度 42
前車との間隔 42
安全ベルトと子供用安全シート 43
安全ベルト 43
チャイルドシート・システム....43
助手席のエアバッグ 43
特定の状況での安全運転 44
夜間の運転：視界と疲労 44
ヘッドライトの使用 44
特定の天候での運転 44
冬季の運転 44
雨降りの中の運転 45

霧の中での運転 46
鉄道の踏切り 46
緊急用の車両 47
道路の建設工事とメンテナンス・エリア 48
点滅する矢印の掲示板 49
手合図による交通制御 48
道路の共有 50
トラックとの道路の共有 50-52
オートバイ、自転車、その他の車両との道路の共有 52
自転車の安全性 53
ゆっくり動く車両 54
安全な携帯電話の使用 54
スクールバスに関する規定 55
突起した荷物、ランプ、ライトに関するトラックの規定 56-58
教習許可証と運転免許証に関するサンプル質問 59
ショーファーライセンスと一般乗客向けショーファーライセンスに関する
サンプル質問 60
オートバイに関するサンプル質問 61
第4章：緊急時
車道から外れたとき 62
悪天候と運転 62
水中に落下したとき 62
鉄砲水に襲われたとき 62
車の故障 63
タイヤのパンク 63
ブレーキの故障 63
イグニッションのロックポジション 63
交通事故、負傷、死亡の主な原因 63
飲酒や薬物を服用したドライバーの発見法 63
衝突事故の回避 64
事故に遭遇したときの対処法 64
単車事故 65
事故報告書に記入する 65
自動車盗難の回避 65
運転中にカッとなる(Road Rage) 66
警察官による一般的な停止命令 66
一酸化炭素中毒 66
第5章：年配ドライバーのためのヒント
視力 68
聴力と機敏性 68
反応力と反射力 69
様々な運転状況に対応するには 69
郊外・田舎道、市中運転、駐車場 69
高速道路での運転 70
雪や氷の上での運転 70
夜間の運転 70
第6章：運転免許証の停止、取消、無効処分
裁判所の命令による強制的停止処分 71
緊急用車両、停車中の救助車、停車中の道路舗装車 72

交通違反で出廷しなかったとき、罰金をはらわなかったとき 73
交通違反の常習者 73
自動車損害賠償保険をかける義務を怠ること 74
保険をかけていない場合 74
保険の証明書を提出しなければならないとき 74
中途退学に対する免許証の無効措置 75
度重なる違反行為 75
運転者改善安全責任(DISR)部門 75
行政公聴会 76
BMV運転者改善プログラム 76
いつ必要か／自発的な受講 76
運転手改善プログラム・コースの強制的受講を怠ったとき..... 77
BMVに不渡り小切手で支払った場合 77
船や水上機の操縦に関する免許停止処分.....77
子供の養育費の支払いを怠ったことによる免許停止処分 78
いたずら書きに対する免許停止処分 78
第7章：車両の所有権取得と登録
車両の所有権証明書 79
車両の登録とライセンスプレート 79
BMV エクスプレスを使った四通りの更新方法 80-81
インディアナ州車両管理局(BMV)の歴史.....82-83

私どもの使命…

インディアナ州車両管理局は、運転免許の提供、車両の登録と所有権の確立、税金の収集ならびに配布、そしてこれらの機能に関連した記録の管理において、プロに徹した効率的なサービスを提供することに最善の努力を払います。

お問合せは以下の住所へ：
Bureau of Motor Vehicles
100 North Senate Avenue
Indianapolis, Indiana 46204

DRIVEN TO SERVE
お客様への奉仕
それが私どもの使命です

第1章
インディアナ州運転免許証の取得

居住者としての資格

車両の登録と運転免許証の取得に関する限り、「インディアナ州居住者」とは以下のいずれかに当てはまる人を指しています。

- インディアナ州内に暦年1年間のうち最低183日間在住しており、しかも他州に法定住居を有していない者。
- インディアナ州で投票者として登録している者。
- インディアナ州内の公立小中学校に子供を入校させた者。

インディアナ州で新たに居住者になった場合

インディアナ州の居住者になったときは、**60日以内**に車両の所有権を取得し、車両登録を行い、インディアナ州の運転免許証を取得しなければなりません。但し、以下のいずれかの目的のためにインディアナ州に在住している者については、ここで定義される「居住者」には該当しません。

- 高等教育機関に通う者。
- 合衆国軍に服役する者。
- 公道において特定の特殊建設機器を一時的に操縦する者。
- インディアナ州の居住者ではなく、現在、他州の有効な運転免許証を有しており、しかもインディアナ州運転免許証に相当する種類の免許証を取得できる最低年齢に達している者。

インディアナ州運転免許証の取得

インディアナ州運転免許証は、車両管理局（BMV）の発行する身分証明書で、この中には、車両の運転に関して免許証保持者に与えられた特権の範囲が示されています。運転免許証は、警察官がドライバーの身元を確認し、その人の運転記録にアクセスするために利用されます。さらに個人が自分の身元を証明するためにも利用されます。小切手を書くとき、航空機に搭乗するときなどはその一例です。インディアナ州で車両を運転するには、BMVの発行した有効なインディアナ州運転免許証が必要で、しかも各自が運転する車両の種類に該当するものでなければなりません。インディアナ州で車両を運転することは、ドライバーに付与された**特権**であって、権利ではありません。

運転免許証は、州内でそれを扱うBMVの支店で申請することによって取得できます。最寄りの支店の住所や、免許証の更新に何が必要かを調べるには、電話帳かインターネット（www.bmvexpress.IN.gov）をご利用ください。

このマニュアルには、BMVの発行する様々な種類の運転免許証の取得条件が詳しく説明されています。

お忘れなく： 運転免許証を受け取ったときは、その場で各自の氏名、住所、身体の特徴、誕生日に誤りがないかどうか必ずお調べください。誤りを見つけた場合は、支店を出る**前**にカスタマーサービスの係員にその旨をお伝えください。

免許証の不正使用

免許証の悪用と不法な偽造 （IC 9-24-16-12; 9-24-18-2,7）
以下の行為は刑事罪に問われます。

- 虚偽または不正な運転免許証や非運転者用IDカードの作成、もしくは、こうした作成の手助けをすること。

- 他者の運転免許証または非運転者用IDカードを自分のものとして使用すること、または、自分の運転免許証または非運転者用IDカードを他者に使用させること。
- 自分が利用する目的で、または、他者に利用させる目的で、運転免許証あるいは非運転者用IDカードを偽造したり、不正に複製すること。

さらに、現行の刑事罪に加えて、虚偽または不正な免許証申請書の作成に携わった者、またはこのような作成の手助けを行った者についても、本人に付与された運転の特権が最高1年間、BMVにより停止されます。

申請に必要な身元証明

インディアナ州の運転免許証、運転練習用の許可証、IDカードを申請するときは、自分の身元を証明するものが必要となります。

BMVでは、インディアナ州の運転免許システムの安全性を高めるため、他の多数の州に加わって、運転免許証に関する方針の改正に携わってきました。この方針は、ID詐欺を防止するためのもので、これまでより多くの確認書類の提出を義務付けています。

運転免許証は、保有者の身元を確認する手段として全国的に受け入れられています。従って、インディアナ州の運転免許システムの安全性をできる限り高めることは、保有者の身元を保護するうえで非常に重要となっています。

BMVでは、身元確認に用いられる運転免許証の信頼性を確保するため、受け入れ可能な身元証明（これには、氏名、誕生日、インディアナ州内の住所、ソーシャルセキュリティ番号が含まれる）についてのガイドラインを設定しました。現在受け入れられているIDのリストについては、運転免許証を扱う最寄りのBMV支店で詳細を訊ねるか、BMVのウェブサイト（www.bmvexpress.IN.gov）をご覧ください。

非運転者用IDカード

BMVでは、車両を運転しないインディアナ州住民にIDカードを発行しています。このIDカードは、普通の運転免許証に似ていますが、カードの上部に非運転者用IDカードであることが明示されており、保有者の情報の背後に濃いピンク色のアルファベット文字で「ID」と印刷されています。非運転者用IDカードを入手するには、身元と誕生日を証明する文書を現行のIDリストの中から選んで、申請時の規定に見合ったものを提出する必要があります。非運転者用IDカードは年齢を問わずに誰でも取得できます。なお、シニアの方と身障者の方に対しては割引料金が適用されます。

運転方法を学ぶ

免許証と許可証の種類

BMVは、様々な種類の運転免許証を多数発行しています。一般の方々はたいてい普通免許証だけを必要とします。運転方法を学んでいる人には特別許可証も発行しています。以下の項目では、BMVの発行する様々な免許証や許可証の種類、各免許証または許可証の取得条件、各免許証または許可証のもとで認められている運転上の特典の範囲について詳しく説明しています。

運転者教育向け許可証（Driver Education Learner Permit）

運転者教育向け許可証は、生徒がBMV公認の運転者教習コースをとるためだけに発行される限定的な許可証です。

取得条件：
運転者教育向け許可証を入手するには、申請者が以下の資格をもつ必要があります。

- 発行時において少なくとも15才に達している。

- 身元と誕生日を証明する書類を提出している（現行のIDリストの中から選択）。
- BMV公認の運転者教習プログラムへの登録証明書を提出している。そのためには、生徒の学校で運転者教習証明書（Driver Education Form: CDE）の用紙を入手し、これに正しく記入し、日付を明記したうえで、クラスの開始日の少なくとも3週間前に同証明書をBMVに提出する必要があります。
- 標準視力検査に合格している。
- 申請者が18歳未満であるときは、申請書の財務責任同意書の欄に適切な家族の一員が署名している（本マニュアルの７ページに掲載された財務責任の項を参照）。

運転上の特典の範囲：
運転者教育向け許可証を受けた者は、公認の運転者教習プログラムの開始後、以下のいずれかの者が同伴している場合に運転の練習を行うことができます。
- 運転席と助手席の両方にブレーキが備わった車両の前座席に認定の運転指導員が同乗している場合。
- 有効な運転免許証をもつ親、義理の親、保護者が助手席に同乗している場合。この許可証の保有者が運転者教習プログラムをきちんと修了し、許可証に教員の認可を得たならば（つまり、クラスでの成績、実地練習の成績、学校の認可印または印章、終了日、教員の署名があること）、助手席に親、保護者、義理の親、他の親戚の同伴のうえで運転の練習を始めることができます。その際、同伴者は有効な運転免許証を持参したうえで車両に同乗する必要があります。

法律上、運転者教育向け許可証だけでは、いかなる場合も、単独で運することはできません。

ご注意：運転者教習コースを完了しなかった場合、または、コースで義務付けられた項目のすべてを満たさなかった場合には、この許可証は無効となります。このようなときは、16才になってから、運転免許証を扱う最寄りの支店に戻り、筆記試験を受け、それに通ったならば、許可証を申請してください。また、運転者教育向け許可証の有効期限が切れたときは、それに伴う特典もすべて失われます。

教習許可証（Learner Permit）

教習許可証は、運転免許証をとる資格を得るために運転の練習をする者が取得することができます。

取得条件：
認証済みの教習許可証を得るには申請者が以下の資格を満たしていなければなりません。
- 少なくとも16才に達している。
- 身元と誕生日を証明する書類を提出している（現行のIDリストから選択）。
- 標準視力検査に合格している。
- このマニュアルに含まれる情報についての筆記試験に合格している。
- 申請者が18歳未満であるときは、申請書の財務責任同意書の欄に適切な家族の一員が署名している（本マニュアルの7ページに掲載された「財務責任」の項を参照）。

運転上の特典の範囲：
この場合の特典の範囲は、**許可証の保有者の年齢によって異なります。**
- 保有者が18歳未満の場合は、有効な運転免許証を持参した少なくとも21才の親、保護者、義理の親、他の親戚が車両の助手席に同乗しているときだけ運転の練習ができます。

- 保有者が18歳以上の場合は、有効な運転免許証を持参した者が車両の助手席に同乗しているときだけ運転の練習ができます。

法律上、教習許可証だけでは、いかなる場合も、単独で運転することはできません。

ご注意：教習許可証の有効期限が過ぎた場合は、適切な試験にパスしたうえで新規の教習許可証を取り直し、それを60日間保持する必要があります。

普通免許証（Operator License）

普通免許証は、18才以上の保有者に対して、大半の標準型車両をインディアナ州の路上で運転できる特典を与えています。18才未満の者に与えられる普通免許証は保護観察下に置かれます（本マニュアルの6ページに掲載された「保護観察下の運転免許証」の項を参照）。

なお、この運転免許証ではオートバイを運転することはできません。

さらに、この運転免許証は、運転手として雇われたり、あるいは従業員として、総重量（Gross Vehicle Weight Rating: GVWR）16,000ポンド以上の車両に貨物を積載して輸送することや、人々の輸送のために運転することを許可しておりません。

インディアナ州の住民は、同州の運転免許証によって付与された権限のもとで全米の州で車両を運転することができます。

取得条件：

普通免許証を取得するには、申請者が以下の条件を満たしていなければなりません。

最低年齢：

- 申請者が有効な運転者教育向け許可証を60日間保持し、BMV公認の運転者教習コースの所要事項をすべて満たしたうえでコースを終了した場合は、16才と30日。

ご注意：　運転者教育向け許可証には、クラスでの成績、実地練習の成績、学校の認可印または印章、終了日、教員の署名が必ず含まれていなければなりません。

- 申請者が有効なインディアナ州教習許可証を60日保持した場合は、16才と180日。
- 身元と誕生日の証明書を提出している（現行のIDリストから選択）。
- このマニュアルに含まれる情報についての筆記試験に合格している（適用される場合に限られる）。
- 標準視力テストに合格している。
- 18才未満の場合は、申請書の財務責任同意書の欄に適切な家族の一員が署名している（本マニュアルの７ページに掲載された「財務責任」の項を参照）。
- 申請者に免除資格がない限り（本マニュアルの20ページに掲載された「運転者教習コースを修了した者に対する運転試験の免除資格」の項を参照）、申請者の車でBMVの運転試験官と共に運転技術の実地試験を受け、これに合格する（本マニュアルの20ページに掲載された「運転試験」の項を参照）。

ご注意：教習許可証または運転者教育向け許可証をもつ者が普通免許証を申請したときは、筆記試験と実地試験を一組とする試験に3回以内で合格する必要があります。さらに最初の2回の試験に落ち、そのうちの1回が実地試験で落ちた場合は、14日間待ってから3度目の実地試験を受けることになります。
筆記試験を口頭で受けたい場合は、運転免許証を扱う最寄りの支店に連絡して予約を取る必要があります。（詳細は21ページをご覧ください。）

ティーンエイジャーの運転について：ご両親へのメッセージ

米国の国家道路交通安全局（NHTSA）によると、車の事故でティーンエイジャーが死亡する割合は、シニアを含めた他のどの年齢層よりも高いと報告しています。中でも最悪なのは16才の子供たちで、運転経験が最も浅く、心身ともにまだ未熟なため、危険を顧みずに無謀な運転をすることがよくあります。

リスク要因：

- 注意散漫：ドライバーが不注意だったり気が散ることが、何重衝突もの事故を引き起こす最も一般的な原因となっています。
- スピードの出し過ぎ：スピード違反／危険なスピードで運転することが単独衝突を引き起こす最も一般的な原因となっています。ティーンエイジャーは特に目前の状況に合せてスピードを調整するのが上手ではありません。
- 安全ベルトの未着用：安全ベルトを正しく着用していれば、同乗の人が死亡する危険が減ります。
- 交差点に入る前に周囲の交通状況をチェックしない：ティーンエイジャーが引き起こす衝突事故で最も多い場所は交差点です。運転経験がまだ浅いために、相手との距離や相手のスピードがどれほどかを判断する力がないからです。
- 他のティーンエイジャーが同乗している：同乗者がいると衝突事故を起こす危険性が高まります。ティーンエイジャーのドライバーにとって、同乗者が多ければ多いほど、この危険が増大します。

ティーンエイジャーのご両親のためのヒント：

- 自分が運転するときに模範を示す。
- 常に安全ベルトの着用を義務付ける。
- ティーンエイジャーが教習許可証をとったら、一緒に時間をかけてじっくりと練習させる。運転免許証をとった後も最初の1年間は同じように練習させる。
- 濡れた路上、積雪、高速道路、田舎道、夜間の運転など、様々な運転条件をティーンエイジャーに体験させる。慣れていない道路で練習させる。
- 車を選ぶときは、外見ではなく安全性をもとにする。
- 各自の家庭で適切と思われる運転上のルール、責任、罰則について時間をかけて話し合う。
- 運転上の特典を徐々に増やしていくための対策を練る。ティーンエイジャーが運転の経験をつけ適切な判断を下せるようになったら、運転上の責任も徐々に増やしていく。

調査を見ると、新参ドライバーでも、親や保護者の監督の行き届いた者はほとんど衝突事故を起こさないという結果が出ています。安全運転に必要な技能を養うのは複雑な作業で、長時間にわたる練習だけでしか身につけることはできません。運転者教習コースは最初の一歩を踏み出しただけであって、ティーンエイジャーに運転方法を教える際は両親が重大な役割を果たしています。

ティーンエイジャーのドライバーのためのヒント：

- 車内全員が常にシートベルトを着用する。
- 運転中に周囲がよく見えるよう、座席とバックミラーの位置を必要に応じて常に調節する。
- 運転中にラジオや、カセットテープ、CDプレーヤーなどを操作しない。たとえ数秒でも道路から注意をそらすと事故を起こしかねないため、車を道路わきに停められるまで待ってから操作した方がよい。

- ラジオの音量を上げ過ぎない。トラブルの可能性を知らせるサイレンや警笛を聞き逃す場合がある。
- 運転中に電話で話したり、化粧をしたり、髪をとかしたり、飲食しない。
- 薬物を服用したり、薬物を服用した者と同乗しない。薬局で買える薬剤でも眠気をさそうものがある。
- 飲酒運転は絶対しない。また飲酒した者と同乗しない。
- 交差点で信号が緑色になっても、すぐに発車させないで前方・左右に車や人がいないかどうか確かめる。
- 赤信号を無視して通らない。
- スピード制限を守る。スピードの出し過ぎは、何かあったときに急停止できず、即応もうまくできない。

このインディアナ州運転者用マニュアルは、安全なドライバーとなるための情報を皆様にお伝えしています。

事実を知ろう：米国の国家道路交通安全局によると、インディアナ州は、ティーンエイジャーの衝突事故による死亡率で全米第19位にランクされています。この仲間入りをせず、安全運転を心がけましょう！

特殊免許証とその取得条件

保護観察下の運転免許証（Probationary License）

インディアナ州法典（IC） 9-24-11-3には、18才未満の者に発行される免許証は「保護観察下の運転免許証」であると記述されています。

ご注意：　この法律は、まだ18才の誕生日を迎えていないドライバーで、保護観察下の運転免許証を持つ者だけに適用されます。このようなドライバーが18才になり、免許証上に明記された「保護観察下」という言葉を取り除きたいと希望する場合は（但し、これは義務づけられているのではなく、個人の選択によるものです）、免許証を取り扱う最寄りの支店で、免許証の内容変更を申請することができます。この申請には手数料がかかります。

保護観察下の運転免許証を有する者については、この免許証が発行されてから90日間は、少なくとも21才で有効な運転免許証をもつ者が助手席にいない限り、<u>他者を同乗させて運転することはできません</u>。

保護観察下の運転免許証の保有者に対するシートベルト着用の義務

保護観察下の運転免許証をもつ者は、<u>本人と同乗者全員がそれぞれ安全ベルトを正しく身体に着用し</u>、車両が走行している間は常に着用し続けるという条件のもとだけで、車両（トラックも含む）を運転することができます。

財務責任の同意書（IC 9-24-9-3,4 および 5）

許可証または免許証の申請者が18才未満であるときは、財務責任の同意書を申請書に添えて提出する必要があります。財務責任の同意書は、18才未満の未成年の申請者が車両の事故／衝突を引き起こした結果、怪我や損害が発生したときに、偽証罪の罰金規定のもとで、ある者に対して怪我や損害にかかる法律上の全責任を負うよう同意させる方法です。この財務責任の合意書は、申請書の用紙の中に宣誓供述書という形で含まれ

ているほか、別途の用紙も用意されています。いずれの場合も、免許証を扱う最寄りの支店で入手し、公証人（Notary Public）の立会いのもとで署名する必要があります。

なお、許可証または免許証の申請者が18才未満の未成年者である場合は、免除されていない限り、以下の優先順で財務責任者の署名を受けなければなりません。

- 未成年申請者の後見人である親、または後見人である親により指定された者。
- 未成年申請者の後見人としての権利をもたない親（IC 31-9-2-83参照）、またはこのような親により指定された者。
- 未成年申請者に両親がいない場合、この申請者の後見人として指定されている保護者、未成年者の後見人または保護者として指定されている者が財務責任の同意書に署名できる。
- 上記に該当する者がいない場合、この章の項目で義務付けられた責任を自発的に受け入れる他の成人。

ご注意：　財務責任の同意書に署名する者は身元と年齢を証明する書類（現行のIDリストから選択）を提示しなければなりません。

財務責任の終了：

財務責任は以下の三通りの場合に終了します。

- 未成年者が満18才に達した場合。
- 財務責任の宣誓供述書に署名した者が死亡した場合。この場合は、別の資格をもつ者が宣誓供述書に署名する必要があります。
- 財務責任を負う者が、この責任を破棄する旨を宣誓供述書に署名し（この用紙は免許証を扱うどの支店でも入手可能）、以下の住所に郵送した場合。

BMV Driver Services, Room N405
Indiana Government Center North 100 North Senate Avenue
Indianapolis, Indiana 46204

ご注意：　財務責任が終了した場合は、未成年の申請者が保有する免許証も満18才になるまで無効となります。

他州の写真入り運転免許証（有効なもの）を持った新規住民

他州、コロンビア特別地区、または米管轄領の発行した写真入り運転免許証（有効なもの）を持つ者がインディアナ州の普通免許証を申請する場合は、筆記試験と視力検査に合格しなければなりません。他州の発行した運転免許証が失効してから1年以上経っている場合には、筆記試験と視力検査に加えて、実地運転試験にも合格する必要があります。

申請者が18才未満のときは、申請書の財務責任同意の欄に適切な家族の一員の署名が必要となります。

ご注意：　保有者が以前持っていた免許証はインディアナ州の運転免許証の発行時に没収されます。

外国の運転免許証を持った新規住民

インディアナ州の住民となる予定ではない者は、1年間、外国の運転免許証でインディアナ州内を運転することができます。この場合、外国の運転免許証のほかに国際運転許可証（International Driving Permit）が必要となります。一方、インディアナ州の住民と

なる予定で、インディアナ州の運転免許証を取得したい者は、まずインディアナ州の教習許可証をとるためのガイドラインに従う必要があります。

BMVは、インディアナ州の住民の運転記録と身元記録を安全に保護することに全力を注いでいます。そのため、米国土安全保障省 （DHS）、旧市民権移民局 （CIS）、または移民帰化局（INS）、あるいはこれらすべての機関から受け取った書類については、正確であるかどうかを必ず認証しています。

免許証を扱う支店に提出され受理された国土安全保障省からの書類はすべて、一ヵ所で認証作業が行われます。そのため、BMVでは、60日間有効な「認可書（Letter of Authorization）」を発行して、皆様の便宜を図っています。

ご注意： 運転免許証または許可証に対して発行された「認可書」とは、提出された書類の真偽を確認している間に車両の運転を許可する書類です。従って、これを身分証明書として、または商業運転免許証（CDL）をとるための許可証として利用することはできません。

インディアナ州の運転免許証、教習許可証、IDカードの新規申請または再発行の申請を行うときに、申請者がDHSからの書類を身元証明書として提出し、適切な金額の料金を支払うと、この書類は中央認証プロセス（Central Verification Process: CVP）に送られます。同書類が有効であると判断されたときは、CVPの係員から免許証、許可証、またはIDカードが直接申請者に送付されます。同書類が認証されなかった場合は、この決定の再審査を求める行政審査の手続き方法についての説明書が申請者に送られます。書類が認証されなかった場合でも、料金の払戻しは行われません。

ご注意：外国の運転免許証は、身分証明や運転経験を示す証明として受け入れられておりません。従って、インディアナ州の教習許可証、運転免許証、IDカードが発行されても、外国の運転免許証は没収されません。但し、米管轄領で発行された免許証は没収されます。

ショーファーライセンス（Chauffeur License）

ショーファーライセンスは普通免許証に与えられた特典のすべてが付与されます。加えて、総重量（GVWR）が最低16,000ポンドから**最高**26,000ポンド未満まで（一台の重量か、牽引車などを加えた総重量かを問わず）の車両を、雇われ運転手または従業員として、貨物を輸送するすることが許可されています。但し、ショーファーライセンスは、雇われ運転手として乗客を乗せて（バスであるか、タクシーであるかを問わず）運転することは**認可されておりません**。

取得条件：

ショーファーライセンスの申請者は以下の条件を満たしていなければなりません。

- 少なくとも満18才に達している。
- 免許証をもつドライバーとして最低一年間の運転経験をもつ。
- ショーファーとしての知識を試す筆記試験に合格している（特定の状況では普通免許証の筆記試験も受けなければならないことがあります）。
- 標準視力検査に合格している。

身体面の資格については運輸省（Department of Transportation：DOT ）でお調べください。

ご注意：ショーファーとしての知識を試す筆記試験は、この免許証の更新時には義務付けられておりません。但し、申請者が以前申請してから違反行為として6ポイント以上累積している場合は例外とします。

一般乗客用ショーファーライセンス（Public Passenger Chauffeur License）

一般乗客用ショーファーライセンス（PPC）は、雇われ運転手として乗客を輸送するための特典を付与しています。但し、**ドライバーも含めて16人以上輸送できると認定された車両、または、16人以上の輸送に使用されている車両は、使用することができません**。PPCの免許証をもつ者は、普通免許証やショーファーライセンスをもつ者に許可されている車両も合法的に運転することができます。この免許証の申請者として最も一般的なのはタクシーやリムジンの運転手です。

取得条件：
一般乗客用ショーファーライセンスの申請者は、普通免許証の取得条件に加えて、以下の条件を満たしていなければなりません。

- 少なくとも満18才に達している。
- 免許証をもつドライバーとして最低2年間の運転経験をもつ。
- 一般乗客向け運転手としての知識を試す筆記試験に合格している。特定の状況においては普通免許証の筆記試験も受ける必要がある場合もある。

この免許証の申請者は、インディアナ州書式3337「医師診察書」のオリジナル版（コピーは受領されませんのでご注意ください）を提出する必要があります。この用紙は、免許証を扱う全支店で入手できるほか、オンライン（www.bmvexpress.IN.govで「BMV Forms」を選択）でも入手可能です。**ご注意：BMVでは、一般乗客用ショーファーライセンスの取得条件として州書式3337だけを義務付けていますが、連邦車両安全規則（Federal Motor Carrier Safety Regulations：FMCSR）においては特定の種類の車両の運転に際して運輸省（DOT）の身体検査を義務付けている場合もあります。このFMCSRの規則については以下のウェブサイトをご覧ください（http://www.fmcsa.dot.gov）。**

- 医師診察書は、申請後30日以内に、申請者が一般乗客を乗せた車両の運転能力に悪影響を及ぼすような精神的・肉体的障害を患っていない旨を、医師の免許を持つ者が記入する必要があります。

ご注意：PPCの更新のときも、医師診察書の提出が義務付けられているほか、申請者は標準視力検査にも合格する必要があります。筆記試験は受ける必要はありませんが、申請者が以前の申請時以来、違反行為を6ポイント以上累積している場合は筆記試験を受けなければなりません。

商業運転免許証（Commercial Driver License: CDL）と CDL教習許可証（CDL Learner Permit）

CDLは、以下に定義された商業用車両を運転するときに必要となります。CDLの教習許可証は商業用車両の運転を練習するためのものです。商業用車両とは、以下のいずれかに該当するものを指します。

- 一台の車両（または、複数の車両を組み合わせたもの。例：セミトラクター・トレーラー）の申告総重量（Declared Gross Vehicle Weight Rating：DGVWR）が26,000ポンド以上の車両。
- ドライバーを含め16人以上を輸送できると指定された車両、または16人以上の輸送に使用される車両。

- 危険物の輸送に使用される車両、またはその旨が表示された車両。

取得条件：
CDL教習許可証とCDLの取得条件は一般に、他のどの免許証よりも厳しく、厳格な連邦車両安全規則に基づいて規定されています。**従って、CDLの申請を希望する者は、まず免許証を扱う最寄りの支店か、またはオンライン（www.in.gov/dor 「Forms and Publications」を選択、あるいは www.bmvexpress.IN.gov「Driver License」を選択）で、歳入局車両サービス（Department of Revenue Motor Carrier Services）の発行するCDLマニュアルを入手して詳細を学ぶよう強くお勧めします。**

基本的な取得条件としては以下の内容が含まれます。
- 乗客の輸送の場合は最低21才、インディアナ州内で貨物を輸送する場合は最低18才に達している。
- 免許証をもつドライバーとして最低1年の運転経験をもつ。
- CDLの種類に応じて適切な筆記試験（詳細の知識を試すもの）に合格している。
- 運転技能の徹底的な実地試験に合格している。
- 連邦車両安全規則に基づき身体面の適正を調べる委細な身体検査に合格している。

重要：　乗客や貨物の輸送に際し、一台の動力付き車両の総重量（GVWR）または、動力付きでない牽引車と組み合わせた総重量（Combined Vehicle Weight Rating）が10,000ポンド以上の車両を公道で運転する予定のときは、CDLマニュアルをよくお読みください。

オートバイの教習許可証、免許証、または運転認可書の取得条件

インディアナ州でオートバイを合法的に運転するときは、インディアナ州オートバイ教習許可証かインディアナ州オートバイ専用運転免許証を取得するか、またはインディアナ州運転免許証上にオートバイ運転認可を加えてもらうか、いずれかが必要となります。

以下は、そのための許可証、免許証、認可書を取得する方法を説明しています。**オートバイを合法的かつ安全に運転するうえでの詳細情報は、オートバイ運転者マニュアル（Motorcycle Operator Manual）に載っています。このマニュアルは免許証を扱う最寄りの支店で入手可能です。**

オートバイ教習許可証（Motorcycle Learner Permit）

オートバイ教習許可証は、運転免許証にオートバイ運転認可証を加えてもらう資格のある者がオートバイの運転の練習をするためのものです。

取得条件：
オートバイ教習許可証の申請者は以下の資格を満たしていなければなりません。
- **有効なインディアナ州運転免許証を持っている。**
- 必要な場合は、身元と誕生日を証明する書類（現行のIDリストから選択）を提出している。
- オートバイ運転者マニュアルに載っている情報を習得しているかを問うオートバイ筆記試験に合格している。
- 標準視力検査に合格している。
- 18才未満の場合は、申請書の財務責任同意欄に適切な家族の一員が署名している（このマニュアル７ページの財務責任の項を参照）。

運転上の特典の範囲：

オートバイ教習許可証の保有者は、以下の制限内で、1年間オートバイの運転の練習が認められています。

- ヘルメット（連邦規則（49CFR571.218）に基づき米運輸省が設定した基準を満たすもの）を着用する。
- 日中だけオートバイの運転を練習できる。
- オートバイに他者を同乗させない。

一時的オートバイ教習許可証（Temporary Motorcycle Learner Permit）

一時的オートバイ教習許可証はオートバイ運転教習コースを受ける者に発行されます。

取得条件：

一時的オートバイ教習許可証は、次の資格を満たす申請者に与えられます。

- 少なくとも15才に達している。
- 身元と誕生日を証明する書類（現行のIDリストから選択）を提出している。
- 認可されたオートバイ運転教習プログラムに加入し、加入証明書を提出している。
- 標準視力検査に合格している。
- 申請者が18才未満の場合、申請書の財務責任同意の欄に適切な家族の一員が署名している（このマニュアル７ページの財務責任の項を参照）。

運転上の特典の範囲：

一時的オートバイ教習許可証を取得した者は、認可された運転指導員のみによる直接の監督下で、認定のオートバイ教習・訓練コースに参加している間に、路上またはハイウェイでオートバイの運転を練習することができます。その際の指導員は、州教育委員会または車両管理局（BMV）によりオートバイの運転教習コースで教えるための許可証を取得していなければなりません。このコースをきちんと修了した後は、以下の制限のもとでオートバイの運転が可能になります。

- 許可証の保有者は、オートバイの免許証を持つ最低18才の者の監督下で運転する。
- ヘルメット（連邦規則（49CFR571.218）に基づき米運輸省が設定した基準を満たすもの）を着用する。
- 日中だけオートバイの運転を練習できる。
- オートバイに同乗者を乗せないこと。

オートバイ専用運転免許証（Motorcycle-Only Operator License）または認可書（Endorsement）

オートバイ専用運転免許証またはオートバイ運転認可書には、保有者がオートバイを運転できることが示されています。

オートバイ専用運転免許証

取得条件：

- 認可されたオートバイ運転教習コースを修了したことを示す書類を提出する。
- オートバイ運転者マニュアルに含まれる情報をよく習得したかを問うオートバイ筆記試験に合格する。
- 最低年齢である16才と30日を経過している。
- 18才未満の場合は、申請書の財務責任合意の欄に適切な家族の一員が署名している（このマニュアル７ページの財務責任の項を参照）。

オートバイ専用運転免許証を取得した者がのちに普通免許証を申請するときは、オートバイ専用運転免許証を破棄しなければなりません。さらにこの者は、普通免許証の

申請に先立って、運転者教育向け許可証か教習許可証を申請し、普通免許証の取得に必要な年齢、期間、筆記試験、実地試験、視力検査などの所要事項を満たしてから、オートバイ運転認可書を加えてもらうための申請を行うことができます。

ご注意：　このオートバイ専用運転免許証を取得するまでの間、申請者はオートバイを運転することはできません。

オートバイ運転認可書のインディアナ州運転免許証への追加：

現在手元にあるインディアナ州運転免許証にオートバイの運転認可書を加えてもらうには、申請者が以下の条件を満たしていなければなりません。

- 手元の運転免許証が有効である。
- 申請者が少なくとも16才と30日に達している。
- 標準視力検査に合格している。
- 有効なオートバイ教習許可証を最低30日間保持している。
- BMVの認可を受けた試験官、または、インディアナ州オートバイ運転安全教育プログラムの認可を受けた試験官によって実施されたオートバイの実地技能テストに合格している。
- 申請者が18才未満の場合は、申請書の財務責任合意の欄に適切な家族の一員が署名している（本マニュアル７ページの財務責任の項を参照）。

ご注意：　運転免許証の更新の際に、オートバイ運転認可書を追加する場合は、標準視力検査に合格しなければなりません。

他州の免許証をもつ者によるオートバイ運転認可書の取得：

他州で発行された免許書を現在持っている場合、申請者はまずインディアナ州の免許証を取得するための条件に従って、インディアナ州運転免許証をとる必要があります。これにオートバイの運転認可書を加えたいときは、オートバイの知識を問う筆記試験に通る必要があります。さらに、運転免許証の有効期限が1年以上経過している場合には、オートバイの実地技能試験を受けなければなりません。

オートバイの実地技能試験については免許証を扱う最寄りの支店にお問い合わせください。

安全上のヒント：　ヘルメットを着用して安全運転を心がけましょう！

重要：　インディアナ州法典（IC）9-21-10-9 には18才未満の者に対してヘルメットやメガネなどの保護装備を着用する内容が記述されています。18才未満の者が路上やハイウェイでオートバイを運転するときは、以下の両方を着用していなければなりません。

- **BMVの最低基準に見合った頭部保護装備。**
- **保護用のメガネ、ゴーグル、または顔を覆う透明な保護シールド。**

免許証と許可証の種類別有効期間

運転者教育向け許可証	
15才3ヵ月になる前の申請	16才になるまで：3ヵ月間
15才3ヵ月以降の申請	1年間
教習許可証	1年間
保護観察下の運転免許証（18才未満）	申請者が21才になるまで有効
普通免許証	6年間
75才～85才未満	3年間
85才以上	2年間
ショーファーライセンス	6年間
75才以上	3年間
一般乗客用ショーファーライセンス	2年間
オートバイ教習許可証	1年間
一時的オートバイ教習許可証	
15才3ヵ月になる前の申請	16才になるまで：3ヵ月間
15才3ヵ月以降の申請	1年間
オートバイ運転認可書	運転免許証の有効期間
IDカード	6年間
特殊IDカード	6年間

運転免許証またはBMV発行のIDカードの保持が義務付けられている他の車両または水上艇

モーターボート：

インディアナ州の法律では、10馬力を超えるエンジンを搭載したモーターボートの操縦には有効な運転免許証が必要であると規定されています。但し、状況によっては運転免許証ではなくBMV発行のIDカードでもよい場合があります。以下は、**モーターボートの操縦に必要な資格**を示しています。

- 15才未満：　15才未満の者は10馬力を超えるモーターボートをインディアナ州で合法的に操縦することは**禁止**されています。
- 15才以上～21才未満：　15才以上、21才未満の者は、以下の条件のいずれかを満たしている場合に限り、合法的にモーターボートを操縦することができます。
  - 有効な運転免許証をもっている。
  - 運転免許証は持っていないが、BMV発行のIDカードを保有しており、しかもインディアナ州自然資源局の認可するボート教習コースを修了した者は、合法的にモーターボートを操縦できる。ボート教習コースについての詳細情報は自然資源局（電話番号：317—233-3149）に連絡すると分かる。また、インディアナ州のボートに関する法律案内書（Handbook of Indiana Boating Laws）を参照してもよい。
- 21才以上：最低21才に達している者は、有効な運転免許証またはBMV発行のIDカードでモーターボートを合法的に操縦することができる。

ご注意：　運転免許証が停止処分になったときは、モーターボートを合法的に操縦することはできません。

動力付き自転車：

一般に「モーペット」と呼ばれる動力付き自転車は、インディアナ州の法律下では、2馬力未満、シリンダー容量50cm^{3}以下、自動変速機付きの車両として区別されています。このような車両は、エンジン付き車両（motor vehicle）とはみなされておりません。

この枠を超えるエンジン付き二輪車はオートバイと呼ばれ、合法的に運転するには、そのための資格を満たさなければなりません。オートバイか、それとも動力付き自転車かどうかを判定したいときは、メーカーの発行した製造地証明書か、所有権証明書（ある場合に限られる）を見ると分かります。

以下は、動力付き自転車を運転するための資格と条件を示したものです。

- 少なくとも15才に達している。
- 運転中に有効な運転免許証かBMV発行の有効なIDカードを持参している。
- 動力付き自転車は高速道路で運転できず、時速25マイル以上のスピードを出してはならない。
- 運転者が18才未満の場合は、頭部保護用の装備と保護用メガネ、ゴーグル、顔を覆う透明なマスクを必ず着用していなければならない。

ご注意：スクーターは、種類によって動力付き自転車の規制を受ける場合と、オートバイとみなされる場合があります。

全地形型車両（ATV）：

2006年1月1日以降にオフロード車を購入した者は、BMVからオフロード車の所有権証明書を取得しなければなりません。2006年1月1日以降にインディアナ州の住民になった者で、モデル年数5年未満のオフロード車を持つ場合は、BMVからこの車両の所有権証明書を取得する必要があります。オフロード車のシリンダー容量（cc）により、どのタイプの車両の運転をどの年令の者に推薦するかが決まります。

ご注意：ATVについての詳細情報は、自然資源局（317-233-3149）にお問い合わせください。

安全上のヒント：　子供たちが動力付き車両を運転するときは、必ずヘルメットを着用しなければなりません。

免許証の更新、変更、再発行、および住所変更届けをBMVに提出する重要性

免許証の更新：

運転免許証は、保有者の誕生日に失効します。誕生日が過ぎてから免許証を更新する場合は、遅延料が賦課されます。免許証の更新は、有効期限の切れる日付の6ヵ月前から、免許証を扱う全支店で受け付けています。免許証が失効してしまった場合は、身元証明の提出規定の項を参照して、失効となった免許証だけで自分の身元を証明できるかどうかを確かめてください。免許証の取扱い支店で免許証を更新するときは、標準視力検査を通る必要があります。以下の条件に従う以外に、免許証を更新するための条件はありません。

- 免許証の更新時にまだ21才に達していない場合、あるいはドライバーの運転記録に違反行為として有効ポイントが6点以上累積している場合は、標準筆記試験を受けなければなりません。
- 75才以上の者については、3年ごとに運転免許証を更新する必要があります。

- 制限番号「4」と明記された免許証（これは運転に際し特殊装置を使用する必要のある者、または、障害により特殊な運転技術を必要とする者に対して課される制限を示したもの）を持つ者については、前に免許証を取得した時以後にドライバーの状態や状況に変化がでたならばBMVの運転試験官と面談する必要があります。その際、BMVの運転試験官は、免許証上の現行の制限番号が妥当かどうかを判断します。

免許証の変更と、住所変更届けをBMVに提出する重要性：

運転免許証の変更は、州内の免許証を取扱う全支店で受け付けています。

氏名の変更:

免許証に表示された名前は、婚姻証明書、離婚判決、または新しい氏名を使う必要性が記述された裁判所命令といったもののオリジナル版か、公証人の証明付き写しを提出することで変更可能です。

住所変更：

重要： インディアナ州法典（IC）9-24-13-4には、運転免許証の保有者の住所が変わった場合、直ちにBMVに知らせるよう規定されています。**この規定に従えば免許証の停止処分を受けずにすみます！** 運転免許証に表示された住所の変更は、免許証取扱い支店で、実在の住所（私書箱では受け入れられません）を示す書類を提示し、所定の料金を支払うことで行えます（住民であることを証明する書類については、以下のウェブサイトwww.bmvexpress.IN.govに掲載されている「現在受け入れられているIDリスト（Current Acceptable ID List）」をご参照ください）。

免許証の再発行：

免許証を紛失したり盗まれた場合には、州内の免許証取扱い支店で再発行してもらうことができます。

ご注意：免許証の再発行を申請するときは、初回の申請時と同様に、身元を証明する書類を提出しなければなりません（現在受け入れられているIDリストの中から選択）。

臓器提供

献体と臓器提供：

どの運転免許証や非運転者向けIDカードを申請するときも、本人の意思により死後の遺体を研究用に寄贈するという欄と、どの程度を寄贈するかという欄が申請書の中に設けられています。献体を希望する者の運転免許証またはIDカードの表面には、赤いハートのマークが付けられます。**インディアナ州の「献体選択法」（州法1628、改訂法IC 29-2-16-2.5）によると、18才以上の者が献体の意思を表明している場合、本人の死後、家族はその意思を取り消すことができないとされています。一方、18才未満の者が献体の意思を表明したいときは、まず親か法定後見人の許可を得る必要があり、さらにこの未成年者の死後も親か法定後見人が献体に同意する必要があります。死後に臓器や皮膚組織、眼球などを提供することに関しては、ご家族とよくご相談のうえ決定するようお勧めします。これについての詳しい情報は、Indiana Donation Alliance Foundation のウェブサイト（www.donatelifeindiana.org）の献体登録の項目をお読みになるか、電話でお問い合わせください（米国内フリーダイヤル：1-888-275-4676）。**

特殊免許証の種類と運転者に対するサービス

インディアナ州住民のための写真免除免許証：

（インディアナ州法典（IC）9-24-12-6）： BMVでは、**一時的にインディアナ州外に住む者**に対して、インディアナ州運転免許証の更新を郵便で行えるようにしており、その際、申請者は以下の条件をすべて満たす必要があります。

- インディアナ州内で免許証の更新ができない適切な理由となるものを提示する（例：軍隊服役、布教）。
- 必須事項をきちんと記入した上で申請書を提出する。
- 必要な料金を支払う。
- 裏打ちとなる書簡（例：上司である指揮官や宗派の長などからの書簡）を提出する。

一時的に州外に在住している者のインディアナ州運転免許証は、以下の条件を満たしている場合に限り、有効期限が切れてもその後30日間は有効となります。

- 免許証の更新申請を提出済みである。
- 免許証の更新申請が却下されていない。

なお、更新された免許証には本人の写真がありません。郵便により免許証の更新を行いたい場合は、以下の住所に連絡して申請書を入手してください。

Bureau of Motor Vehicles
Photo Exempt Request
c/o 531 Virginia Avenue
Indianapolis, IN 46204
電話：（317） 234-0550

宗教上の理由で写真をとることを禁止されている者は、写真の免除された免許証またはIDカードの特別申請をBMVに行うことができます。この特別申請書は、最寄りの免許証取扱い支店で入手するか、上記の住所宛に書面でリクエストしてください。申請者は必要な情報を記入したうえで、各自の属する宗教団体の聖職者、主教、司教、長老、その他の指導者に依頼して、写真の免除された免許証またはIDカードを受ける正当な理由がある旨をこの団体のレターヘッドに書いていただき、この書面を申請書に添えて上記の住所に送ってください。BMVが認可したときは、その旨の書簡が送られてきますので、申請者はこれを免許証取扱い支店に持参して運転免許証を入手する必要があります。

血液型の記述：

2006年7月1日以後に発行される運転免許証、許可証、IDカードには、本人のリクエストにより、血液型を免許証、許可証、IDカードに含めることができます（自分の血液型を証明する書類を提出）。この血液型の情報が正確であるかどうかはリクエストした本人の責任となります。

一時的免許証／認定書：

インディアナ州の運転免許証を持っている者が、インディアナ州外を旅行中にこの免許証を盗まれたり紛失したとき、**有効期限が切れていない限り**、上記の住所に連絡をとり、90日間有効な認定書（Verification Letter）を一通リクエストすることができます。インディアナ州に戻って免許証の再発行を申請するまでは、この認定書を所持することができます。

インディアナ州外または外国を旅行している間に運転免許証の有効期間が切れてしまっていることに気づいたときは、一時的免許証を発行してもらってください。こ

れにより、有効期限の日付から90日間、運転免許証の期限を延長することができます。但し、**これにはある程度の制限が適用されます**。

従軍：

米軍服役のためにインディアナ州外に一時的に滞在している者のインディアナ州運転免許証が失効したときは、本人が除隊してから90日間有効となります。免許証の更新は、本人の除隊後、90日以内に申請する必要があり、その際、除隊したことを証明する書類を提示しなければなりません。

国際運転許可証：

インディアナ州の運転免許証を持つ者が外国で車を運転したいときは、全米自動車協会（American Automobile Association: AAA）の最寄りの支店で許可証を入手することができます。外国人がインディアナ州で車を運転するためには、出発前に自国で国際運転許可証を取得する必要があります。全米自動車協会の自動車関連法規の概要「AAA Digest of Motor Laws」によると、国連道路交通協定（United Nations Convention on Road Traffic）の加盟国に在住している運転免許証をもつ者が真意の旅行者として米国を訪れる場合は、自国の運転免許証で、米国に到着した日付から最高1年間、米国内で運転できると記述されています。但し、この旅行者が米国内で就職したり学校に通い出したときは、旅行者としての地位を失い、在住の州の法規に従ってその州の運転免許証をとる必要があることもあります。この旅行者がインディアナ州の居住者になる意思がある場合には、このマニュアル7ページの「外国の運転免許証を持つ者が新規住民になる場合」の項をご参照ください。

障害者と通訳者向けのサービス：

障害者による運転：

BMVの運転試験官は、標準的車両を普通に運転できない障害者に対して、どのような制限をどれほど設けて運転免許証を発行するかを、障害者ごとに決定できるだけの訓練を受けています。制限付き免許証には、障害者が車を運転する際に必要な設備や、個人ごとの具体的ニーズに沿った他の制限が指定されています。免許証取扱い支店で、制限の内容を決定し、制限付き免許証を発行できる権限は、これらの運転試験官だけに与えられています。制限付き免許証が必要と思われる場合は、最寄りの免許証取扱い支店にお問い合わせください。

翻訳者／通訳者：

言語の通訳や翻訳、または、聴覚障害者向け手話についてのお問い合わせは、以下の電話番号にご連絡ください（317-233-6000、オプション2を選択）。

身体障害者向け駐車ステッカー

身体に障害をもつ者がこの駐車ステッカー（Parking Placard）を取得すると、身障者専用駐車スペースに車を駐車する法的権限が与えられたことになります。このステッカーは、一時的な身体障害と恒久的な身体障害をもつ人々のほか、米政府機関との間で身障者輸送契約を結んだ事業体が入手できます。

取得方法：

- 医師証明書： この駐車ステッカーを申請するには、本人がこの資格をもつ身体障害者であることを確認してくれる医師、指圧師、足治療士などに依頼して、「医師証明書（Medical Certification）」に記入してもらう必要があります。本人に視覚障害があるときは、検眼士か眼科医に依頼してこの証明書に記入してもらってください。医師証明書の用紙は、どの免許証取扱い支店にも用意されているほか、BMV

のウェブサイトで入手するか、下記の住所宛に郵便でリクエストすることも可能です。

BMV Driver Services, Room N405
Indiana Government Center
100 North Senate Avenue
Indianapolis, IN 46204

- 申請：　医師証明書を記入してもらったら、BMVの免許証取扱い支店で駐車ステッカーを入手してください。一枚以上必要な場合は二枚目を入手できます。
- 恒久的障害：　恒久的な障害を持つ者の場合、駐車ステッカーの有効期間は4年間で、最初の二枚は無料で発行されます。但し、ステッカーの有効期間中に、それ以上必要となったときは、一枚ごとに料金がかかります。特別な許可がない限り、有効期間中に6枚以上のステッカーが発行されることはありません。
- 一時的障害：　一時的な障害を持つ者の場合、駐車ステッカーの有効期間は6ヵ月か、または医師証明書に表示された専門家の意見に基づいた期間（但し6ヵ月以内）となります。一時的な障害者の場合は、ステッカーの有効期間中に一枚だけ有料で発行されます。
- 輸送会社：　身障者の輸送のために政府機関と契約を結んでいる輸送会社の場合、駐車ステッカーの有効期間は4年間か、または当該輸送会社がこのサービスを停止したときまでです。ステッカーはすべて無料で配布されます。

BMVの免許証取扱い支店で行う投票者登録手続き

運転免許証またはIDカードの新規取得あるいは更新を行うときは、インディアナ州内の免許証を取り扱う全支店において、投票者として登録することができます。運転免許証またはIDカードの取得や更新のためにBMVに来訪しない場合は、郵送用の投票者登録用紙も用意されています。この用紙には英語版とスペイン語版があり、BMVのウェブサイトでも入手可能です。別の地域に引っ越したときは、引越し先の地区で投票者になる登録を行えます。現在、投票者として登録していない場合は、ぜひとも登録なさるようお勧めします（但し、米国市民権を持つ者だけに適用）。

2005年7月1日付で、有効な運転免許証を持っていないが、次回の総選挙、地方選挙、または特別選挙の実施日には少なくとも18才に達している者については、IDカードの新規発行、更新、あるいは再発行が無料でできるようになります。

運転免許証の取得に必要な試験や検査

視力検査

免許証または許可証の申請者は全員、BMVの設定した最低視力基準を満たさなければなりません。これは免許証の更新時にも必要となります。普段、運転中にメガネをかけている者は必ずメガネを持参して視力検査を受けてください。視力検査では、申請者の視力の強さと視界の広さを検査します。

申請者の視力が州の基準に達していない場合は、眼科医で診察を受けるよう促されます。州の基準に見合う視力に是正されたならば、その旨を証明する書面を眼科医に作成してもらい、それを持参してBMVの免許証取扱い支店に戻り、再度視力検査を受けてください。以下は、免許証に最も頻繁に表示される視力の制限コードの一例です。

A　メガネまたはコンタクトレンズ
B　バックミラーの車外設置

C　日中の運転のみ

視力（メガネなし）

一方の目 20/20 ～ 20/40 他方の目 20/20 ～ 20/40 **制限なし**	一方の目 20/20 ～ 20/40 他方の目 20/50 ～ 盲目 **制限 B**

視力（メガネ着用）

一方の目 20/20 ～ 20/40 他方の目 20/50 ～ 盲目 **制限 AB**	一方の目 20/50 他方の目 20/50 **制限 A**	一方の目 20/50 他方の目 20/70 ～ 盲目 **制限 ABC**	一方の目 20/70 他方の目 20/70 **制限 ABC**

ご注意：　視力検査中に申請者がコンタクトレンズを着用している場合は「制限 A」が適用されます。

視界

一方の目 55 度～85度 他方の目 55 度～85度 **制限なし**	一方の目 55度～85度+ この目で鼻が見える 他方の目 NR = 測定不可 **制限 B**

ご注意：はっきりと見えるようにするためにメガネやコンタクトレンズが必要な場合は「制限 A」が適用されます。また、インディアナ州の普通免許、 ショーファーライセンス、一般乗客向けショーファーライセンス、運転者教育向け許可証、教習許可証、オートバイ教習許可証の取得には視界が最低90度であることが義務付けられています。

筆記試験

以下の場合には筆記試験を受ける必要があります：

- 教習許可証の申請。
- 特定の運転免許証（例：普通免許証、ショーファーライセンス、一般乗客向けショーファーライセンス）の初回申請。
- 有効な免許証をもつ21才未満の者で、更新申請の時点でBMVの運転記録に有効な違反ポイントが記録されている場合。
- 他州の運転免許証を有している者がインディアナ州の運転免許証を申請する場合。
- インディアナ州免許証の有効期限が切れてから2年以上経過している場合。
- 申請者のインディアナ州の運転記録に有効な違反ポイントが6点以上が累積されている場合。

筆記試験の内容：

筆記試験の内容はこのマニュアルに掲載されている情報に基づいています。筆記試験の質問は、インディアナ州の交通法規と安全運転テクニックの基本をよく理解しているかを試すためのものです。

筆記試験は、いくつかの回答から正しい答えを一つ選択する方式で行われ、車の運転方法や道路標識の知識についての質問が含まれています。

筆記試験の質問のサンプルは、第3章の最後に掲載されていますのでご参照ください。
筆記試験に通らなかったときは、翌営業日まで待ってから受け直す必要があります。
筆記試験に合格するまで実地試験を受けることはできません。

ご注意：　運転者教育向け許可証をもつ者が普通免許証を申請する場合は、3回（筆記試験と実地試験をペアとしたものを1回とする）まで試験を受けることができます。運転者教育向け許可証を持っている間に3回の試験に合格しなかったときは、教習許可証の取得条件を満たし、この許可証を受けてから60日間保持する必要があり、しかも普通免許証 の申請時に少なくとも16才と180日に達していなければなりません。
教習許可証をもつ者が普通免許証を申請するときも3回まで試験を受けることができ、そのすべてに合格しなかった場合は、この許可証が失効になる月まで待ってから、新しい教習許可証を申請する必要があります。

どの申請者も、交通上の規則、警告、指示を与える道路標識の読解力とインディアナ州の交通法規についての知識がなければなりません。英語で書かれた道路警告や方向指示の標識を理解できない者には免許証も許可証も発行されません。

商業運転免許証（CDL）の筆記試験：CDL用の筆記試験は他の筆記試験と違い、内容も質問の種類もかなり異なります。**CDLの取得に必要な筆記試験についての情報は商業運転免許証マニュアル（Commercial Driver License Manual）をご参照ください。**また、以下のウェブサイトもご利用ください（書式や刊行物：http://www.in.gov/dor 、運転免許証：www.bmvexpress.IN.gov ）。

路上での実地試験

視力検査と筆記試験（適用される場合に限られる）に合格したあとは、試験官が車に同乗し、受験者が車をいかに制御できるか、インディアナ州の法規を守っているかをテストします。BMVの運転試験官が与える路上実地試験には料金がかかりません。

実地試験はいつ必要か：

インディアナ州の普通免許証を申請する以下のいずれかの者は、車を安全に運転できるかどうかを試すBMVの路上実地試験を受けなければなりません。

- インディアナ州の教習許可証をもつ者。但し、以下に記述された運転者教育向けコース実地試験免除資格をもつ者は例外とする。
- 他州の運転免許証をもつインディアナ州の新規居住者で、その有効期限が1年以上を過ぎている場合。
- 外国の運転免許証をもつインディアナ州の新規居住者で、教習許可証を申請した者。
- 有効期限が3年以上過ぎた運転免許証をもつインディアナ州居住者。
- BMVの規定により義務付けられた他の申請者。

運転者教育向けコースの実地試験免除資格：

BMVの免除プログラム（140 IAC 4-4-89 参照）に参加する商業免許証向け学校、または高等学校の運転者教育プログラムの教習コースで、授業と路上実地試験の両方においてB以上の成績をとった者については、BMVにより路上実地試験が免除されます。こ

れらの学校で標準運転テストに合格し免除資格を得た生徒でも、運転免許証を取得する前に筆記試験と視力検査は受けなければなりません。BMVの免除プログラムに参加する学校が運転テストを実施するときは、追加料金を徴収されることがあります。**ご注意：BMVの試験を受ける前に、これらの学校で受けることのできる運転テストの回数は一度だけに限られています。**

免除資格の喪失：以下の場合には免除資格が失われます。

- 免許証の申請前に運転者教育向け許可証の有効期限が切れた場合。
- 運転者教育向け許可証上に授業または実地試験のいずれかの成績がB－（マイナス）以下と記入されている場合。
- 筆記試験に不合格だった場合。

ご注意：この場合も、筆記試験は3回しか受けられないことを覚えておきましょう。試験の前にこのマニュアルをよく学習すべきです。

実地試験の予約：

運転免許証をとりたい人々に効率よく対応するため、実地試験は運転試験官との予約制で実施されています。従って、新規申請者は、免許証取扱い支店に予め電話をかけて予約をとっておく必要があります。

ご注意：天候が不順なときは、BMVの運転試験官が実地試験を行えませんので、予めご了承ください。

実地試験の実施条件：視力検査と筆記試験（適用される場合）に首尾よく合格したあと、以下の条件が満たされている場合に、運転試験官が実地試験を行います。

- 正しい書類（許可証または免許証）が提示された。
- 筆記試験の合格証明書が提示された（適用される場合）。
- 申請者がドライバー規則をすべて満たした「有効」ステータスをもつ。
- 申請者が車を提供している（州から車が提供されません）。
- 提供された車が合法的に装備され、安全かつ清潔である。
- 提供された車が正しく登録されている（**署名入り登録書を提示する必要がある**）。
- 有効な運転免許証を持参した者が申請者に同伴している（適用される場合）。
- 英語で表示された道路の警告標識や方向指示標識を理解できることを申請者が運転試験官に示した（IC 9-24-2-3（4））。

以上の項目を確認したあと、運転試験官は、実地試験を行う前に車の状態をチェックし、合法的に装置が設置され安全かつ清潔であることを確かめます。車が安全性に欠け汚れている場合には試験官が申請者と同乗するのを拒否することもあります。欠陥のある汚れた車を提供することは、ご自分と試験官の両方の時間を無駄にすることになります。

実地試験の一般的内容：

実地試験の前には心をできるだけ落ち着かせましょう。テストされるのは通常の一般的な操作だけです。実地試験は、異なる状況下で車を適切に、しかも安全かつ円滑に操作できるかを試すためのものです。

ご注意：実地試験中、試験官にはシートベルトを着用するよう奨励されていますが、危険な状況に遭遇したときに素早く対応できるようシートベルトの着用は免除されて

います（IC 9-24-10 免除項目を参照）。

試験官は、車を発車させるように指示する前に、申請者の気持ちを落ち着かせ、必要な質問をいくつか行います。試験官は申請者の運転能力を試すのが目的であって教官ではありません。またわざと間違いを犯すよう仕向けたりすることもありません。試験官の注意をそらすような行動はとらないようにしましょう。試験官は、申請者の運転の仕方を見て、公正かつ客観的な判断を下します。テスト中に試験官がやり方を見ている間やスコアを付けている間は邪魔をしないこと。テストのスコアを付けるときは正当なルールに従って行われます。

ご注意：　試験中、申請者と試験官（もしくは試験官訓練者／監督者）以外は誰も車に同乗することはできません。

BMVの運転試験官は、標準の書式を用いて、申請者が車を安全に運転できるかどうかを評価します。

以下は<u>実施試験で失格となる</u>行動の例です。

- スピードの出し過ぎ。
- 道路標識や交通法規の無視。
- スクールゾーン内での守るべき規則の無視。
- スクールバスの「ストップサイン」の板が横に降りているのに停車しない。
- 車線の上を走る。
- 歩行者、自転車、車両に接近し過ぎる。
- 道路の中央線の左側にはみ出して運転する。
- 救急車など緊急車両が来たときに道路わきに車を寄せて停車しない。
- 車道から外れて運転する。
- 道路と平行して駐車するときに歩道に乗り入れる。
- 事故を起こしたり、他車と接触する。
- 危険な状況に遭遇したときに正しく対応できない。
- 先行権（Right of way）のある人／車に対して道を譲らない。
- 不適切な車線から左折または右折する。
- 赤信号や『停止』標識（Stop Sign）のところで完全停車しない。
- 試験官の指示に従わない。
- <u>失点11ポイント</u>を出し、基準に見合った運転能力を示さない。

以下は<u>失点として加算される</u>行動の例です。

- 必要なときにデフロスターやワイパーを使わない。
- ハンドルを両手で扱わない。
- 間違ったギアを選ぶ。
- ウィンカーを点滅させない。
- 状況下としてはスピードが遅すぎる。
- 横断歩道、停止線、『停止』標識を超えて停車する。
- 不必要なときに停車する。
- 曲がるときに正しい車線に入らない（すなわち最も近い車線）。
- 死角となる領域をチェックしない。
- 車線を変えるときにスピードを落とす。

- 高スピードで車をバックさせる。
- 車線を変えたあともウィンカーを点滅させ続ける。
- 運転中、前車または駐車中の車に接近しすぎる。

試験中、どこを運転し、どこで曲がるかは試験官が指示を与えます。その際、申請者に行手がはっきり見え、適切な行動がとれるよう、十分な余裕をもって指示が与えられます。試験官は、申請者の車の操作の仕方、特別な注意を払っているかをメモしていきます。それには以下の項目が含まれます。

- 申請者が正しい車線を運転し、車線内に留まり、前方に注意し、車線を変えるときは左右のウィンカーを適切に点滅させるかどうか。
- 衝突を防ぐため前車との間に十分な間隔をとっているかどうか。
- 別の車に追い越されるときの申請者の対応の仕方。スピードを維持し、他の車が安全に追い越せるよう十分なスペースを作っているかどうか。
- 表示された制限速度と交通事情に従ってスピードを上手に制御しているかどうか。
- 守勢型の運転の習慣を一般に身に付けているかどうか。
- 試験官の指示をどれほど注意深く聞き、一般的な車の流れに従っているかどうか。
- 交差点に近づいたときの運転方法。正しいスピードで近づいたか。他車がいるかどうか注意したか。完全停止したか。信号が変わりそうかどうかを予期したか。信号が黄色になっているのに通り過ぎようとしたかどうか。
- 車を上手にバックさせることができるか。駐車スペースから正しくバックして出られたかどうか。
- 道路と平行に上手に車を駐車できるか。バックミラーを見て後方の車をチェックし、駐車の意図を示すためにウィンカーを点滅させたかどうか。車をバックさせる前に適切なところに位置づけたか。駐車スペースに適切なスピードでスムーズに入ることができたか。車を駐車させる方法を見ただけで、試験官には、申請者が他の車にいかに注意しているか、さらにバックさせるときにいかに上手に車をコントロールできるかが分かります。**駐車方法については第3章をご覧ください。**

ご注意： 実地試験に通らなかったときは、14日待ってから受け直す必要があります。

運転免許証に表示される制限マーク：

制限の多くは運転免許証に表示されています。こうした制限は、ドライバーだけでなく一般の人々の安全を期すために特定の状況だけ運転を許可するものです。最も一般的な制限は、視力検査の結果に基づいて免許証の左下のデータの部分に表示されています。各制限の説明は免許証の裏に載っています（このマニュアルの視力検査の所要項目を参照）。ご自分の免許証に表示された制限について質問がある場合は、最寄りの免許証取扱い支店にお問い合わせください。以下は、免許証上に載る可能性のある他の制限を示したものです。

D	オートマチック	**3**	写真免除
U	パワーハンドル	**4**	BMVの特別制限
V	PPC（タクシーのみ）	**5**	条件付
K	CDL 州内のみ	**6**	インターロックイグニッション装置
P	クラス C 一般乗客	**7**	シートベルト着用免除（医療上）
L	エアバッグなし	**8**	医療疾患有り（薬剤必要）

第2章
道路標識と路上マーク

この章は、交通の流れを制御するために設定された道路標識、信号、路上のマークについて述べ、路上やハイウェイなどで、ドライバー、自転車を乗る人、歩行者をより安全に守ろうとしています。

これらの標識は、インディアナ州運輸省と地元政府によって設置されたもので、ドライバーが素早く読み理解できるよう、様々な色、形、言葉、シンボルを駆使しています。インディアナ州で運転免許証をとるには、こうした規則を理解している必要があります。

道路標識：

標識を大別すると警告、案内、規制の3つの種類に分かれ、それぞれ以下のような意味をもちます。

- **警告**：見通しのきかない前方にどのような危険があるのかを警告する。
- **案内**：経路を明確に示して、ドライバーが目的地へ行けるよう案内する。
- **規制**：車両のスピードや動きを規制する。

これらの標識は、特定の意味を持たせるために形や色を区別して作られています。

以下は、様々な標識のタイプ、形、色を示した例です。

標識の色：

道路標識の背景の色は、伝える情報の種類を区別するためのものです。

赤い標識は、ドライバーが必ず従うべき情報を示しており、これに従わなかった場合には、往来する周囲の車両や人に直ちに危険を及ぼす可能性があります。
例： STOP、YIELD、DO NOT ENTER、WRONG WAY

黄色または蛍光塗料の施された黄緑色の標識は、道路の前方にある特定の状態や危険をドライバーに警告するためのものです。

白い標識は交通規則に関する重要な情報を示しています。州道のマーク、制限速度など、ドライバーに有用な情報が含まれています。この色の標識には必ず従う必要があります。

オレンジ色の標識は、道路工事やメンテナンス作業など、前方に特定の危険が待ち受けていることをドライバーに警告するためのものです。

緑色の標識は、進むべき方向、高速道路の出口、距離（マイル数）などを示しています。

青色の標識は、旅行中のドライバー向けの情報を示しています。

茶色の標識は、近くに公園やレクリエーション・エリアがあることを示しています。

標識の形状：

標識の形も特定の情報を伝えており、一般に8つの種類が使用されています。

Octagonal (“STOP”) Sign:

八角形の『停止』標識：よく見かけるこの赤い標識は、交差点など、この標識のあるところで必ず停車し、先行権（Right of way）のある相手に道を譲ることを義務付けています。

Triangular (“YIELD”) Sign:

三角形の『譲れ』の標識：この赤と白の三角の「譲れ」という標識は、ドライバーが交差点などに近づいたときに、徐行し、いつでも完全に停車できる準備を整えることを示しています。

Square (Regulatory) Sign:

正方形の標識（規制）：赤と白の記号を組み合わせた四角い標識は、ドライバーが従うべき様々な規制を示しています。よく見られるのは、赤い丸の中に赤の斜線を引いた禁止のシンボルで、これを見たときは、丸の中に示された行動を『やってはいけない』ことを意味しています。

Circular (Railroad) Sign:

円形の標識（鉄道）：黄色の丸い標識は、前方に鉄道の踏切りがあることをドライバーに示しています。

Pentagonal (School Zone) Sign

五角形の標識（スクールゾーン）：五角形の標識は、近くに学校があり、子供たちが道路を横断する領域であることを示しています。

Diamond (Warning) Sign:

ダイヤモンド型の標識（警告）：ダイヤモンド型の標識は、前方の道路に特定の状況や危険があることをドライバーに警告するものです。この例は、『分離帯のある道路が前方で終わる』という意味です（Divided Highway Ends）。

Pennant-Shaped Sign:

ペナント型の標識：黄色のペナント型標識は、前方に追越し禁止ゾーンがあることをドライバーに警告する目的だけに使用されています。この標識は、二方向道路の左側にあり、ドライバーが車を左側から追い越すときに役立ちます。

Rectangular (Regulatory) Sign:

長方形の標識（規制）：ペナント型の標識に関連して、『追越し禁止』または『注意して追越しせよ』といった規制標識を見ることがあります。白の長方形の標識もまた、ドライバーが従うべき重要な規制を示しています。例えば、制限速度を表示したり、州道に関する様々なマークなど有用な情報が含まれてい

ます。

言葉とシンボルによる表示：
道路標識は、言葉かシンボルのいずれかを用いてドライバーに情報を伝えています。以下は、特定のタイプごとにどのようなシンボルや言葉による表示があるかを例として挙げています。

警告の標識：

濡れると
滑りやすい

前方に
交差点あり

高さ
制限

分離帯のある
道路開始

歩道

二方向
交通

狭い橋

長い
下り坂

前方に
合流車線あり

右車線
終了

車線追加

曲がり
くねった道

脇道あり

低い
路肩

前方に
信号あり

自転車用
横断路

曲がる
（速度30マイル以下）

T字
交差点

前方に
消防署あり

前方に
譲れサインあり

前方に
カーブあり

警告
遊園地あり

シカ横断

前方に
停止標識あり

農作業機
通行路

家畜横断

上記の警告標識の中には以下のようなスピード抑制を求める標識を伴うことがあります。

規制標識：

右折禁止

左折禁止

Uターン
禁止

譲れ

停止

右側
通行

逆方向

車両侵入
禁止

一方通行

一方通行

遅い車
右側車線
使用

最低
制限速度
40 マイル

前方に
スピード
ゾーンあり

緊急時の
停車のみ

追越し
禁止

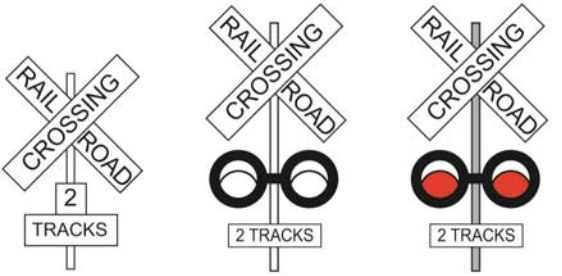
注意して
追越しせよ

停止（STOP）の標識の下には、以下のような補助標識が追加されていることがあります。

4 方向に『停止』
標識あり

あらゆる方向に
『停止』標識あ

以下のような鉄道標識は、 前方に踏切りがあることをドライバーに警告しています。


RAIL
CROSSING
ROAD
2
TRACKS
RAIL
CROSSING
ROAD
2 TRACKS
RAIL
CROSSING
ROAD
2 TRACKS

五角形の標識（スクールゾーン）： 黄色または蛍光塗料を施した黄緑色の五角形の標識は、近くに学校があり、道路を子供たちが横断する領域であることを示しています。

生徒の横断歩道

スクールゾーン

前方にスクールバス

ご注意： この警告標識をみたときは十分ご注意ください。

道路工事中・メンテナンス中の標識： この領域はドライバーだけでなく作業員にも危険です。以下の標識は、作業ゾーンに近づいたときには注意して運転するようドライバーに警告しています。

前方に旗手あり

前方に旗手あり

前方に作業員

前方に調査員

一車線道路

迂回

迂回

迂回

以下の**規制標識**は、交通の流れを規制するために交差点でよく見られます。

左折用信号

信号が緑のときに譲りながら左折

矢印のある場所のみ左折

赤信号時右折禁止

赤信号時ここで停車

通行路閉塞禁止

左車線左折専用

右車線右折専用

直進または左折

直進または右折

複数の右折車線

言葉とシンボルを使った道路標識：これらの標識は言葉かシンボルのいずれかを用いてドライバーに情報を伝えています。以下は、特定のタイプの例を示したものです。

二方向道路の
中央左折車線

駐車禁止

身障者専用
駐車スペース

トラック禁止

時間制限付き
駐車

レッカー車による
撤去区域

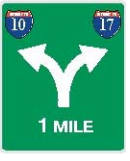
狭橋

常時
駐車禁止

案内標識：この標識は、出口までの距離、旅行中のドライバー向け情報、あるいは、空港やバスターミナルの位置などの情報を伝えます。

空港

バス発着所



出口

国道

州間高速道路

州道

ドライバー・サービス＆レクリエーション標識は以下の情報をドライバーに伝えます。

電話

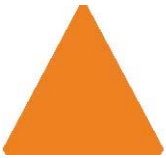
身障者向け
アクセス

病院

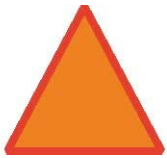
遊園地

自転車道

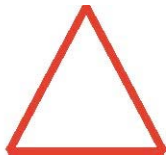
ゆっくり動く車につけるステッカー： ゆっくり動く車であることを示すために作られたステッカーで、時速25マイル未満のスピードで走る車両はこのステッカーを付けるよう義務付けられています。



中心が蛍光オレンジ色



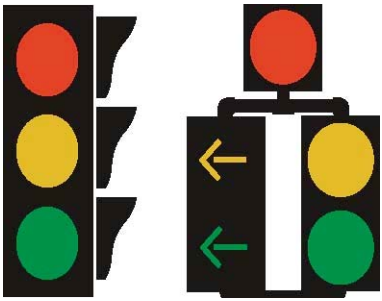
遅い車両ステッカー・キット



赤い反射枠

交差点での交通制御

交差点や横断歩道で交通の流れを制御し、どちらが先に行けるか（先行権）を示すために信号灯や矢印などが使用されています。



停止信号：左側は最も一般的な2つの停止信号を示したものです。

交差点を直進する車両：

- 緑色の信号灯は「進行」を意味しています。ドライバーは先に行く権利すなわち「先行権」をもっています。但し、他の車両、自転車、歩行者などがいないかどうかまず確認してから交差点を進む必要があります。
- 黄色の信号灯は「先行権」が終わりつつあることを意味しています。
- 信号灯が赤のときは「停止」を意味しています。このときは交差する相手側の車両に先行権が与えられています。信号灯が緑色になり、他の車両、自転車、歩行者がすっかり通り過ぎるまで交差点の中に入ってはいけません。

交差点で曲がる車両：

- 赤または緑の信号灯とともに緑色の矢印が表示されたときは、交差点の中に誰もいない限り、こちらに先行権があります。対向車は停車しなければなりません。
- 赤または緑の信号灯とともに黄色の矢印が表示されたときは、先行権が終了しつつあることを意味します。
- 緑色の信号灯だけしか表示されていないときは、交差点内に誰もいない限り、右折または左折が可能です。但し、対向車や前方からくる自転車、歩行者などに先行権を譲る必要があります。緑色の信号灯だけのときに左折するときは、行く手に誰もいないときに限り、車両1台だけが交差点に入り左折することができます。対向車がいる場合は、それが停車するかどうか常に確認する必要があります。
- 黄色の信号だけのときは曲がってもよい時間が終わりつつあることを意味します。

上述のように、ドライバーが交差点のすでに只中にいる場合は、対向車が停止してから曲がってください。

- 赤い信号灯だけしか表示されていないときは「止まれ」という意味です。合法的に交差点内に残っている車両は曲がってもかまいません。この場合の先行権は、交差点内に誰も残っていない限り、交差する相手側の車両にあります。 ドライバーは、信号が緑色になり、車両や自転車、歩行者などがすっかり通り過ぎるまで交差点内に入ってはいけません。

ご注意：　赤信号灯（点滅していない場合）だけしか表示されていないときは、明確に引かれた停止線のところで停車する必要があります。停止線がはっきりと示されていない場合には、横断歩道の手前で車を止める必要があります。横断歩道がない場合には、交差点に入る手前で停車します。

点滅している信号

交差点によっては、各方向の信号灯が点滅している場合があります。以下は、このような点滅するタイプの信号灯に来たときに従うべき規則を示したものです。

- 赤い点滅信号：赤く点滅する信号灯は、『停止』（STOP）の標識と同様の意味を持っています。つまりドライバーは、交差点の手前で完全に止まらなければなりません。
- 交差する側の車両に停止する義務のない場合には、そちらから来る車両の先行権を妨害せず、しかも交差点に他の車や人がいないときだけしか進むことはできません。
- 交差点の4方向ともに停止する義務がある場合には、まず完全に停車し、それから以下の車両を先に譲ってから進むことができます。
  - すでに交差点の中にいる車両。
  - 自分より先に完全に停車し、交差点に入りつつある車両。
  - 向かって右手にいる車両（自分と同時に交差点に到着した場合）。

- 黄色の点滅信号：黄色の点滅する信号灯は、ドライバーが速度を落とし、交差点をはじめ他の事故を起こしやすい危険な場所を通過するときによく注意する必要があることを示しています。交差する相手側の車両の方が先行権を譲る義務があります。但し、交差点を渡ろうとしている歩行者や車両がないかどうかをよく確かめて注意深く進む必要があります。

歩行者用の信号

歩行者のための信号は、歩行者がいつ合法的かつ安全に道路や交差点を横断することができるかを知らせるためのものです。歩行者は以下の規則に従うことで、交通安全を促し、自分を守ることができます。

『歩け』（WALK）の信号：　たくさんの歩行者が通る道路の多くには、歩行者が合法的かつ安全に道路や交差点を横断できるよう、『WALK』（歩け）という言葉か、あるいは歩く人のシンボルを表示する歩行者用の信号が取り付けられています。歩行者は、『WALK』という言葉または歩く人の絵が表示されたときに道路や交差点を横断し始め、たとえ途中で『DON’T WALK』（歩くな）という表示に変わっても、後戻りせずそのまま素早く渡りきる必要があります。

ご注意：交差点によっては、歩行者用の信号機または停止信号機の下方に押しボタンがついていることがあります。歩行者がこのボタンを押すと歩行者用の信号が起動され、『歩け』の表示に変わります。

『歩くな』（DON’T WALK）の信号： 道路や交差点を合法的かつ安全に渡れないときにこの信号が点灯します。歩行者用の信号が『DON’T WALK』という言葉か、あるいはストップを表す手のシンボルが表示されたときは、道路や交差点を合法的かつ安全に渡ることができないことを示しています。

『停止』（STOP）の標識

この標識は、点滅する赤い信号灯と同じ規則が適用されます。ドライバーはこの標識にきたら、白線または横断歩道の手前で車を完全に止めなければなりません。白線も横断歩道もないときは、できれば『停止』の標識と並行した場所、あるいは、交差点に入る手前で車を完全停止させ、別の方向から交差点に近づいてくる車両があるかどうかを判断する必要があります。その際、歩行者には常に注意してください。

『譲れ』（YIELD）の標識

この標識は、交差点に近づいてくるドライバーが徐行し、別の方向から先行権のある車両や歩行者が交差点に近づいてきたら、いつでも完全停車できる準備を整えなければならないことを示しています。別の方向からくる車の方に先行権があり、この車のドライバーは、『譲れ』の標識を見た方の車に対してブレーキを踏んで衝突を避ける必要はありません。

信号も標識もない交差点、または、交通信号機の故障している交差点

信号のない交差点、または信号機が故障している交差点に近づいてくる車両は、交差点に入る前に一旦停車する必要があります。停車後、すでに交差点の中にいる車に対しては先を譲り、よく注意して交差点を通過すべきです。

横道、建物、ドライブウェイから道路に入る場合

横道やドライブウェイなどの場所から道路に入る場合は、道路に入る前に必ず停止し、他の車に必ず先行権を譲ることが義務付けられています。

第3章
安全運転と交通法規

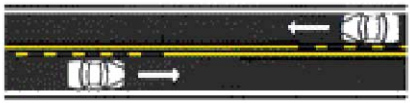
この章には、安全で合法的な運転と事故を避けるためのテクニックについての重要な情報が掲載されています。安全運転で最も重要なのは**道路に注意を配ること**です。最も経験豊富なドライバーですら運転中によく気が散ります。どのような問題が起きそうなのか常に予期することが大切です。守勢型の良いドバイバーは、他のドライバーの行動に常に気を配っています。

車線と路上マーク

車線と車線の種類は、反対方向に進む車両と区別したり、車で混雑する道路では同方向に進む車両のために複数の車線を設けたりするのに役立っています。ドライバーにまず最初に覚えておいていただきたいのは、曲がるときと追い越すとき以外、自分のいる車線に留まることです。

黄色の線

黄色の線は、道路の中心またはその近くに引かれており、二方向通行路で車両を分離するのに使用されています。道路の中央に黄色の二重線または黄色の実線が引かれているときは、曲がるとき以外、決してこの線の左側を運転してはなりません。



白線と車線の変更

白線は、同方向に進む車両を区分するために複数の車線を設けるときに利用されています。白の実線のときは、それを超えるべきではありません。複数の車線が設けられているときは、ほとんどの場合、白い破線で車線が区別されています。この白い破線は、安全である限りドライバーが車線を変更してもよいことを示しています。車線を変えるときは以下の規則に従ってください。

- 後から自分の車を追い越そうとしている車両、または追い越しをすでに始めた車がないかどうかをミラーで確認する。
- 車線を変えたい方向に肩越しに素早く振り返り、ミラーでは見えない「死角」に当たる領域に車両がいないかどうか、また隣の車線に移動できるだけの十分なスペースがあるかどうかを確認する。
- 自分が車線を変更しつつあることを他のドライバーに警告するためにウィンカーを発する。
- 新しい車線に滑らかに入る。
- 一度に一車線だけ変える。

前方で曲がるときの準備として車線を変える場合には、少なくとも200フィート（約65m）前に車線を変えてください。車線を頻繁に変えるのは禁物です。事故を起こす危

険性が大いに高まります。高速道路でゆっくり走る車は一番右側の車線を使うべきです。左側の車線は、もっと早く走る車のための追い越し用とすべきです。

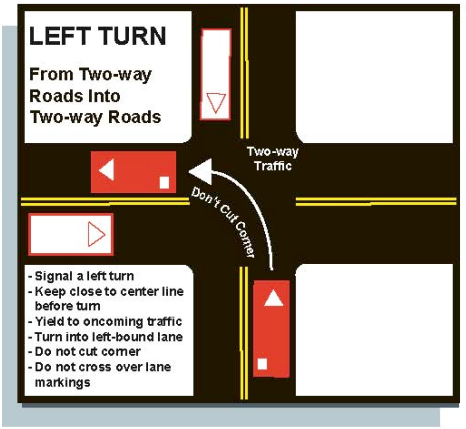
合法的かつ安全に曲がるための規則

以下に示す規則とガイドラインに従って正しく道路を曲がれば、多くの事故を防ぐことができます。常に念頭においていただきたいことは、道路を曲がる際に、起こりうる出来事を予期してそのために備えることが大切です。よく知らない道路を運転するときに常に役立つのは、どこで曲がるのかを前もって地図で調べておくことです。そうすれば、あわてて曲がらずにすみます。

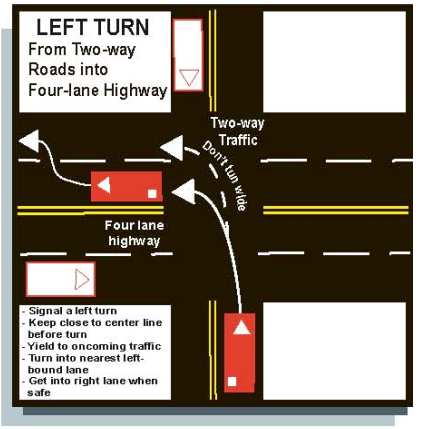
正しい車線から正しい車線へと曲がる

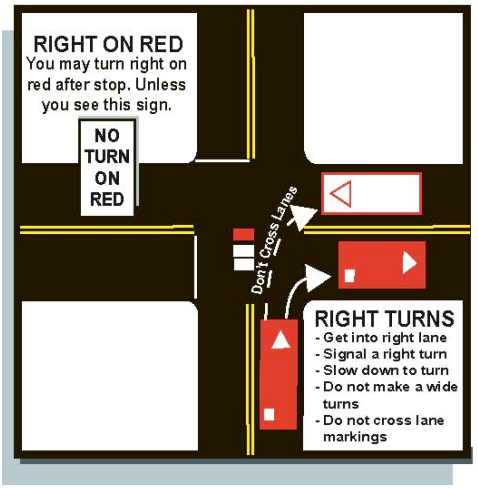
今走っている道路に複数の車線がある場合には、これから曲がる方向に最も近い車線に十分な余裕を持って変わることが合法的かつ安全に曲がるための第一の規則です。車線の変更に関する規則に従って、曲がる前に正しい車線へ安全に移動してください。**下記の図は、正しい曲がり方を示したものです。**

ヒント：　道路を曲がる際にどちらの車線に行くべきかは、右折は右側、左折は左側と覚えておくと便利です。



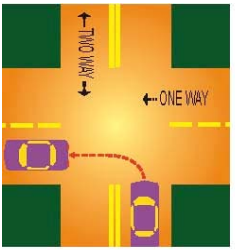
←左折
二方向道路から
二方向道路へ
・左折の合図を出す。
・曲がる前に中央線に近づく。
・対向車に先行権を譲る。
・左折する。
・余りに直接に曲がらない。
・路上の車線マークの上を横切らない。



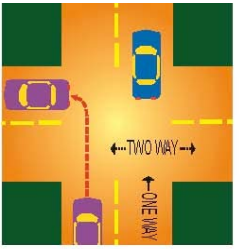


↑左折
二方向道路から
四車線のハイウェイへ
・左折の合図をだす。
・曲がる前に中央線に寄る。
・対向車に先行権を譲る。
・曲がる道路の自分に一番近い車線に左折する。
・安全なときに右側車線に変わる。

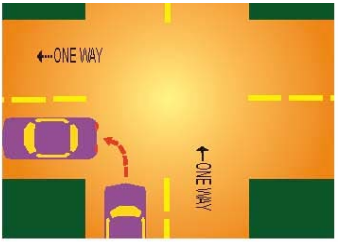
（前ページ左下）
赤信号の時の右折
「赤信号時の右折禁止」（No Turn On Red）という標識がない限り、一旦**完全に停止**してから右折できる。
赤信号でないときの右折
・右車線に入る。
・右折の合図を出す。
・徐行し右折する。
・大回りに右折しない。
・車線マークの上を横切らない。



二方通行の道路から一方通行の道路へ左折



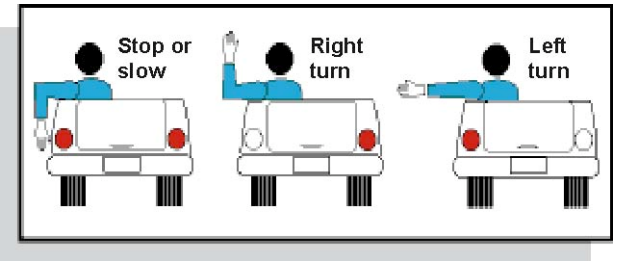
一方通行の道路から二方通行の道路へ左折



一方通行の道路から一方通行の道路へ左折

これから曲がるという合図

道路を曲がるときや、車線を変えるときは少なくとも200フィート（約65m）前で方向指示器（ウィンカー）で正しく合図してください。時速50マイル以上のスピードで走っているときは、少なくとも300フィート（約100m）前にウィンカーで合図してから曲がるか車線を変えてください。最も安全な合図の仕方は、大半の車両の標準装置である方向指示器を用いることですが、万一どちらか一方が故障した場合には、以下の図に示されるように、手で方向を合図します（但し、実地テストでは使わないこと）。



減速か停車　　右折　　左折

交差点で曲がる場合

交差点で曲がる場合には、必ず交通信号機の規則に従い、歩行者に常に気をつけて行います。歩行者に自分の車を避けて通るよう強要してはなりません。曲がる前に交差点で停止する必要があるときは、車の前輪をまっすぐにした状態でブレーキをかけて止まり、それから曲がります。

交通信号が赤のときに合法的に右折する

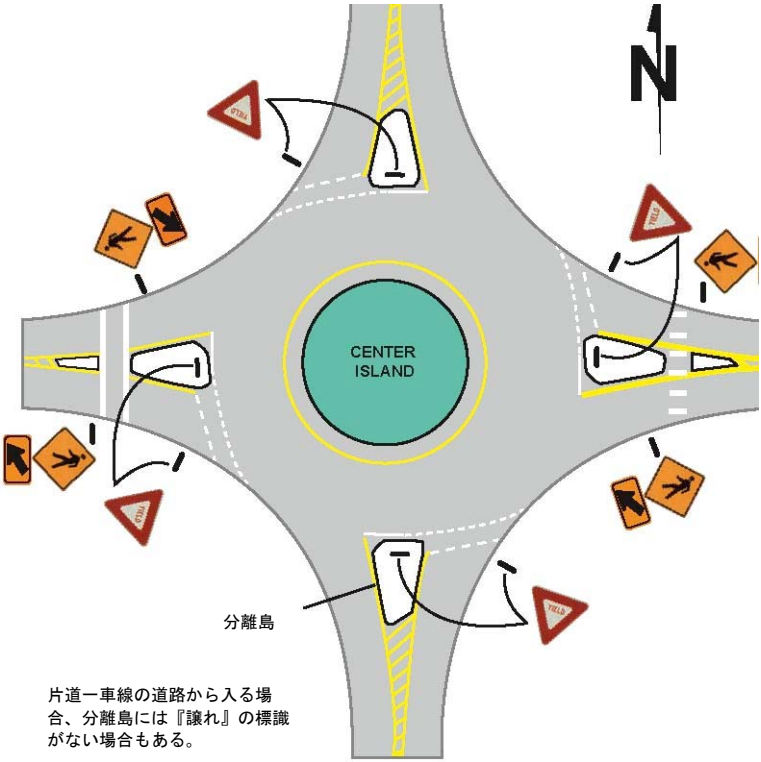
インディアナ州や他の大半の州では、車の流れを円滑にするために、信号灯が赤のときでも交差点を右折することが（限られた状況で）認められています。以下の条件がすべて満たされている場合に限り、合法的に右折することができます。

- ドライバーが信号で完全に停止した。
- 右折する方向に車両や歩行者がいないことを確認した。
- 自分が曲がる方向にいる車両や歩行者の先行権をドライバーが妨害していない。
- 正しい車線から曲がるなど、道路で曲がるときのその他の規則（本章ですでに記述）に従っている。

ロータリー型の交差点

ロータリー型交差点は、ドライバー、歩行者、自転車に乗っている人など、通行者全員のニーズに見合うよう設計された円形の交差点です。この交差点は、従来の交差点では衝突事故の原因となる左折など、交通の流れに逆らう状況を取り除いています。この場合、車両は右折だけで円形の交差点を出入りするため、事故が起きたとしても通常、従来の交差点で起こるものより深刻ではありません。ロータリー型交差点では、これから入る車が、中で循環している車両に対し先行権を譲らなければなりません。

ロータリー型交差点の路上マークの例（単一の車線から入る場合）



左折の際の特別例外

交通信号は赤だが、ドライバーが一方通行の路上におり、もう一つの一方通行の道路へと左折したい場合、ドライバーが上述の赤信号のときに曲がる規則を守っている限り、合法的に左折することができます。赤信号のときに合法的に左折できるのはこの状況だけに限られています。

Uターン

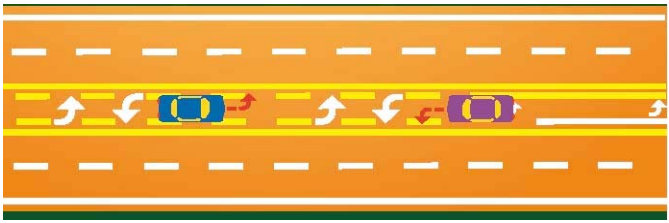
Uターンはともすれば危険を伴う操作で、どうしても必要なときだけに行うべきです。その際は以下の規則に従う必要があります。

- 対向車や歩行者のもつ先行権に対し必ず道を譲る。
- 道路がカーブしているとき、あるいは、丘や坂の頂上に近づいているときには絶対にUターンしない。
- 州間高速道路では決してUターンしない。次の出口で出て、逆方向へゆく入口から高速道路に入る。
- Uターン禁止の標識のあるところでは絶対にUターンしない。

左折専用の中央車線からの左折

交通量の多い道路ではよく左折車だけに設けられた中央車線があり、車両はそこから左折することができます。このような車線があるときはスピードを徐々に落として中央車線に入り左折します。常に念頭においておくべき点は、対向車も左折するために、真っ向から中央車線に入ってくるかもしれないことです。**他の車を追い越すときにこの種の中央車線を決して使用してはいけません**。この左折専用中央車線を見分けるには、逆方向を示す二つの矢印とともに『中央車線のみ』（CENTER LANE ONLY ）と書かれた標識があるか、あるいは、路上にこのような矢印が書かれています。

ご注意：　中央車線の路上に矢印のマークが常に書かれているとは限りません。



曲がりそうな車の後を運転しているとき

ウィンカーで合図して曲がる意図を示している車や、スピードを落として曲がる道を探しているような車の後を運転しているときは守勢運転を心がけてください。常にスピードを落とし、いつでも停車できる状態にすべきです。

道路の左側から追い越すときの規則

以下は、道路の左側の対向車線を使って他の車を追い越す必要があるときの安全かつ合法的な追越し方について述べています。

道路の左側の対向車線を使った追越しは、深刻な事故を起こしうる危険な操作です。このような追越しをする必要があるかどうかを常に考慮すべきです。

追越し禁止区域： 以下の状況で追越しを試みることは違法であるうえ非常に危険です。

- 道路中央線のドライバー側に黄色の実線が引かれている。

- 道路の左側に『追越し禁止ゾーン』（No Passing Zone）と書かれた黄色のペナント型の標識があるか、あるいは、道路の右側に『追越し禁止』（Do Not Pass）と書かれた白の長方形の標識がある。
- カーブした道路を運転している、または、カーブにさしかかっている。
- 丘や坂の頂上に近づいている。
- 交差点または鉄道の踏切りから100フィート（およそ30m）以内にいる。
- 橋、高架路、トンネルから100フィート（およそ30m）以内にいる。

安全かつ合法的に追い越すための条件：

- 追い越す車線に車両がまったくないことを必ず確認する。対向車が近づいてきた場合は、少なくとも100フィート（およそ30m）以上前で道路の右側に戻る必要がある。
- 車の後方と左をよくチェックして、他車が自分の車を追い越そうとしていないことを確認する。
- 方向指示器（ウィンカー）を発して正しく合図する。
- 追い越す車線に入ってから車を加速し、追い越す車が自分のバックミラーに見えるようになるまでそのまま前進する。
- 元の車線に戻るときには、まずウィンカーを発して正しく合図する。

追い越されるとき：

別の車が道路の左側から自分の車を追い越そうとしているときは、この車が安全に追い越せるようにし、スピードを増したりしてはなりません。

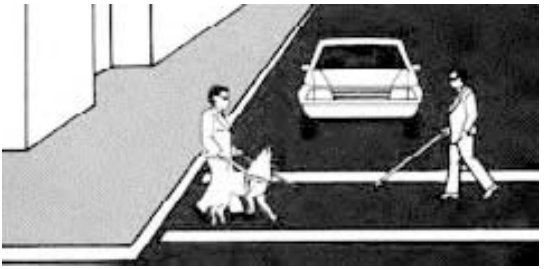
歩行者の安全性

横断歩道があったり歩行者用の信号があるところでは歩行者が近くにいることを示しています。自分の車の周辺に歩行者がいるときは以下の規則とガイドラインに従ってください。

- 常に先行権（Right of way）のある歩行者に道を譲る。
- 歩行者を止まらせたり、歩調を遅らせたり、他の特別な努力を払わせるなどして、自分の車との衝突を避けさせる形で、道路を曲がってはならない。
- 子供たちが周辺にいるときは特に注意を払う。子供たちは車の危険性について十分認識していないためである。
- 高齢者や視覚障害者など、道路をさっさと横断できない人々に対し敬意を払う。

歩行者が盲人のとき

盲人は主に歩行の助けとして、よく白い杖とか盲導犬を連れています。視覚障害者が一人で歩くにはある程度のリスクが伴います。白い杖や盲導犬を利用する意味をドライバーがよく認識していれば、こうしたリスクを大いに軽減することができます。ドライバーは、視覚障害者に常に先行権を譲る必要があります。

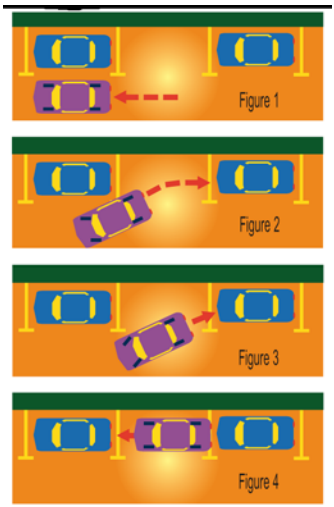


道路を横断している歩行者が盲導犬を連れていたり、白い杖（または先が赤く塗ってある白い杖）をもっているとき、**車両は完全に停車しなければなりません。**

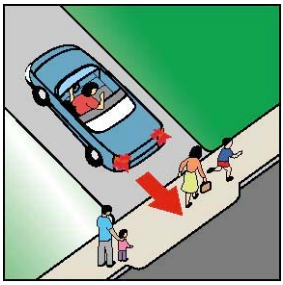
駐車の規則

道路と平行に駐車する：

以下の手順に従うと、この駐車を単純かつ簡単に行うことができます。



1. 駐車するという合図をウィンカーで知らせます。
2. 駐車するスペースの前方に駐車している車の横から少なくとも2フィート（約60cm）離れて平行に車を位置づけます（図1参照）。
3. そのとき自分の車と前方の車の後のバンパーが一線に並んでいる状態にします（図1参照）。
4. 自分の車の鼻が横の車の前のドアにくるまでゆっくりと車をバックさせます。それからハンドルを右に大きく切り、車が45度の角度になるようゆっくりとバックします。自分の車の鼻が前の車の後部を過ぎた辺りで、今度はハンドルを大きく左に切り、それから徐々に駐車スペースに入ります（図2と3参照）。
5. ハンドルをまっすぐにし前に進みます（図4参照）。
6. 前方が下り坂の場合は、前車輪を縁石（Curb）の方向に向けます。前方が上り坂の場合は、前車輪を縁石とは反対の方向に向けます。縁石がないときは前車輪を車道と反対側に向けます。
7. 駐車スペースから道路に出るときは、ウィンカーで合図を出してください。



車をバックさせる

初歩のドライバーにとって、車を前進させるよりバックさせる方が難しいようです。これは、自分の車で視界が遮られることと、バックさせるときの方が車のスピードと方向をコントロールしにくいからです。車をしっかりコントロールできるようになるまで練習を何度も繰り返さなければなりません。駐車スペースから車をバックさせるときは、前後に注意を払い、車も歩行者もいないことを二度確かめる必要があります。

車をバックさせるときは後方を窓越しに見えるよう右側に振り向きます。バックミラーだけに頼ってバックさせてはいけません。常に周囲を注意深く見ながらゆっくりと行います。交差点でUターンするために車を絶対にバックさせないこと。そのようなときは一ブロックを一周した方がはるかに安全です。

安全上のヒント： **車に乗る前に、常に自転車や小さな子供が車の後方にいないかどうかチェックしてください。バンとか小型トラックに乗っているときは特に重要です。**

違法な駐車区域

以下の区域に駐車することは禁じられています。

- ハイウェイ（駐車できると表示されていない限り）
- 交差点または横断歩道
- 歩道
- ドライブウェイの前
- 消火栓または消防車用車線の前後15フィート（約4.5m）
- 高架路の下または橋の上
- 黄色い縁石の周辺
- 駐車中の車の横

最高制限速度と安全なスピードでの運転

インディアナ州の法律に基づき、ドライバーは標識に掲示された制限速度で車両を運転する必要があります。以下に示すように、ドライバーが注意し、もっと遅い速度で運転しなければならないような道路状況は多数存在します。

最高制限速度：

田園地帯を走る州間高速道路：（人口5万人以上の都市の外側を走るものと定義）	
● 乗用車	時速65マイルまたは標識の速度
● トラック（26,000ポンド以上）	時速60マイルまたは標識の速度
● スクールバス	時速55マイルまたは標識の速度
2005年7月1日以降（標識に掲示されている場合に限る）	
● 乗用車	時速70マイルまたは標識の速度
● トラック（26,000ポンド以上）	時速65マイルまたは標識の速度
田園地帯を走る分離帯のある州ハイウェイ	時速60マイルまたは標識の速度
都市部の州間高速道路	時速55マイルまたは標識の速度
米国連邦ルート（例：US31）	時速55マイルまたは標識の速度
田園地帯を走る州ハイウェイ（例：州道37）	時速55マイルまたは標識の速度
大半の住宅地帯	時速30マイルまたは標識の速度
郡の道路	時速55マイルまたは標識の速度

ドライバーはハイウェイを運転中に制限速度が**下がる**標識に常に気をつける必要があります。郡道や地元の道路も異なる制限速度が表示されている場合があります。

州間高速道路（Interstate Highways）

州間高速道路の歴史

米政府は、高速道路網を全米に構築する構想を1930年代末から調査し始めました。当初の企画では、東西を横断する高速道路3本、南北を縦断する高速道路3本の建設が予定されました。全長4万マイルの高速道路網が米議会で最終的に承認されたのは1944年のことです。

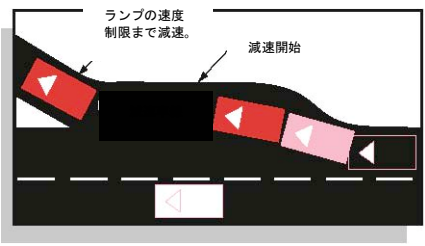
高速道路の番号の由来：南北を走る州間高速道路は奇数番号で、番号は西海岸から始まる一方、東西に走る州間高速道路には南から始まる偶数番号が付けています。都市を取り巻く環状高速道路「ベルトウェイ」は3桁の数字（例：I-465）が付けられ、最初の数字が奇数（1、3、または5）の時は分岐線と呼ばれています。これは、州間高速道路の一部が別の2本の州間高速道路を連結する役割を果たしているか、大都市へ通じているものを指します。

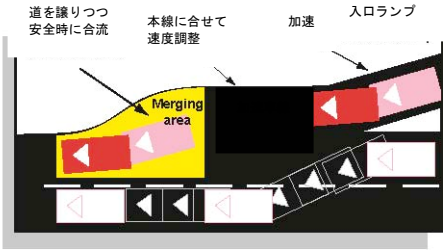
ご存知ですか
ニューヨーク州には28本の州間高速道路があります。これは全米で最多の州です。
テキサス州は州間高速道路の距離が最も長い州です（3,202マイル）。
I-95 は最も多くの州を網羅しています（16州）。
州間高速道路沿いに設置された休憩所「レストエリア」は合計およそ1,200ヵ所あります。

州間高速道路での安全運転

州間高速道路は安全性を考慮して設計されていますが、道路の規則や安全運転のテクニックに従わないドライバーには特定の危険が伴います。

- **スピード：** スピードの出し過ぎは、事故を起こす可能性を大いに高めます。他のドライバーが予期しない行動を行ったとき、あるいは、前方の路上に危険が潜んでいるときに、それに即応できるだけの時間的余裕がドライバーになくなるからです。
- **警戒心：** 即応時間があまりないため、ドライバーには、危険な状況に巻き込まれる前に、前方で起こりうる問題を予期できような警戒心をもつことが重要となってきます。また疲労の兆候にも要注意です。そのようなときは、誰かに運転を代わってもらうか、あるいは、高速道路を出て休むべきです。
- **予め計画を立てる：** 出発前に目的地までの道のりを地図で調べたり行き方を聞いておくとよいでしょう。高速道路のどの出口で出たらいいのだろうかと標識をいちいち読んでいるようなドライバーでは、前方の交通状況に十分注意を払っているとはいえません。
- **合流：** 高スピードで走っている車両の中にスムーズに合流するには適切な判断力とタイミングが必要になります。高速道路のランプに入ったら、右側に寄り、加速車線でスピードを増しながら、前方に車がいないことを確認してから、本線に合流します。本線を走行中の車両は、自分の安全のためにも、合流してくる車を入れてあげるスペースをつくるべきです。但し、本線を走っている他車の方に先行権があり、これらに先を譲るのは合流する方のドライバーの責任です。





- **州間高速道路での特別禁止項目：**
  - **車をバックさせる：**高速道路で出口を逸したために車をバックさせるのは違法行為です。出口を通り過ぎてしまったときは次の出口で出てください。
  - **Uターンする：**緊急用の車両または道路メンテナンス用車両でない限り、高速道路の分離帯を横切ってUターンすることは違法です。
  - **路肩での停車：**非常時または車両の故障のとき以外高速道路の路肩（Shoulder）に停車したり駐車することはできません。
  - **大型トラック：**トラックは一方向2車線の高速道路の一部では右側だけ、一方向に3車線以上ある高速道路では右側2車線だけしか走行できないよう制限されています。

特別状況における最高制限速度

- **スクールゾーン：**学校の周辺を走るときは、スクールゾーンの標識に表示された制限速度までスピードを落とす必要があります。このスピードが適用されるのは、月曜から金曜の午前7時から午後4時30分の間が一般的です。子供たちが通学する間は、地元の規制当局によりさらに低い制限速度がスクールゾーンに設定されることもあります。
- **ハイウェイ作業現場：**ハイウェイの作業ゾーンの最高制限速度は時速45マイルか、あるいは、標識に表示されたそれ以下の制限速度です。
- **スクールバス：**州間高速道路、国道、州道以外の場所では、スクールバスの最高制限速度は時速40マイルか、あるいは、標識に表示されたそれ以下の制限速度となっています。

ドライバーがスピードを落とすべき状況

スピードの出し過ぎは、理想的な状況にあってすら危険であり事故の発生率が高まります。以下のような道路状況では、表示された制限速度で運転していても、またはそれ以上の速度で運転すると、もっと大きな危険にさらされます。

- 悪天候で視界の悪い状況
- 道路が滑りやすい、あるいは氷が張っている
- 磨り減ったタイヤで走っている
- 安全ではない車で運転している
- 健康ではない身体で運転している
- スピードの出し過ぎでヘッドライトが適切に道路を照らし出さない
- 危険な路面の状態

スピードと停止能力の関係

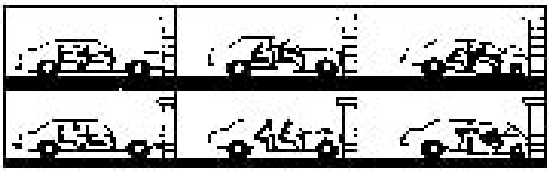
以下は、時速35マイル、55マイル、65マイルで走っている車が1秒間にどれほど進むかを示したものです。

スピード	35mph	55mph	65mph
1秒間に進む距離（フィート）	51.3	80.7	95.3
1秒間に横切る車線の数	2.6	4.0	4.7
フットボール場を縦断する秒数	5.8	3.7	3.1

前車との間隔：2秒ルール：

前車との間隔を少なくとも2秒分保つこと。これはドライバーが知っておくとよいルールです。これを確かめるには、まず道路沿いにある不動の目標を見つけ、前車がそれを通過してから自分の車がそこに達するまでの時間を計ります。ここでも、前車が何ら

かの理由で急停止するかもしれないことを常に念頭においてください。守勢型のドライバーは他のドライバーの不意の行動にもいつでも対応できる用意ができています。



safety belts save lives!

安全ベルトと子供用安全シート

安全ベルトと子供用安全シート（つまりカーシート）は、年々何千人もの人命を救っているだけでなく、衝突事故に遭ったときにも生存率を60%も高めています。車の走行中はドライバーと助手席に座る者全員がシートベルトを着用するようインディアナ州法により義務付けられています。

重要：　運転中の車両にエアバッグが1つ以上装備されている場合でも安全ベルトは必ず着用してください。エアバッグは、衝突事故を起こしたときに、安全ベルトと同時に作用して、乗車している人の急激な動きを抑えるためのものです。安全ベルトを着用していない場合にはエアバッグで負傷することがあります。

安全ベルト：

- いつ着用すべきか：1964年以降に製造された乗用車の前席に座る者はすべて法律により安全ベルトの着用が義務付けられています。バスの運転手も安全ベルトを着用しなければなりません。

例外：

- 医療上の理由で（医師の医療証明書を常に携帯する必要がある）安全ベルトを着用すべきでない者。
- 荷物やサービスの配布のために頻繁に停車しなければならない特定の商業用、郵便用、新聞用車両。
- 路上テストを実施中のBMVの運転試験官。

チャイルドシート・システム：

2005年7月1日から実施：8才未満の子供を乗せて運転する者は、この子供をチャイルドシート・システム（つまりチャイルド・カーシートかブースターシート）に座らせ安全ベルトを正しく締めるよう法律で義務付けられています。但し、子供がチャイルドシート・システムに適合しないという判断が妥当である場合は例外とします。そのときは、この子供に安全ベルトを着用させることが法律で義務付けられています。8才から15才までの子供もシートベルトの着用が法律で義務付けられています。

助手席のエアバッグ： エアバッグが膨らむときの爆発的な威力により、身長5フィート未満（約1.5m）の子供や高齢者が死亡したケースがあります。車の助手席にエアバッグが装備されている場合、12歳未満の子供たちは後席に座らせるよう全米安全協会（NSC）は推薦しています。

特定の状況での安全運転

以下は、特定の状況で運転する際のガイドラインを提案しています。

夜間の運転

夜間の運転は様々な問題を引き起こしかねません。ドライバーが夜間運転に慣れていない場合やその他の悪条件が重なると、こうした問題はさらに深刻化する恐れがあります。

- 視界：夜間は日中に比べ、歩行者、路上のマーク、他の車両を判別するのがさらに難しくなります。夜間の運転環境では通常のスピードより低めに運転すべきです。特に慣れていない道路はなおさらです。対向車のヘッドライトの光で有効な視界はさらに狭まります。こうした光に目がくらまないよう、ドライバーは対向車のヘッドライトを直接見ず、道路の右側の方に焦点を合わせるべきです。
- 疲労：夜間運転はドライバーを疲労させやすく、事故を起こす危険も高まります。予め計画を立て、できれば夜遅く運転したり、寝不足のときに運転するのを避けましょう。注意を集中できないと感じたときは運転を止めるという心構えが大切です。疲労状態で運転して自分の命を危険にさらすより、到着が遅れる方がまだましです。

運転中に感ずる疲れすぎの兆候

- 注意を集中して前方を見ることができない。
- 運転中、最後の数分間の記憶がない。
- 車線の外に知らぬ間に出始める。
- 一定のスピードを保てない。
- 頭がこっくりし、実際居眠りしそうに感ずる。

眠気を感じ始めたら、最もよい方法は、別の人に運転を代わってもらうか、車を安全な場所で止めて休憩することです。過度の疲労を感じたときに、窓を開けたり、ラジオの音量を上げたりして眠気を抑えようとするのは普通効果がなく、注意を集中しているように感じさせるに過ぎません。このようなときには、自分だけでなく周囲のドライバー全員を事故に巻き込む危険性をはらんでいます。

- ヘッドライトの使用：ドライバーは、日暮れから夜明けまでの間、そのほか視界が500フィート（約150m）以下の場合は、ヘッドライトを点けなければなりません。また、対向車が500フィート以内に近づいてきたとき、または、前車との間隔が200フィート（約60m）以内のときは、ヘッドライトを下向けに（Lower beams）する必要があります。
- 歩行者の安全：歩道のない道路を歩く歩行者は車両と顔を合せる形で進むべきです。夜間または暗闇の中でハイウェイを歩くとき、歩行者は明るい色の服を着るか、あるいは、光を反射させるものを携帯すべきです。

特定の天候での運転

- 冬季の運転：冬季の運転には、氷、雪、低気温などに起因する様々な危険が待ち受けています。**運転を始める前に、車両の窓ガラスを常に見やすい状態にしてください。**
- 凍った道路の運転：路面に氷が張ると、車輪のトラクション（車輪が道路を「掴む」作用）が 失われ危険な状態に陥る可能性があります。
- スキッド：突然曲がったり、車線を変えたり、急ブレーキを踏んだりすると、車両はスキッドしやすくなります。車がスキッドしたときに、これを直す手順は前輪駆

動車でも後輪駆動車でも同じです。車輪が空転し始め、後車輪が横に滑り出したら、アクセルペダルをゆっくり緩めます。スキッドの逆方向にハンドルを急激に回したり、回し過ぎないこと。車がスピンする原因になります。**従来のブレーキが搭載された車の場合は**、車の後部が滑っていく方向に落ち着いてしっかりとハンドルを回します。車輪の空転が止まったら車をまっすぐにし、ゆっくりと運転します。**車にアンチロック・ブレーキ（ASB）が搭載されている場合は**、いかなる緊急時でも、ブレーキペダルから足を離さず、しっかりと踏み込み、普通通りにハンドルを切りながら、ブレーキに圧力をかけ続けます。ブレーキを繰り返し押したり離したりしないこと。機械音や雑音がしたり、ブレーキペダルが振動したりして抵抗力が高まったときは、ABSが働いている証拠です。ブレーキをしっかり踏み続けて、アンチロック・システムが問題を解決してくれるのを待ちましょう。
氷の張った道路では、車を止めるのにも余計に時間がかかることをお忘れなく。

- **降雪時の運転：**雪降りの日とりわけ吹雪の日に運転するときも多くの問題があります。視界が大幅に狭まるうえ、吹き溜まりに気をつけなければなりません。特に郊外や田舎では数インチ（およそ10～15cm）の積雪ですら、吹き溜まりができると車は通れなくなります。道路に雪があるところには、氷が張っているかもしれませんので常に注意してください（特に交差点では気をつけましょう）。ヘッドライトを点けて、他のドライバーが自分を見えるようにしてください。
- **極寒での運転：**寒さが厳しいときは、常にエンジンが温まるまで十分に時間をかけましょう。

冬の運転のヒント：

- ガソリンを満タンにして運転しすると、万一車が故障してもヒーターをできるだけ長く使用できる。
- 高速道路のランプ、橋、高架路にある水分は、普通の道路が凍る前に凍結することがある点を認識する。
- ヘッドライトを点けて、自分も他のドライバーも互いに見えるようにする。
- ヘッドライトとテールランプについた雪を頻繁に取り除く。
- 除雪車の後を運転するときは安全な距離を保つ。
- 砂やカーペットの切れ端などを車に積み、車輪が空転したときに備える。
- 冬に車が故障したときに備えて「サバイバル・キット」を車内に用意しておく（例：ジャンパーケーブル、毛布、シャベル、懐中電灯、余分な衣類、ろうそく、マッチ、腐らない食品や水ボトルなど）。

- **雨降りの中の運転：**他のドライバーから見えるよう、常にヘッドライトを点けてください。**濡れた路面は滑りやすく危険です**。特に雨が降り始めた直後は、路面に油や土ぼこりが溜まっているので危険です。水溜りの中を通ったら、ブレーキを何度か踏んで大丈夫かテストしてみます。これはブレーキを乾かすのにも役立ちます。水溜りがタイヤの溝の深さを超えているときは徐行してください。濡れた道路を運転するときは、**ハイドロプレーニング**という現象が起きやすい状態になります。これは車が実際に、水、油、土ぼこりの薄い層の上を走ることで、スピードが増すほどこの現象が生じやすくなり、一時的に車がこのような層の上に完全に『乗った』状態になります。こうなった場合は、タイヤの摩擦力が全くきかなくなり、ブレーキをかけることも、スピードを上げることも、曲がることもできません。突風が吹いたとき、路面に凸凹があるとき、さらにちょっとした曲がり角でも**スキッド**を起こしかねません。従って、磨耗したタイヤで運転しないこと。大雨のとき、水溜りのある場所、半解けの氷混じりのぬかるみでは徐行すること。停車するときにも常に余裕をもって行うことが大切です。

安全上のヒント：ハイドロプレーニングを防ぐには、適正空気圧のタイヤで運転しましょう。

- **霧の中での運転：**霧の中では、他の車、歩行者、交通信号などがたいへん見極めにくくなります。この状態で運転するときはよく注意し、スピードを落としてください。ヘッドライトを**上向き（High beams）に点けないこと**。下向き（Low beams）の方が道路や前方をよく照らしだします。霧で完全に包まれ、視界がほぼゼロになったら、できるだけ道路から離れた脇まで車を慎重に寄せ停車してください。ヘッドライトは点けたままにし、緊急用ハザードランプを点滅させるのもお忘れなく。

線路上での停車禁止

鉄道の踏切り

列車と車の衝突事故で命を落としたり重症を負う人は数え切れないほどいます。こうした衝突事故の原因は必ずと言っていいほど、車のドライバーの踏切り無視によるものです。

- **誰が止まる必要があるのか：**乗客を乗せた商業用自動車、乗客を乗せたバス、爆発物または発火しやすい液体を積んだ車両はすべて停止しなければなりません。このような車両は、鉄道の手前の、線路から15フィート（4.5m）以上、50フィート（15m）以内に停車する必要があります。但し、この規定は、未使用の放棄された鉄道線路には適用されません。
- **鉄道の踏切り標識に注意する：**鉄道の踏切り標識は、ドライバーが徐行し、周囲をよく見聞きし、列車に備えて止まれる用意を整えることを意味します。踏切りの標識には、「X」マークの付いた黄色の丸い標識、路上マーク、踏切り警標、赤い点滅灯、またよく使われる遮断機などが含まれます。
- **踏切りの前の『停止』標識：**踏切りの手前に『停止』標識（STOP）があるときは、そこで必ず完全停車し、それから左右をしっかり見て列車がこないことを確認してから線路を渡ってください。『停止』標識だけしかないから、線路が使われておらず、列車もこないだろうと勝手に決め込むのは禁物です。
- **鉄道踏切りについての安全ガイド：**
  - **警標に従うこと：**列車はサイズが大きいため、実際のスピードより遅く走っているように見えます。**いかなる場合にも踏切りまで列車と競争しようなどと試みてはなりません**。また、遮断機が下りているときに、それを避けて踏切りを渡ろうとしないでください。
  - **鉄道の線路上で停車しない：**線路上で止まらずに渡れないときは、渡り始めてはなりません。車が線路上で立ち往生した場合は、乗員全員が直ちに車から離

れる必要があります。車を安全に線路から撤去するときにも、踏切りに近づいてくる列車がないことをよく確認してから行います。

- **別の列車に注意する：**線路が複数ある場合、踏切りで列車が通り過ぎるのを待っている間に、最初の列車が通り過ぎても、別の列車がこないかどうかを確認しなければなりません。特に、最初の列車の陰に隠れた見難い場所で別の列車が反対方向に走っていることもあり、万全の注意が必要です。

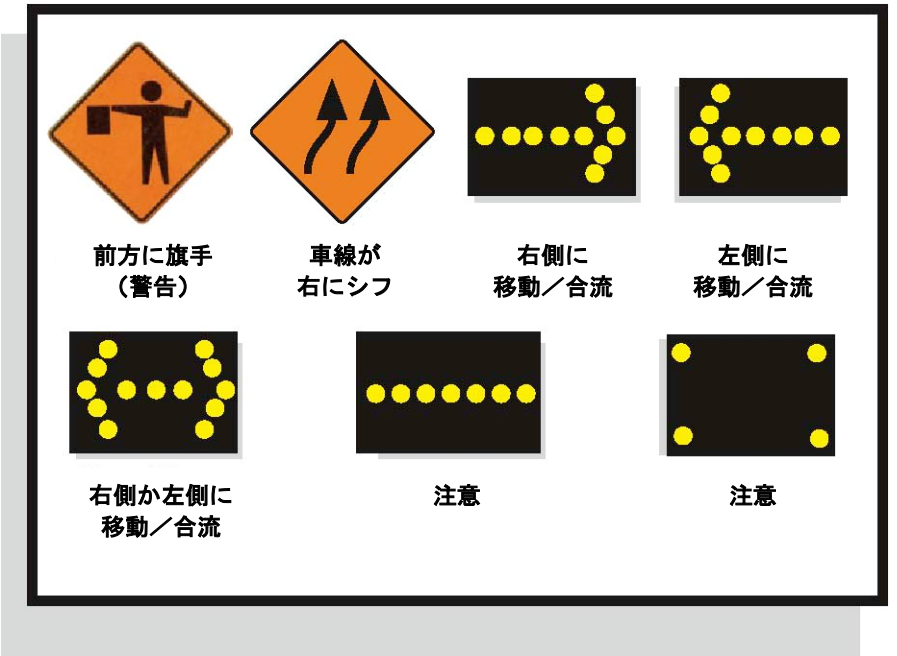
ご注意：　スクールバスは必ず鉄道の踏切りで停車するよう義務付けられています。

緊急用の車両

- **救急車、パトカー、消防車、緊急救助車といった緊急用の車両**は、赤い点滅ランプを表示することが許されています。このような車両がきたとき、ドライバーは先行権を譲らなければなりません。また、これらの車両のサイレンに常に耳を傾け、これを聞いたときは先行権を譲る必要があります。サイレンは普通、緊急用の車両が見える前に聞こえてきます。先行権を譲るときは、緊急用車両がどちらの方向に向かっていても、周辺の車はすべて道路の右側に寄り、緊急用車両が通り過ぎるまで停車する必要があります。
- **停車中の緊急用車両が赤いランプを点滅させている場合：**ドライバーは徐行し、安全である限り、停車中の緊急用車両に隣接していない車線に移動します。そうすることが安全ではない場合はスピードを落とし注意して通り抜けます。
- **ボランティア消防士の車：**青いランプが点滅している個人所有の車両は、警報に応答してやってきたボランティア消防士が使用しているものです。ドライバーは、これらの車に先行権を譲るべきです。
- **救急医療車：**緑のランプが点滅している個人所有の車は、緊急事態に応答してきた認可救急医療技師が使用しているものです。ドライバーは、これらの車に先行権を譲る必要があります。

道路の建設工事とメンテナンス・エリア

これらの領域は、ドライバーとそこで働く作業員の両方に危険が伴います。こうした危険を軽視せず、道路の作業現場を通るときはよく注意して運転してください。

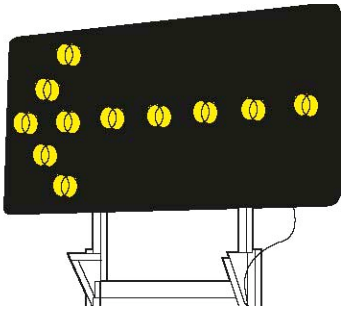


- **作業現場での制限速度**：ハイウェイの工事現場として認定された場所では、標識に表示される法定制限速度の最高は時速45マイルで、それ以下の速度が表示されていることもあります。下記の図は工事現場でよく見られる制限速度の標識です。

作業現場
点滅時の制限速度
時速 45 マイル

作業現場
制限速度
時速 40 マイル

- **点滅する矢印の掲示板：**下記に示すような点滅する矢印の掲示板は、一つ以上の車線が工事中のとき特定の車線（または複数の車線）の方に車の流れを誘導するのに利用されています。この点滅する矢印に従って別の車線に入るときは十分な余裕を持って注意しながら行います。このとき対向車線には入らないよう気をつけてください。点滅する矢印の掲示板は車の流れを迂回させたり、対向車線を通らなければならないとき（Crossover）の誘導にもよく使われます。このような場合には、路上に車線のマーク入れたり、円錐形のコーン（Cones）、樽型のバレル（Barrels）、バリケードなどを置いて、車が従うべき道筋を示します。矢印がどちら側にも付いていない直線だけの点滅する掲示板は、注意して通り過ぎるようにという合図で、ドライバーは別の車線へ移動する必要はありません。



- **作業現場での手合図による交通制御：**作業現場によっては、旗をもった作業員一人もしくはそれ以上が配備され、閉鎖された車線（または複数の車線）の両端で交通量を制御していることがあります。旗を持った人に近づいてきたら、直ちにスピードを落とし、以下に示すような合図に従う準備を整えなければなりません。旗手が車道に向かって水平に旗を差し出しているときは停止する必要があります。旗手が発車するよう合図するまで待ってから、ゆっくりと進みます。標識の付いた立札をかざしている場合は、標識に表示されている『停止』（STOP）または『徐行』（SLOW）の合図に従ってゆっくり進んでください。「建設工事とメンテナンス作業の標識」の項もご参照ください。

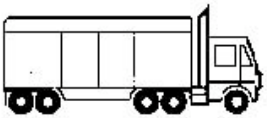
旗を持つ人の手合図

好ましい方法： 標識の付いた立て札　　**緊急時のみ**

車の流れを止めるとき　　車の流れをゆっくり進めるとき　　警告を与え徐行させるとき

交通巡査と公式パレード・行列：

- **交通巡査**：特別の催物、交通渋滞、その他の理由で、交通巡査が特定の交差点や、あるいは他の状況で交通規制を行うことがあります。そのときは常に巡査の指図に従います。巡査の指図が信号や標識の表示と異なる場合がありますが、その際は巡査の指図だけに従う必要があります。
- **公式のパレードや行列**：葬儀などの公式の行列の場合は信号や標識に関係なく行列が先行権を有します。



道路の共有

トラックとの道路の共有

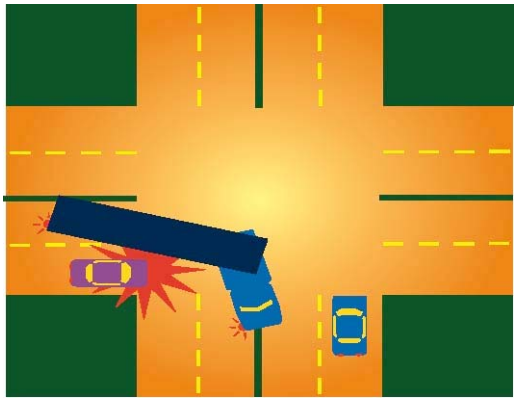
ドライバーのほとんどがよく理解していないのは、いかにして大型トラックと道路を安全に共有するかということです。大型トラックと事故を起こす可能性を減らすには、トラックがブレーキをかけたとき、曲がるとき、トラックの運転手から見えない死角や機敏性といった物理的性質についてドライバーが熟知していなければなりません。全米道路交通安全局（NHTSA）によると、道路の死亡事故8件につき1件は大型トラックとの衝突事故によるものと報告しています。

- **ブレーキをかけたとき**：トラックは、同じ速度で走っていても自動車より停車するのに時間がかかります。時速55マイルで走る平均的乗用車の場合は、停車するのにおよそ130～140フィート（39～42m）必要です（場合によっては190フィート（57m）必要なこともよくある）。これはフットボール場のおよそ半分の距離に相当します。一方、荷物を満載したトラクター・トレーラー（トラクターとトレーラーが連結された大型トラック）で「ホットブレーキ」の付いたものは、完全に停止するまでに優に400フィート（120m）は必要となります。これはフットボール場の長さを超えています。従って、トラクター・トレーラーの前に突然割り込むような形で車線を変えたり、その前で急停車するような行動は控えるべきです。

時速55マイルで走行中の車両が停止するまでに要する平均距離*

*「道路安全のための保険研究所」の調査によるブレーキ後の平均走行距離と全米安全協会の推薦する応答距離を合せた距離。

- **曲がるとき：**どの車の場合も曲がるときは、前輪の描く曲線より後輪の描く曲線の方が短いのが普通です。車両の全長が長くなるほど、その差は大きくなります。トラクター・トレーラーの運転手が左側から大きく回り込むように右折しても後輪はコーナーをぎりぎりに曲がるのはそのためです。トラクター・トレーラーの後を走っているときは、通り過ぎようとする前に、トラクター・トレーラーのウィンカーをよく見てください。特に右折しようとしている場合は、一見左折するように見えますが、すぐに通り過ぎようとせずに、ウィンカーがどちらの方向に出ているかチェックし、右折の合図を出しているときは注意しなければなりません。



- **死角：**トラックには、乗用車に比べてはるかに広域の死角があります。トラックの運転手は乗用車のドライバーの二倍も高い位置で運転しているので、はるかに視界がきくだろうと思うドライバーが多いようですが、それは間違った考えです。トラックの前方の眺めはよく、大きなミラーが付いているのは確かですが、トラックには、乗用車がまったく隠れて見えなくなる危険な死角があります。運転席のすぐ前の20フィート（6m）まで、左右両方（特に運転席側）、それに後方200フィート（60m）まではこの死角に当たります。トラックの側面や後部の死角の中でぐずぐずしている車は、危険な状況になっても、トラックの運転手から見えないため危険を避けようにも避けられない状況に陥るかもしれません。トラックの側面のミラーに運転手の顔が映っていないときは、トラックの運転手に自分が見えていない、ということを常に念頭においておく必要があります。

トラックの周囲の危険ゾーン。
衝突事故の起こりやすい領域。

- **機敏性：**トラックは貨物を遠くへ運搬するためのものですから、乗用車のように機敏に動くよう設計されておりません。トラックは、停止するにも、加速するにも長い距離を必要とし、曲がるときは大きな半径を描き、重量もあります。同方向に複数の車線があるハイウェイでは、トラクター・トレーラーが真ん中の車線を走ると、ハイウェイを出入りする車の流れをスムーズにするのに役立ちます。さらにトラックが真ん中の車線にいると、危険な状況や事故を避けるときに左右いずれかの車線に移れるという融通がききます。以下は、トラックの周囲にいるドライバーが避けなければならない最も一般的な間違いの例です。
  - 通行中に曲がるため、あるいはハイウェイで出口へいくために、トラックの前に**割り込まないこと**。せっかくトラックの運転手が余裕を保っていた車間距離がなくなってしまいます。また道路工事のため一車線に縮小するようなとき、

急いでトラックの前に割り込もうとするのは特に危険です。そのようなときはスピードを落とし、トラックの後に続いて工事現場を出てください。わずか数秒ほど余計にかかるだけで、事故の危険を大いに減らすことができます。

- トラックを追い越すときに、その横で**ぐずぐずしていないこと**。常にトラクター・トレーラーの左側から完全に追い越しましょう。トラックを追い越すときに、その横でぐずぐずしていると、道路の前方に何か障害が見えたときにトラックの運転手がそれを上手に避けられなくなります。
- 前のトラックに**ぴったりくっついて運転しないこと**(テールゲートと言います)。トラックの後を走っているとき、トラックのバックミラーに運転手の顔が映っていなければ、トラックの運転手には自分が全く見えません。トラックや乗用車をテールゲートするのは、前の車が急停止したときに自分の車が安全に停止できる余裕を自分で奪っていることになります。さらに、前の車が何かに衝突したときは、自分の車が前車に追突しないように対応する暇もありません。
- 接近してくるトラクター・トレーラーの大きさとスピードを**決して見くびってはなりません**。トラクター・トレーラーは非常に大きいので一見、実際のスピードより遅く走っているように思いがちです。乗用車とトラックの衝突事故の大多数は交差点で起こっています。乗用車のドライバーが、トラックがいかに近いか、あるいは、いかに急速に接近しているのかに気づいていないからです。

安全上のヒント：上り坂でトラックのすぐ後に駐車しないこと。トラックが後退して、自分の車にぶつかるかもしれません。

オートバイ、自転車、その他の車両との道路の共有

ドライバーは、オートバイや自転車などの二輪車とも道路を常に共有しています。オートバイや自転車は、自動車のドライバーと同様の先行権を持ち、同じように交通法規を守らなければなりません。これら二輪車に乗る人は、自動車のドライバーが周囲を注意して運転してくれるものと考えています。

- **二輪車に注意を配る**：二輪車は、他の大半の車両に比べてはるかに小型なので路上でなかなか見つけにくいものです。ですから自動車のドライバーが二輪車を注意して見ることが非常に重要となってきます。肩越しに振り返って、バックミラーでは見えない死角に二輪車がいないかどうか確かめてください。
- **安全な距離を保つ**：二輪車と道路を共有する際は、自動車のドライバーの方が二輪車と安全な間隔を保つ必要があります。二輪車の後を走っている自動車のドライバーは通常より長めの間隔を保つべきです。二輪車は普通、重量の多い自動車やバスよりはるかに短距離で停止できます。従って、安全運転を念頭におく懸命な四輪車のドライバーは、これを計算に入れて二輪車との間隔を十分にとっています。
- **二輪車の夜間運転**：二輪車は夜間にはっきり見えないため、四輪車のドライバーに特に問題になります。適切な反射板やランプのない自転車などは夜間にほとんど見えないことがよくあります。どのような車両を運転していても、夜間には自転車がいないかどうか十分注意しなければなりません。特に学校や遊園地、公園の周辺ではなおさらです。オートバイや自転車に乗る人は、自分たちの存在がよく分かるよう、あらゆる方策を尽くす必要があります。明るい色の衣服を着たり、できれば光を反射する「たすき」のようなものを着用したり、よく光るよう二輪車の反射板の汚れを落としておくことも大切です。

ご注意：　オートバイの安全に関する詳しい情報は、オートバイの運転免許マニュアル（Motorcycle Operator Manual）をご覧ください。

自転車の安全性

サイクリングは楽しいし、よい運動にもなります。しかし、路上では大きな危険に遭遇しかねません。以下の指示に従って、安全に乗りましょう。

- **ヘルメットを必ずかぶる**

自転車用のヘルメットには様々な形やサイズがあります。ヘルメットを買い求めるときは、以下の点に注意してください。

  - 「CPSC」のステッカーが付いていること。このステッカーは安全基準に見合っていることを示しています。
  - 頭にしっかりフィットする。ヘルメットは前や後に傾いてはならず、周囲が水平に頭に接触していなければなりません。
  - 車のドライバーによく分かる鮮明な色を選ぶ。

- **交通規則に従う**

路上にいるサイクリストは、自動車と同様に交通規則を守る必要があります。

  - 『停止』（STOP）の標識、交通信号、その他の運転上の法規のすべてに従う。
  - 道路の右側を車の流れと同じ方向に走る。
  - 曲がるとき、速度を落とすときは手合図を出す。

- **よく見えるようにする**

自転車に乗っているときは、自動車のドライバーや他のサイクリストに自分がよく見えるようにすることが非常に大切です。よく見えるよう常に適切な配慮が必要です。

  - 鮮明な色の衣服とヘルメットを着用する。
  - 夜はヘッドライトを点け、反射板をペダルと車輪に付け、光を反射する衣服あるいは「たすき」のようなものを着用する。
  - 自動車のドライバーから見えるよう、右側の車線の右側3分の1の部分を走る。

- **守勢を心がける**

車両と道路を共有するということは、常に周囲を警戒し守勢の姿勢で自転車に乗る必要があります。

  - 交差点に入るとき、別の道路に合流するときは、まず対向車がこないことを必ず確かめる。
  - 車線を変える前に後を振り返る。
  - 歩行者の方に先行権があることを覚えておく。
  - 左折する車に気をつける。車のドライバーは自転車のスピードを間違って判断し、早く曲がりすぎるときがある。
  - 左折しようとする車の右側を通り過ぎる車に気をつける。

以上の安全上のヒントは、衝突事故を防いだり、事故に巻き込まれたときに負傷する危険性を減らすのに役立ちます。自転車の安全についての詳しい情報は、全米自転車安全ネットワークのウェブサイト（www.cdc.gov/ncipc）をご覧ください。

自転車データ：

- インディアナ州では自転車事故の大半は春から夏にかけた5ヵ月（5月～9月）の間に起きます。
- 全米では10時間に1人の割合で自転車に乗っている人が交通事故で死亡しています。

ゆっくり動く車両

農業用車両、建設機器、動物が牽引する車両など、特定のゆくっり動く車両と道路を共有することがあります。このような車両に近づいたときや、それを追い越すときには十分注意が必要です。このようなゆっくり動く車両には、特別のステッカーが後部に付いていますから（このマニュアルの第2章の説明参照）、それを見たときは注意を喚起してください。

馬に乗っている人、馬車を走らせている人には、公道にいる限り、車のドライバーと同様の権利と責任があります。このような人に近づくときは注意を払い、むやみに警笛などを鳴らさないよう気をつけてください。他のドライバーが停止したり、曲がったり、追い越そうとする合図を出したときに自分もそれに対応するのと同じように、馬に乗る人や馬車を走らせている人が手合図を送ったときは、それをしっかりと確認してください。

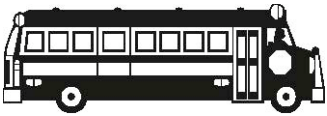
安全な携帯電話の使用

全米道路交通安全局（NHTSA）によると、携帯電話の使用が衝突事故の要因として浮上しつつあります。つまり、余りに多くの人が運転しながら携帯電話の会話に気をとられているわけです。運転中に携帯電話を使うと、道路への集中力が散漫になり、危険な存在になりかねません。守勢型の運転は、道路に注意を集中できなければ達成できません。運転中に携帯電話を使用する場合は、以下の安全上のガイドラインに従ってください。

- 交通状況を常に評価し、できれば自分の車が停止しているときに、簡単にかけられる相手に電話する。そうしている間でも、道路の前方と全部のミラーに適切な注意を払う。
- 自分の携帯電話の使い方をよく心得ておく。メモリダイヤルとか音声ダイヤルの機能を利用したり、スピーカーフォン内臓の携帯電話を手に入れることを考慮して、

運転中は両手をハンドルにおき、できるだけ道路から目をそらさないようにする。

- 運転中に携帯電話で話しながら飲食したり、タバコに火をつけたり、物を読んだり、書いたりしない。また深刻な会話は避け、電話を切ってでも運転の方に常に注意を集中する。
- 危険な運転状況や気の散るような交通状況に遭遇したときは会話を一時中断する。
- 音声メールにメッセージを残してもらうようにし、自分の便宜に合せて返信する。
- 自分の限界をよく理解し、携帯電話を使うと安全運転に影響すると認識したならば、電話中は車を道路の脇に止める。



スクールバスに関する規定

通学のために生徒を輸送するスクールバスは、以下の規定を満していなければなりません。

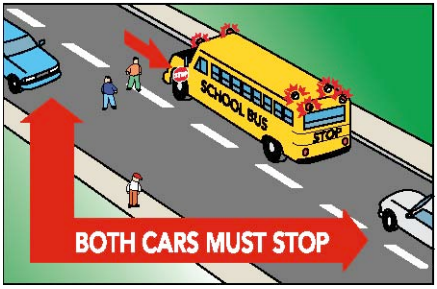
- 車体全体が黄色（Chrome-Yellow）に塗られ、車両の前面と後部に最低8インチ（約20cm）の高さの黒い文字で「**School Bus**」と書かれている必要がある。
- 車両の前面と後部に黄色（Amber）のランプ（これは、バスが生徒の乗り降りのためにスピードを落とし、まもなく停止するという警告を車のドライバーに知らるためのもの）が設置され、さらに前面と後部に赤いランプ（これは、生徒の乗り降りのためにバスが実際に停止していることをドライバーに知らせるためのもの）が設置されている。
- 黄色（Amber）の方向指示器を装備している。
- 車体の側面から最低18インチ（約46cm）だけ道路に突き出す細長い板が設置され、それに白い文字で『停止』（STOP）と書かれた八角形の赤い標識が貼らせている。バスが停止し生徒が乗り降りしている間はこのストップサインの板が道路側に降りている。

- **生徒の降車**

  スクールバスのドライバーは、右側の歩道の縁石または道路の縁にできる限り近づいて生徒を乗り降りさせなければなりません。

- **スクールバスのいるところでの停止**

  スクールバスの赤いランプが点灯し、バスの左側面から八角形の赤い『停止』標識（ストップサイン）の付いた細長い板が道路側に降りているときは、道路のどちら側の車両であっても**必ず停車しなければなりません。**停止後も、道路の脇を歩いている生徒に気を付けてください。



二方通行路のときは両方向の車が停止する必要がある。

ご注意：　同方向に二車線以上ある道路で、しかも中央に車の通れない分離帯がある場合、スクールバスの反対側を走る車両は停止する必要がありません。

- **最高制限速度**
  スクールバスが郡（County）または町 （Township）の道路を走る場合の制限速度は時速40マイル、国道、州道を走る場合の制限速度は時速55マイルです。
- **生徒の通学以外の用途**
  学校当局は、法規に基づいて、通学以外の目的で生徒の輸送にスクールバスを利用する許可を書面で与えることがあります。
- **特殊用途のバス**
  公立と私立の学校は、課外活動のために生徒を輸送する特別用途のバスを登録することができます。このような車両はスクールバスとして使用できません。6名以上の者を課外活動のためにバン、ステーションワゴン、またはバスで輸送する場合は、「特殊用途」の規定に見合うよう車体を変更し、インディアナ州警察による検査を受けなければなりません。

突起した荷物、ランプ、ライトに関するトラックの規定

- **車両の後部から突起した荷物**
  荷物が車両の後部から4フィート（1.2m）以上突起している場合、または、車両の後部から4フィート以上の長さの荷物揚げ降ろし用尾板（Tailboards）または後部扉（Tailgates）をつけている場合は、突起物を示すマークを以下のように表示する必要があります。
  - 突起した部分の前後に、側面からよく見えるよう赤いランプ／旗を一つずつ付け、積載物の長さを示す。
  - 後からよく見えるよう突起物の末端の両側に赤いランプ／旗を一つずつ付け、さらに赤い反射板を荷物の両側面に一つずつ付けて、後から積載物がどれ位の幅を持っているかが分かるようにする。

- **点滅するハザード警告ランプ**
  どのバスも、トラックも、トラック・トラクターもこの合図を送るシステムが装備されていなければなりません。車両の曲がる方向を示す方向指示ランプに加えて、これらの車両には、車両の前方2つと後方2つの方向指示ランプが同時に点滅して他の車両に警告を与えるためのスイッチ、またはスイッチの組合せが装備されている必要があります。このランプは、車両のイグニッションがオンでもオフでも同時に点滅する機能をもっていなければなりません。

- **あらゆる動力車に装備すべき緊急装備**
  軽量車を除き、あらゆるバス、トラック、トラクター・トレーラー、それに何かを牽引する動力車はすべて以下の装備が必要となります。

- **消火器**：消火器は中身が満タンでしかも取り出しやすい場所に設置されていなければなりません。その上、車両にしっかり固定され、満タンであるかどうかが一目で判別きるように設計され維持されている必要があります。
  - **危険物の輸送に使用される**動力車に必要な消火器の規格：Underwriters' Laboratoriesの規格10-B: C またはそれ以上。
  - **危険物の輸送に使用されない**動力車については以下のいずれかの規格の消火器を備える必要があります。
    - Underwriters' Laboratories の規格 5-B: C またはそれ以上の消火器1つ。
    - Underwriters' Laboratories の規格 4-B: C またはそれ以上の消火器2つ。
- **スペアのヒューズ**：保護用サーキットブレーカーがリセット型ではないときは、各種類とサイズごとに最低一つのヒューズをスペアとして用意する必要があります。
- **停止中の車両につける警報装備**：トラック、バス、トラクター・トレーラーを運転中に路上または路肩で故障し動かなくなったときは、すぐに以下のいずれかの組合せで警報装備を表示しなければなりません。
  - **日中の場合**：三角形の両面型緊急反射材、または、発炎筒に代わる赤い旗、反射材、または電気ランタン。この状況では故障車両の車道側に発炎筒を置く必要はない。
    - 連邦自動車安全基準No. 125の規定を満たす三角形の両面型緊急反射材3個、または、
    - 最低6個のヒューズまたは3個の液体燃焼発炎筒を以下のように表示する。
      - 車道側の、車が向かってくる方向の一番近い場所に発火させた発炎筒／ヒューズ、点灯している赤い電気ランタン、小型の赤い緊急反射材のいずれか一つを置く。
    - 緊急装備を以下の順序で素早く置く。
      - 故障車の前方100フィート（約30m）離れ、対向車線に面した方向に装備を一つ置く（分離帯のあるハイウェイでは200フィート（約60m）、さらに曲がり角、上り坂の頂点、または故障車両によりドライバーの視界が遮られている場所から500フィート（約150m）以内で故障したときは最低500フィート（約150m）の場所に装備を一つ置く）。
      - 故障車の後方100フィート（約30m）離れ、対向車線に面した方向に装備を一つ置く（分離帯のあるハイウェイでは200フィート（約60m）、さらに曲がり角、上り坂の頂点、または故障車両によりドライバーの視界が遮られている場所から500フィート（約150m）以内で故障したときは最低500フィート（約150m）の場所に装備を一つ置く）。さらに故障車が停車してる車線の中央の（故障車の）前後に一つずつと、車道側の側面に一つ置く。

ご注意： **Division 1.1、1.2、1.3（爆発物）の危険物を輸送する商業用車両、Division 2.1（可燃性ガス）の危険物輸送用またはClass 3（可燃性液体）の危険物輸送用の貨物タンク車（このような危険物を積載しているか否かに関らず）、または、車両の燃料として圧縮ガスを用いているあらゆる商業用車両には、液体燃焼発炎筒、ヒューズ、灯油ランタン、その他のあらゆる発炎性の信号を装備してはなりません。**

特別許可を必要としない商業用車両の一般的サイズ制限

最大幅.....最大8フィート6インチ
最大高（あらゆる車両）.....13フィート6インチ
単一車両の最大長.....36 フィート
最大長
（2車両の組合せ）.....60フィート
（3車両の組合せ）.....65フィート
セミトレーラーと組合せた場合の最大の長さ.....28フィート 6インチ
トラクター・トレーラー、セミトレーラーの
組合せユニットの最大の長さ.....28 フィート6 インチ
結合車または牽引車との間の最大許容距離.....15フィート

最高重量制限

総重量8万ポンド以上の車両または組合せ車両は、特別許可書なくハイウェイを通ることはできません。車両の重量は以下の制限内に分散されていなければなりません。

車軸一つの最大重量.....20,000ポンド
ホイールの最大重量.....タイヤリムの直径1インチにつき800ポンド
タンデム車軸の最大重量.....車軸1本につき17,000ポンド

橋に関する連邦規定によると、前車輪と後車輪の距離の短い車両については重量規制が課されることがあります。重量オーバーの車両は警察により差し押さえられることがあります。

- **特別許可書**：上述のサイズと重量の制限を越えた車両は、公道で運転する前に、州がメンテナンスを行っている道路についてはインディアナ歳入省から特別許可書を、また州がメンテナンスを行っていない道路についてはは地元当局から特別許可書を入手しなければなりません。

- **地元での制限**：地元地域を管轄する道路当局が、道路、橋、構造物などに重量制限を掲示している場合、この総重量を超えた車両を運転するのは違法です。これには、霜の下りる季節に車両の重量と速度を制限する「Frost Laws」（地元政府によって設定）も含まれます。

車間距離

トラックや、トラクター・トレーラー組合せ車両は、別のトラックやトラクター・トレーラーの組合せ車両との間隔を300フィート（90m）以上保つ必要があります。但し、追い越す場合、またはビジネス街、住宅街を走る高速道路以外の道路を運転している場合は例外とします。

必要な点灯設備

どのトラックやバスも、ヘッドライト2つ、後部ライセンスプレート用の白のランプ1つ、赤のテールランプ2つ、そして赤のストップランプ最低1つが取り付けられていなければなりません。また夜間に車両の幅がはっきり分かるよう、車体の幅が80インチ（約2m）以上のトラックとバスはすべてクリアランスランプ（車幅灯）を4つ——車両前部の両サイドに黄色のランプを1つずつ、車両後部の両サイドに赤のランプを1つずつ——付けていなければなりません。

質問のサンプル

教習許可証と運転免許証に関する質問：
このテストは、16項目の標識と34項目の質問で構成されています。このテストに合格するには、標識の項目が2つまで、質問の項目は6つまでの間違いが認められています。

損害や負傷、死亡に通ずる事故の少なくとも70%は、以下に起因しています。
A. 人間の犯した間違い
B. 信号機の故障
C. 安全でない道路状況
D. 車両の欠陥

安全かつ合法的に他車を追い越すときは、ドライバーが以下の規定を守る必要があります。
A. 追越し車線に他の車がいないことを確かめ､別の車が自分の車を追い越そうとしていないのを確認するために後方と左側をチェックする。
B. ブレーキを踏んでスピードを落とす。
C. 車線のマークが実線のときに追い越す。
D. 上記の回答すべてが正しい。

霧は視界を大きく狭め、他の車両、歩行者、信号を見難くします。そのようなとき、ドライバーはどうすべきですか。
A. 注意深く運転し、スピードを落とす。
B. ヘッドライトを上向きに点けない。
C. 道路と前方の物体がよく照らし出されるよう、ヘッドライトを下向けに点ける。
D. 上記の回答すべてが正しい。

守勢型の良いドライバーは何をすべきですか。
A. 常にゆっくり運転する。
B. 他のドライバーの行動によく注意を払う。
C. 一定のスピードで走る。
D. 馴れた場所だけ運転する

赤信号で右折するときは、何をすべきですか。
A. スピードを落とし、他の車が通行していないときは、そのまま角を曲がる。
B. 他の車や人に先行権を譲ってはいけない。
C. 完全に停車し、曲がる方向で通行中の車両や歩行者の先行権を妨害しない。
D. 「信号が赤のときは右折禁止」という標識を無視する。

濡れた道路を運転するときは、何を念頭におくべきですか。
A. 雨が降り出した直後は道路が最も滑りやすい状態である。
B. 濡れた道路を走るときはハイドロプレーニングの起こる可能性に気をつける。
C. 停車するのに余裕をもたせる。
D. 上述の回答すべてが正しい。

赤い信号灯が点滅しているときは何を意味してますか。
A. 徐行すべき理由がある。
B. 『停止』(STOP)標識と同じ意味を持ち、ドライバーは車を止める必要がある。
C. 危険があるかもしれないので注意する。
D. 左右をよく見てから通り過ぎる。

曲がるという合図は、少なくともどのくらい手前で出すべきですか。
A. 曲がる前の200フィート
B. 曲がる前の150フィート
C. 曲がる前の100フィート
D. 曲がる前の50フィート

ショーファーライセンスと一般乗客向けショーファーライセンスに関する質問：
このテストは25項目の質問で構成されています。試験に合格するには4つまでの間違いが認められています。

トラックのタンデム車軸の最大重量は車軸1本につきどれほどですか。
A. 車軸1本につき20,000ポンド
B. 車軸1本につき10,000ポンド
C. 車軸1本につき17,000ポンド
D. 車軸1本につき15,000ポンド

商業用車両のドライバーは、踏切りの手前何フィートで車両を止める必要がありますか。
A. 10〜40フィート
B. 15〜50フィート
C. 20〜60フィート
D. 5〜45フィート

特殊許可証なしに運転できる車両の最大の高さは次のうちどれですか。
A. 13 フィート6インチ
B. 12 フィート7インチ
C. 11 フィート 8インチ
D. 10フィート9インチ

一般乗客用ショーファーライセンスは、雇われた運転手が乗客を乗せる特権を付与しています。このときの車両は何人までの乗員を乗せるために使用できますか、またはそのように指定されている必要がありますか。
A. ドライバーも含めて20 人
B. ドライバーも含めて15人
C. ドライバーも含めて25人
D. ドライバーも含めて16人

トラックの車軸一つの最大重量は何ですか。
A. 17,000 ポンド
B. 20,000 ポンド
C. 80,000 ポンド
D. 上述の回答すべてが正しい。

オートバイに関する質問：
この試験は25項目の質問で構成されています。 この試験に合格するには、4つの間違いまで認められています。
（回答はオートバイ運転マニュアルを参照してください。）

使い慣れていないオートバイに乗るときには、何をすべきですか。
A. 車線の右側に留まる。
B. オートバイのオーナーと一緒に乗る。
C. 停止するときに十分なスペースをおく。
D. 3段以上にギアをシフトしない。

夜間にオートバイを運転するときは、何をすべきですか。
A. 点滅ランプを点けて走る。
B. 光を反射する衣類を着る。
C. （複数の車線があるときは）常に真ん中の車線を走る。
D. 安全のため前車との間隔を少なくする。

前輪のタイヤがパンクしたときは、何が起こりますか。
A. ハンドルが重く感じる。
B. オートバイの後部が左右に揺れ動く。
C. ハンドルが激しく揺れる。
D. ブレーキのパワーがなくなる。

ヘルメットをかぶっていると、どのような事故なら死なずにすむかもしれませんか。
A. 低スピードの衝突事故だけ
B. 高スピードの衝突事故だけ
C. スピードに拘らず、あらゆる事故
D. 単車事故のときだけ

他のドライバーが自分の車線と共有するのを防ぐには普通何をするのが一番良いですか。
A. 自分の車線の左側を走る。
B. 自分の車線の中央を走る。
C. 自分の車線の右側を走る。
D. 別の車の横を走る。

第4章
緊急時

車道から外れたとき

車が道路の路肩に入ってしまったとき、すぐ道路に戻ろうとしてはいけません。急いで行うと車がバランスを失うかもしれません。それよりも、路肩にそのままいて、アクセルを踏む足を緩め、車のスピードを落としてから、ゆっくり道路に戻ります。曲がり角では常にスピードを落とすこと。

悪天候と運転

米気象庁によると、大雨が道路に及ぼす危険をドライバーはよく認識すべきだと述べています。強風や空模様があやしいとき、ドライバーは警告情報をラジオで聴いて、特定の安全措置を講じるべきです。

- **竜巻：**直ちに下車し、窪みや嵐のくる方向の小さな谷のような場所に避難します。押し寄せる水や頭上に十分気をつけてください。
- **強風：**強風は高車体の車に大きな影響を与えます。天候についての詳しい情報は第3章をご覧ください。

水中に落下したとき

車が水中に落下し、すぐに沈もうとしていないときは、窓からの脱出が可能です。水圧でドアを開けるのは難しいからです。脱出する前に車が水没してしまった場合、エンジンの重みで車の前方から先に沈みます。車の天井に空気がいくらか残っているかもしれません。このようなときは以下のように行動すべきです。

- シートベルトをつけたままにしておくこと。これにより、車が水にぶつかるときの衝撃から守ってくれる可能性が高まります。
- 空気の溜まったところに行き呼吸します。
- 車が水底につき、車内と車外の圧力が等しくなるとドアや窓を開けやすくなります。
- 脱出するのに数秒の余裕しかないことを覚えておくこと。パニック状態にさえならなければ数秒で脱出できるはずです。

鉄砲水に襲われたとき

毎年、鉄砲水による全国の死者数は、悪天候に起因した他の出来事で死亡する人数を上回っています。大雨の中を運転しているときや、危険な状況に遭遇したときは、以下の点をよく念頭に入れておくべきです。

- 夜間またはよく知らない道を運転しているときは特に注意する。
- 橋や排水路、道路の土手が洪水で流されたり、削り取られているかもしれないことをよく承知しておく。
- 道路が浸水しているところは運転しない。水の深さは一目見ただけでは分からないうえ、水で侵食された深みが隠れているかもしれない。
- 水深わずか6インチ（約15cm）で車のコントロールが不可能になる可能性がある。
- 洪水の只中で車が立ち往生したときは、できるだけ早く車を捨てる。洪水であっという間に水深が増し、車中の人間も押し流してしまう可能性がある。

車の故障

タイヤのパンク

タイヤがパンクしたときは、ハンドルをしっかり握り、車をまっすぐに走らせます。スピードを徐々に落とします。アクセルペダルから足を離します。但し、ブレーキは踏まないこと。車が自然に止まるまで待ってください。それから車を道路わきに寄せ、ほぼ完全に止まった時点でブレーキをかけます。

ブレーキの故障

従来のディスクブレーキやドラムブレーキが突然故障した場合は、できればローギアにシフトし、フットブレーキを数回強く素早く踏んでみます。これでブレーキに十分なプレッシャーがかかり車が止まるかもしれません。それでも止まらない場合は駐車ブレーキを使います。但し、駐車ブレーキを入れたあとも、後車輪がロックされ、スキッドし始めた場合に備えて、直ちにリリースできるよう(例えば、リリースボタンを押したままの状態)にしておきます。ローギアのままの状態で、車を停車させる場所を探し始めます。車を道路の脇に寄せ、完全に停車したら、助けを呼びます。ガレージまで運転しようと試みるのは禁物です。

イグニッションのロックポジション

ドライバーがハイウェイで緊急事態に遭遇すると、車を停止させたいがために、車がまだ動いている間に慌ててイグニッションを回してしまいます。ハンドルにインターロック・システムが付いている車を運転するときの基本ルールは、**車が動いている間に絶対にイグニッションをロックポジションにしないこと**。そうなると、カーブを曲がったときにハンドルがロックしてしまい、車のコントロールがつかなくなってしまいます。

交通事故、負傷、死亡の主な原因

自動車事故の少なくとも70%は人間の犯した間違いが原因となっています。これは、守勢的な運転テクニックを使えば回避できるはずです。事故の原因はドライバーの不注意と道路法規の無視によるものです。車の座席に座ったら、ともすれば危険な機械を安全に操作する責任があることを常に念頭においてください。

飲酒運転や薬物を服用したうえでの運転は事故の可能性をさらに高めます。飲酒したとき、薬物を飲んだときには運転をしないこと。これには、眠気や他の副作用をもつ処方薬や店頭薬も含まれます。運転する前に薬のラベルをよく読むか、副作用について医師と相談してください。

飲酒・薬物を服用したドライバーの発見法

飲酒ドライバーや薬物を飲んだドライバーの運転する車は「殺人凶器」となりかねません。以下のような車を見つけたら要注意です。

- 大きなカーブを描いて曲がる。
- 道路の中央線を両またにかけて運転したり、その左右を蛇行しながら運転する。
- 制限速度を超えているか、余りにゆっくりと運転する。
- 他の車や物体にぶつかりそうになる。
- 車道を外れて運転したり、対向車線に入ったりする。
- あちこち、うろうろしながら運転したり、前車に接近し過ぎる。
- 理由もなく止まったり、突然または違法なところで曲がったりする。
- 矛盾するシグナルを出したり、ヘッドライトを点けないで夜間運転をする。

このようなドライバーは非常に危険です。十分な距離をおいて運転してください。

ヒント：飲酒・薬物を服用したドライバーを見つけたら「911」に連絡してください。

衝突事故の回避

常に安全運転を心がけるのは大切なことですが、緊急事態が起こらないとは限りません。突然、衝突しそうになったときは、次の3つの行動をとることができます。

- すぐに停車する。
- 素早くハンドルを横に切る。タイミングよく停車できそうもないときはハンドルを切って衝突を避ける。
- スピードを上げることが衝突を避ける最善または唯一の方法のときもある。

衝突直前の数秒間にとれる選択肢

衝突を前にした数秒はパニック状態にならないこと。この最後の数秒間でも選択肢はあるのです。衝突しそうだと判断したら、対向車を避けるために反対側にハンドルを切ることも可能（そのために道路から外れてしまっても）です。（車が横滑りの状態になるより）道路から外れる方がまだ安全です。その方が車をコントロールできるからです。何かに突っ込まなければならないときは、固い物体ではなく衝撃のやわらかいもの（例えば、木の藪とか草むら）を選びましょう。別の方向より、車の向かっている方向で突っ込む先を探します。また、自分の方に向かって動いてくるものではなく、静止しているものを探します。どうしても避けられないときは斜めから突っ込みます。例えば、車体の側面からぶつかると車のスピードを落とすのに役立ちます。正面から衝突するのは絶対に避けましょう。

事故に遭遇したときの対処法

いつなんどき負傷するか分かりません。だからこそ「事故」と呼ばれているのです。事故とは不意に起きる不幸な出来事で、その準備のできている人などはめったにおりません。誰も事故に遭うとは思っていないのです。しかし、最も注意深い人ですら自動車事故に遭うかもしれません。事故後の対処法を知っておけば、気が転倒せず、事態を不要に複雑にせずに済みます。

事故に遭ったら、常に次のルールに従うこと

- 事故を起こしたり起こされたりしたときは、まず車を止め、事故の関係者全員に情報を提供する必要があります。事故現場から何もしないで立ち去るのは深刻な犯罪で、運転免許証の停止処分を受けかねません。
- 落ち着くこと。気が転倒していると事態をことさら複雑にするだけです。
- 負傷者がいないかチェックする。人命と健康は車の損害よりはるかに重要です。負傷者がいる場合には、緊急でない限り動かしてはいけません。負傷者を寝かせ、暖かく保ちながら、安静にします。
- 警察に電話をかける。車や他の物件に大きな損傷が出た場合は警察に連絡します。負傷者がいる場合には、このときに警察に伝えるのをお忘れなく。
- 周囲のドライバーに事故が起きたことを警告する。ハザードランプを点灯するか、他の手段で他の人々に事故の発生を知らせます。
- 情報の交換。負傷者がいない場合は、氏名、住所、ライセンスプレート、ドライバーの運転免許証番号、保険情報などを交換します。事故を目撃した人全員の氏名、住所、電話番号も控えておきます。事故がどこで起き、天候や視界はどうであったかなど詳細もメモします。現場にきた警察官全員の氏名とバッジ番号も入手します。警察報告書の写しを入手する方法を捜査担当の警察官に尋ねます。

- 警察官か保険代理店に求められたとき以外、いかなる書類にも署名してはなりません。
- 保険代理店に直ちに事故を通告する。このとき運転者事故報告書（Operator's Crash Report,、書式 SR21）を提出するよう要請するのをお忘れなく。インディアナ州法では、事故発生後10日以内にこの報告書を提出する必要があり、その責任はドライバーにあります。
- 車のダッシュボードに使い捨てカメラを入れておくと便利です。

以上の指示は一般的なガイドラインに過ぎません。事故の起きる状況はそれぞれ異なるうえ、事故の種類によって、それに伴う責任も様々です。

ヒント：「当たり屋」の回避。毎年、アメリカ人は、保険詐欺のために300億ドルを超える保険料を余計に支払っています。これはアメリカ人一世帯当たり年間200ドルの保険料に相当します。組織的な保険詐欺の中で今増大中なのが、事故に見せかける、いわゆる「当たり屋」と呼ばれるものです。このような疑いがあるときは、NICBのホットラインに連絡してください（フリーダイヤル 1-800-TEL-NICB）。

- **単車事故**

  別の車や他の物件に損害を与え、そのオーナーが現場にいないときは、自分の氏名、住所、電話番号を書いた通知を、オーナーがよく気づくような場所に残しておきます。損害を与えた物件がこのような通知を残せるような状況にないとき（例えば、道路標識、案内標識などの公共物）には、郡保安官（Sheriff）またはインディアナ州警察の一員に上記の情報を通知しなければなりません。

- **事故報告書に記入する**

  死亡者や負傷者の出た事故、または物件の被害が1000ドルを超える事故については、発生後10日以内に事故報告書をインディアナ州車両管理局（BMV）に提出しなければなりません。この報告書は極秘扱いされ、陪審裁判の時に証拠として利用することはできません。事故報告を行わない者には、運転免許証の停止処分と罰金が課されることがあります。運転者事故報告書（書式 SR21）は、どの警察官からでも入手できます。

- **財務責任証明書の提出**

  事故が起きた後、必要とあれば、事故の発生日付で財務責任がカバーされている（つまり自動車損害賠償保険に加入している）証明をBMVに提出しなければなりません。

自動車盗難の回避

北アメリカでは、19秒ごとに一台の車両が盗まれています。次のような点について予め注意しておけば、車の盗難に遭う機会を減らすことができます。

- 車を運転しないときは、カギを取り出し、手元に携帯する。
- 車のドアは常にロックする。
- 2つ目のカギを車の中に隠さない。
- 前輪を大きく右側に傾斜させて駐車し、非常ブレーキをかけておく。
- エンジンをかけたまま車を放置しない。
- 防犯装置をつけることを考慮する。
- できるだけ照明灯のある警備の目の届いた場所に駐車する。

運転中にカッとなる（Road Rage）

前車のすぐ後を運転したり、警笛を慣らしたり、こぶしや腕を振るったり、怒鳴ったり、スピードを出し過ぎたり、他車の前に割り込んだり、最近では銃を使うなど、攻撃的な運転は今やアメリカの路上で危険な存在となっています。自分のストレスや怒りを他人にぶつけるドライバーは、「現在、ハイウェイで急速に増大中の悪者」だといわれています。

運転中にカッとなる人は毎年増えており、どのドライバーもこうした攻撃的な運転から身を守る必要があります。車の運転席に座ったとたんに、イライラが激しくなったり、怒りっぽくなるようであれば、自分の態度や行動を改める必要があります。このような人は、自分から事故を求めているようなものです。警察も保険会社も、こうした攻撃的なドライバーに対して非常に厳しくなっています。とにかく余りにも多くの衝突事故の原因となっているからです。

警察官による一般的な停車命令

警察官に車を止めるよう指示されたときは、ストレスの原因になりがちです。しかし、警察官にとっては危険を伴う作業だとみなされています。停車させた相手が、交通違反を犯した者なのか、警察官に危害を加えるつもりの犯罪者なのかは、警察官にすら分からないことがあります。そのため、警察官に道路わきに車を止めるよう指示されたときは、以下の単純なルールに従ってください。

- 自分が車を止める意志があることをウィンカーで合図し、路肩に安全に停車する。
- 車内に留まり、窓ガラスを下げる。
- 警察官が来るのを待つ。
- 夜間の場合は、天井灯を点ける。
- 両手をハンドルのうえに置き、同乗者に対しても警察官の目に届く場所に両手を置くよう伝える。
- ダッシュボードの中や座席の下を探すような行動はとらない。
- 車の登録書、保険証明書、運転免許証をアクセスしやすい場所に置く。

一酸化炭素中毒

一酸化炭素は目に見えないばかりか、匂いも味もありませんが、エンジンからでる一酸化炭素ガスで死ぬこともあります。一酸化炭素は、車を暖房中のときや、排気システムが正しく作動していないときに車内に漏れたり、あるいは、交通渋滞の只中にいて他車の排気ガスが車内に入ってくることが多いようです。排気システムが故障すると、子供たちがよく座ったり眠ったりする後座席にこの有毒ガスが漏れる心配があります。

一酸化炭素中毒の症状：

- 眠気をもよおしたり、めまいがしたり、その両方が起きる。
- 肌の色が青ざめ、唇が紫色になる。
- 日の光を一段とまぶしく感ずる。
- 額が引き締まるように感ずる。

一酸化炭素中毒の避け方：

- 定評のあるメカニックに排気システムを定期的に点検してもらう。
- 車の床下から「うなる」ような変な音がするかどうか注意する。
- 絶対にガレージのドアを閉じたまま車のエンジンをかけっぱなしにしない。
- 交通渋滞の中では通気孔を閉じる。
- 気候の寒いときにハイウェイを運転するときは通気孔を開ける。
- 吹雪のときに車が外にあるときは、積雪で排気パイプに支障が出ていないかチェックする。

第5章
年配ドライバーのためのヒント

自分も車も運転できる準備ができているか

安全運転の最も重要な要素はドライバーです。自分が最も安全なドライバーであるかどうかを期すために、以下のような自己評価を行ってみてください。

人間は年配になると、みな身体にある程度の衰えを感じます。早い人では30才ぐらいから衰え始めます。これは年をとるという自然の現象に過ぎません。身体が衰えたからといって運転してはいけないわけではなく、こうした変化を認識し、それを補う方法を学べばよいわけです。

視力

ドライバーにとって視力は何よりも重要です。大人になるにつれ、人間の視力は暗がりになったときに調整したり、対向車の強いヘッドライトの光線から回復する能力が衰えてくるため、夜間の運転が難しくなります。

視力の衰えに対処するには、以下のようなヒントに従ってください。

- できるだけ夜間、大雨、霧が深いときの運転を避ける。
- 夜間にどうしても運転しなければならないときは、対向車のヘッドライトから目をそむけることを覚えておいてください。対向車が自分の方に近づいてきたら、道路の横の白線に目を向けること。
- できる限り道路の右側の車線を運転する。
- フロントガラスや窓ガラス、ミラーをすべてきれいに保つ。
- 両サイドのミラーとバックミラーがきちんとしているか頻繁にチェックする。
- 薬を飲んでいるときは、その副作用をすべて知っておく。

聴力

聴力が少しでも減退すると、警笛、サイレン、踏切の警鐘などが聞きづらくなり、運転に支障をきたしかねません。

運転中に聴力をとぎすますには以下のヒントに従ってください。

- ラジオを切るか、音量を低くする。
- エアコンの空量を低く設定する。
- 市中を運転しているときは窓ガラスをほんの少し開けておく。
- 聴力減退の兆しを感じたら、医師に見てもらう。問題を是正してもらえるかもしれません。

機敏性

年をとることに起因する機敏性の衰えを解消または低減するための最も簡単な方法は常に体調を整えておくことです。

避けられない身体の衰えの中でも、運転に影響を与えかねない衰えについては、以下のヒントに従って補うことができます。

- 自動変速機、パワーブレーキ、パワーハンドルの付いた車を使う。
- 楽な服装、楽な靴（滑り止めつき）で運転する。
- できる限り、長期間の運転を避ける。
- 急角度に曲がる操作が難しいとき、左右に大きく首を回すのが困難なときは、車をバックさせる必要性を回避する。
- 座席が低すぎるときは、クッションを加える。自分の肩がハンドルの上部とだいた

い同じ高さになるようにする。

反応力と反射作用

以上の要因はすべてドライバーの反応時間と反射作用に大きな影響を与えます。特に、大人のドライバーの方々は自己の限界をよく把握して、それを相殺できるような措置をとることが重要になってきます。

以下は、安全運転に役立つ一般的ヒントをいくつか挙げたものです。

- 視力と聴力を頻繁に検査してもらう。
- 自分の能力と限界を知る。
- 疲れているときには運転しない。
- 慣れた道を運転し、交通渋滞を避ける。
- 適切なスピードを維持する。スピードの出し過ぎだけでなく、遅すぎるのも危険な場合があることを覚えておく。
- 車の流れより遅いスピードで運転するときは常に右側の車線に留まる。
- 近所の店に行くときでも、長期間のドライブを計画しているときでも、常に交通標識を守ることは不可欠。

様々な運転状況に対応するには

- **郊外の道や田舎道**

郊外の道や田舎道は市中や高速道路ほど混雑しないことが多いのですが、どのドライバーにも、それなりの問題を投げかけています。

特に気をつけなければならない危険としては以下のようなものが含まれます。

- いわゆる「即席交差点」（Instant Intersections）に気をつける。運転中、道路の両側をよく見ること。隠れたところにドライブウェイがあったり、畑に通ずる横道があったりします。このような場所は「即席交差点」となりかねません。
- 農業用車両などの遅い車に気をつける。
- できるだけ追越しをしない。

- **市中運転**

市中運転はイライラの原因になりがちです。ときには神経が磨り減ることすらあります。それでも交通規則、標識、信号をきちんと守り、以下のヒントを心得ておけば、運転がもっと楽になります。

- 予めルートを決めておく。
- 歩行者に気をつける。
- 交通信号に気を付け、それを守る。
- 正しい車線にいるか確認する。
- ブレーキランプをよく見る。
- できる限り左折を避ける。

- **駐車場**

事故の多くは駐車場で起こります。以下は注意すべきヒントをいくつか挙げたものです。

- 駐車スペースにまっすぐ入る。できれば車の前を外側にして駐車すると、出るときにバックしなくてすむ。
- 指定の車線だけを通る。決して駐車スペースを横切ったりしない。
- 突然バックしてくる車があるかもしれないので警戒心を怠らない。

- **高速道路での運転**

年配のドライバーを一番威圧するのは高速道路での運転です。高スピード、複数の車線、出口や入口のランプなど気後れしがちです。

以下のガイドラインを念頭においておくと高速道路の運転も少々気が楽になるでしょう。

- 常に注意深くルートを決めておく。高速道路の名前と位置、どの出口で出るのかなどをよく知っておく。
- 表示された制限速度に従う。最低制限速度も維持しなければならないことも覚えておく。
- 不要な車線変更は避ける。右側の車線で運転する。特に他車より遅いスピードで運転しているときはなおさらである。
- 高スピード運転をするのは気が進まないのであれば、高速道路をできるだけ避けて運転する。

覚えておきましょう：スピードの出し過ぎと同様、遅すぎる運転も危険です。これも交通違反となりかねないのでご注意ください。

- **雪や氷の上での運転**

雪や氷の上の運転ルールは「運転しないこと」です。

このような天候にどうしても運転しなければならないときは、以下のヒントに従ってください。

- 運転する前に、自分の車がこうした道路状況に適しているかよく確かめる。
- 余裕をもって停止できるよう前車との間隔を十分にとる。
- 一般の道路状況がよい場合でも、橋、高架路、出口ランプは危険であることをよく覚えておく。
- 横滑りが起きたときは、パニック状態にならず、落ち着いてアクセルペダルから足を離す。どうしても必要でない限りブレーキは踏まないこと。車の後部が滑っている方向にやさしくハンドルを回す。
- 常にシートベルトを着用する。

- **雨と霧**

このような状況のときは運転しないに越したことはありません。.

しかしどうしても避けられないときは、以下のヒントに従ってください。

- 雨が降り始めたときが一番道路の滑りやすいときであることをよく覚えておく。
- 雨や霧のときはヘッドライトを点ける。霧のときにヘッドライトを上向きにしないこと。
- スピードを落とす。
- 前車のテールランプをよく見て、近づき過ぎないこと。

- **夜間**

年配のドライバーは視力が変化するため夜間運転は特に困難になりがちです。

どうしても夜間に運転しなければならないときは、夜間の安全運転に関する以下のガイドラインに従ってください。

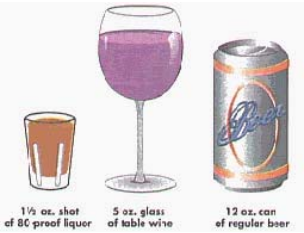
- 慣れた道や道路をできるだけ運転する。
- 対向車のヘッドライトを直接見ない。道路の横の白線に目を向ける。
- 車の前方だけでなく、左右も見るよう一段と努力する。

第6章
運転免許証の停止、取消、無効処分

運転免許証をもつドライバーでも、インディアナ州の交通法規に違反すると運転の特権を失う可能性があります。この章では、どのような場合にこの運転の特権を失うかがまとめられています。インディアナ州での車の運転は権利ではなく**特権**であることを念頭においておくべきです。

裁判所の命令による強制停止処分

インディアナ州法では、ドライバーが特定の交通違反を犯したときに、本人の運転免許証を停止するようBMVに命令する権限を法廷に与えています。このような場合のほとんどは最低の停止期間が義務付けられています。運転免許証は合法的な方法で車を運転する特権を与えているのであって、インディアナ州の交通法規に従わない場合は、それが取り上げられることがあります。



- **飲酒運転による免許証の停止処分**
  インディアナ州のドライバーは、血液中のアルコール分を化学反応で判定するテスト（一般に「呼気アルコール分測定器」（Breathalyzer）と呼ばれる）を受けることに同意しています。飲酒運転で法定制限を越えた血液中のアルコール分（Blood-alcohol content: BAC）が検出された場合は、刑事罪に問われ、車を運転する特権に直ちに大きく影響します。飲酒についての厳しい現実をいうと、どのようなお酒を飲むかではなく、どれだけの量のお酒を飲むかで決まります。12オンス（340g）入りのビール一缶、ワイン5オンス（約142g）、80度の蒸留酒入りカクテル1.5オンス（約43g）にはどれも同じ量のアルコール分が含まれています。

ご注意：　インディアナ州法では、飲酒運転（DWI）で2度死亡者を出す事故を起こしたドライバーに対し、生涯、運転免許証を取り上げるようBMVに義務付けています。

- **呼気アルコール分測定器のテストを拒否した場合**
  警察官によって行われるこのテストを拒否したドライバーは、運転免許証が即座に取り上げられ、最高1年間の免許証停止処分を受けます。

- **呼気アルコール分測定器のテストに落第した場合**
  このアルコール分測定テストを受けて、それに落第した者に対しては、警察官がテスト結果を含む宣誓供述書を法廷に提出し、それがBMVに届いてから最高180日間、運転免許証が停止されることがあります。

- **有罪になった後の停止処分**
  上述の運転免許証の停止処分は有罪になる前のもので、飲酒・薬物の影響下での運転、あるいはBAC 0.08%以上の検出値を出したために有罪になったときは、最低90日、最高2年間の免許証停止処分を課すよう法廷に義務付けています。前歴がある者に対する停止期間は長くなります。初犯で地元の法廷が有罪にしなくても90日間の停止処分は免れられません。
  - ドライバーに前歴がなく、資格がある場合には、法廷により有罪後の停止処分が見送られ、限定的な特権しか与えない保護観察下の免許証の発行が命ぜられるかもしれません。その場合、ドライバーが少なくとも30日間の停止処分を受けたあとに、保護観察下の免許証が有効になります。また、保護観察下の免許証の発行条件として、ドライバーのBACレベルを機械的にテストし、それに通らなければ車を発車させることができないイグニッション・インターロック装置の設置を法廷により義務付けられることもあります。
  - 深刻な刑事罪で有罪になり免許証の停止処分を受けたドライバーは、ハイリスク保険（SR-22の提出）をかけたという証明を保険代理店から受け、それをBMVに提出しなければ、免許証の取り戻すことはできません。この証明書の提出は、ドライバーが自動車損害賠償保険をかけており、事前通知なしにキャンセルできないことを知らせる意味をもっています。

ご注意：　停止処分の終了後3年間は、財務責任（SR-22）保険をかけることが義務付けられています。運転免許証が再発行された後の3年間に、BMVがこの保険のキャンセル通知を受け取ったり、最新のSR-22が提出されていないことが分かったときは、いつでもドライバーの運転の特典を再停止することができます。

- **停止処分中の運転:**免許証の停止処分中に何らかの交通違反で有罪になったときは、最低90日、最高2年間の最低停止処分が現行の停止処分と並行して課されます。

- **自動車に関るその他の犯罪行為:**上述の停止処分に加えて、インディアナ州法では、自動車に関る刑事的無謀行為、刑事上の軽犯罪、さらに非故意殺人、無謀行為による殺人といったもっと深刻な犯罪に対して免許証の最低停止期間を課すよう義務付けています。

- **法廷命令による停止処分：**インディアナ州法で義務付けられた免許証の停止処分に加えて、裁判官には、運転犯罪で有罪になったドライバーに対して1年間の停止処分を課す権限が与えられています。

- **少年の飲酒運転に対する免許証停止処分：**インディアナ州飲酒運転法（「Operating-While-Intoxicated Laws」：IC 9-30-5）の違反により出廷通告が発行されると、少年裁判所は、飲酒運転の疑いがかけられた子供に対して運転の特権の停止を推薦します。

  インディアナ州飲酒運転法（IC 9-30-5）に違反する非行行為（Delinquent Act）を行ったために、この子供は「非行少年」（Delinquent Child）であると少年裁判所が判断したときは、この非行少年の運転の特典を停止するよう少年裁判所は推薦します。

- **緊急用車両、停車中の救助車、停車中の道路舗装車：サイレンを鳴らしたり、赤いランプを点滅させたり、、赤と白、赤と青のランプを交互に点滅させた**緊急用認定車がすぐそばまで接近してきた場合、**ドライバーは、警察官から別の指示を受けない限り、以下に従う必要があります。**

- 先行権を譲る。
- 道路の右側の縁石または路肩に平行し、出来るだけ端に車を寄せて、交差点を開ける。
- この緊急用認定車が通り過ぎるまで同じ位置に停車したまま待つ。

異なる色のランプを相互に点滅させている**停車中の緊急用認定車、停車中の救助車、停車中の道路舗装車**に自分の車が近づいたら以下のいずれかかの行動をとらなければなりません。

- 通行車線が少なくとも4車線あるハイウェイにいて、停車中の車のある方向に最低2車線ある場合は、安全性と交通状況によく気をつけ、できれば停車中の車の隣接車線に入らないように自分の車線を変え、先行権を譲りながら注意深く進む。
- 車線の変更が不可能であるか危険であるときは、車のスピードを落とし、道路事情に応じた安全な速度を保ちながら注意深く進む。

上述の規則の違反者に対して法廷の判決が下されると、BMVはその判決記録を受け取り次第、法廷の推薦に基づいて、この違反者の運転の特権を規定の期間だけ停止します。

交通違反で出廷しなかったとき、または罰金を払わなかったとき

スピード違反や他の違反で警察官から出廷通告を受けたにも拘らず、それに応えなかった場合、あるいは判決が出たにも拘らず罰金を払わなかった場合は、運転の特権の停止につながります。ドライバーが出廷しなかった通知、または交通違反に対する罰金を払わなかった通知を法廷から受け取ると、BMVはこのドライバーの運転免許を停止するよう義務付けられています。このようなときは、このドライバーが出廷するか罰金を払うかして、BMVに処分完了証明書（Proof of Disposition）を出すまで、停止期間は無制限に続きます。

交通違反の常習者

10年以上にわたって繰り返し交通違反を犯す者に対しては、インディアナ州の常習的交通違反者法に基づき厳しい罰則が課されます。ドライバーが交通違反の常習者かどうかを判断する規準として、BMVは以下の項目を使用しています。

交通違反の常習者とは：

交通違反の常習者とは、10年間に以下に該当する回数と種類の違反で有罪になった者を指します。

A. 負傷者または死者を出した主な違反行為を2度犯した場合（10年間の免許停止）。これには以下の項目が含まれます。

- 車の運転の結果生じた無謀な殺人（Reckless Homicide）。
- 車の運転の結果生じた故意または非故意の殺人（Voluntary or Involuntary Manslaughter）。
- 死者または負傷者を出す事故に関与したにも拘らず、事故現場で車を止めず、必要な情報や援助を提供するのを怠ったドライバー。
- 飲酒・薬物の影響を受けた運転で死者を出す。
- BAC 0.08% 以上の状態で運転し死者を出す。

B. 主な違反を3度犯した場合（10年間の免許停止）。これには以下の項目が含まれます。

- 飲酒・薬物の影響を受けた運転、またはBAC 0.08%以上での運転。

- 車に関連した刑事犯罪を犯した結果、免許の停止処分を受けた者が、停止期間中に車を運転する。
- 運転免許証を一度もとったことのない者による車の運転。
- 無謀な運転。
- 車の運転に関連した刑事的無謀行為。
- 違法なドラッグレース（一定の長さの直線を停止状態から発進しゴールまでの時間を競うレース）または他のスピードレース。
- 事故を起こした現場を止まらずに去ること、または事故報告を怠ること。
- インディアナ州の自動車に関する制定法下で重罪（Felony）となる行為、または、車を使った重罪行為。
- 上記「A」に当てはまる違反行為。

C. 交通違反を10回犯し、そのうちの1回が上記の「A」または「B」に含まれる主な違反である場合。

BMVは、ドライバーが10年間に交通違反を10回犯し、そのうちの1回が「A」または「B」に含まれる主な違反行為であった場合は、そのドライバーの運転免許が5年間停止されます。例えば、10年間にスピード違反を9回犯し、さらに無謀運転で有罪になった場合、交通違反の常習者として5年間の免許停止処分の対象となります。

交通違反の常習者として免許停止処分を受けている者による停止期間中の運転：

交通違反の常習者として免許停止処分を受けている者が停止期間中に車を運転したときは、**重罪（FELONY）**となります。これは刑事犯罪としては最も重い犯罪です。このような常習者が停止期間中に車を運転し有罪となったとき、BMVはその通告を受け取り次第、このドライバーの運転免許を生涯取り上げるか、法廷の判決に従って免許を停止しするよう、インディアナ州法により義務付けられています。

自動車損害賠償保険をかける義務を怠ること

有効な自動車損害賠償保険（Automobile Liability Insurance）なく車を運転するのは違法行為です。車両に保険をかけずに運転する者が起こした負傷事故や物件の損傷事故により、何千人ものインディアナ州民が毎年被害を受けています。こうした保険をかけていない運転者による負傷や物件の損害リスクをカバーするために私たちは余計に保険料を払っています。未保険の運転を阻止するため、インディアナ州法は、このような者に対して以下のような制裁規定を設けています。

- **保険をかけていない場合**

  自動車損害賠償保険をかけずに車を運転する者には、90日間の免許停止、または3年間に繰り返し違反を犯している場合は1年間の免許停止が課されます。免許証の再発行に際しては、それが初回か、二回目か、三回目か、それ以上かに応じて150ドル、225ドル、または300ドルの再発行費を払い、しかも保険を現在かけているという証拠として保険代理人または保険会社担当者の署名入り証明書を提出しなければなりません。

- **保険の証明書を提出しなければならないとき**

  保険をかけずに車を運転することはクラスAの違反となります。加えて、交通違反で出廷する者に対して、違反行為を犯した日付現在で保険をかけていたかどうかを証明する書類を提出するよう要請されることがあります。このような要請は以下の2つの場合に行われます。

  “A” 事故後

  事故を起こすと、州警察に送られた事故情報はすべてBMVにも送られます。保険会社の方から州警察に保険情報が送られてこなかった場合、ドライバーの正式な運転記録に記載された住所に、財務責任の証明書（すなわち自動車損害

賠償保険）を「遵守証明書（Certificate of Compliance）」という形で提出するよう要請する書簡が送られます。これを受け取ったドライバーは、自分の保険会社の代理人に連絡して遵守証明書に情報を記入してもらい、40日以内にBMVに返送しなければなりません。この遵守証明書を規定通りに返送しなかった場合には上述の免許停止処分を受けることになります。

“B” 特定の交通違反を犯した後

BMVのポイント制に該当する交通違反を起こしたために、法廷から判決または有罪の通知書がBMVに送られてくると、以下の場合に遵守証明書が、ドライバーの正式な運転記録に載っている住所に送られます。

- BMVが交通違反の通知書を受け取り、それに該当するポイントを賦課する際に、このドライバーには、過去12ヵ月間に少なくとも2件の交通違反と、それに該当するポイントがすでに記録されている場合。
- 交通違反が重罪（Felony）または軽罪（Misdemeanor）である場合。
- ドライバーが以前にも適切な保険をかけていなかったために免許停止処分を受けている場合。このドライバーがさらに免許停止処分を受けずに済むようにするには、前述と同様の手順で40日以内に遵守証明書の情報を記入しBMVに返送する必要がある。

ご注意：　非常に重要！　常に最新の住所をBMVに知らせておくこと：
BMVでは、毎年何千人ものドライバーに保険証明書の提出リクエストを送付しています。**引越などで住所が変わったときにBMVに変更通知を出すことは法律で義務付けられています**。BMVからの正式な通知が各自に必ず届くようにするためにも、これは非常に重要です。BMVの通知に対する回答を指定日までに送付すれば、不要に免許証の停止処分を受けずに済みます。住所変更通知をBMVに出すには、免許証を扱う最寄りの支店で運転免許証の変更申込みを行ってください。

さらに、住所変更を証明する書類とともに以下の住所宛に書面で変更通知を出すことも可能です。

Bureau of Motor Vehicles Driver Services Division
Room N405 Indiana Government Center North
100 North Senate Avenue Indianapolis, Indiana 46204

学校の中途退学、停学処分、退学処分を受けた者に対する免許証の無効措置

インディアナ州法では、以下に該当する18才未満の者の運転免許証を無効にする通知を校長からBMVに提出するよう義務付けています。

- 退学処分か、2度目の停学処分を受けた者。
- 自主退学した者（金銭的な問題以外の理由で辞めた場合）。
- 無断欠席の常習者。

退学処分、停学処分、中途退学の場合は最低120日間、免許証が無効になるほか、無断欠席の常習者や自主退学した場合は本人が18才になるまで、あるいは、本人が学校に戻りきちんと通学するようになるまで免許証が無効になります。

度重なる違反行為（運転記録に「ポイント」が過剰に累積したとき）

- BMVの運転者改善安全責任（DISR）部門：DISR部門では、短期間に何度も違反を行った者を判別しています。BMVは、インディアナ州法に基づいて、各交通違反行為に対してポイントを賦課するルールを設けています。ポイントの数は違反行為がどれほど深刻な交通安全リスクを伴うかに関係しています。各違反につきその範囲は2ポイントから8ポイントまであり、違反の種類によって異なります。例えば、

規定の制限速度より時速15マイル以内の超過であれば2ポイント、飲酒・薬物の影響下での運転で有罪になったときは8ポイント課されます。このポイントは出廷通知書に記入された有罪の日付から2年間、有効ポイントとして運転記録に残ります。

- 行政公聴会：2年間に有効ポイントを18点以上累積させたドライバーに対しては、行政公聴会への出頭通知が出され、ドライバーはこの公聴会に出頭しなければなりません。公聴会では議長に当たる人が、このドライバーを保護観察下に置くかどうか、30日から最高1年間の免許停止処分にするかどうか、あるいは、保護観察または免許停止の命令に加えて、BMV認定の運転者改善プログラムなど、別の条件を賦課するかを決定します。
- 行政公聴会への出頭を怠った場合：本人が指定の公聴会に時間通り出頭しなかった場合でも、本人の欠席のまま公聴会が開かれ、このケースに関してどのような措置をとるかが公聴会の担当官により決定されます。

BMVの運転者改善プログラム：

BMVでは、守勢的運転の教科を始めとする運転者改善プログラムを実施しています。受講者は教室形式か自宅学習形式かいずれかを選択することができます。

いつ必要か：

- 法廷からの命令：判事には、交通違反を犯した者に対して運転者安全コースをとるよう命令する権限があります。判事の決定の中には、運転免許の停止処分を命ずる代わりに、このコースを受けるのを条件とする場合もあります。
- BMVの規定：12ヵ月間に交通違反を2度以上犯し有罪になった者は、BMVの規定に従って認定の運転者改善プログラムを受講しなければなりません。このコースを修了しなかった者、あるいは規定の期間内に受講料を支払わなかった者は、運転免許が停止されます。

交通安全コースを提供するBMVの認定会社

BMVでは、インディアナ州市民にBMV認定の運転者改善プログラムを提供する企業を限定的に認めており、このようなプログラムを修了した者には4ポイントのクレジットが与えられます。BMV認定運転者改善プログラム（DIP）を提供する企業の情報を入手したい場合は、BMVに電話で問い合わせるか（317-233-6000 オプション1を選択）、BMVのウェブサイト（www.bmvexpress.IN.gov）をご覧ください。

ご注意： 選択した会社がBMV認定の運転者改善プログラムを提供する企業かどうかを確認してください。

BMVの認定会社が提供する運転者改善プログラム（DIP）をきちんと修了した場合は、本人の運転記録に4ポイントのクレジットが記録されます。

どのBMV認定コースも受講料は最高45ドルです。

修了結果が処理されるまでに7～10日かかります。料金は小切手か送金為替で受講する会社にお支払いください。BMVに送金なさらないようお願いします。

自発的な受講：

- 標準の運転者改善プログラム・コース：BMV認定の運転者改善プログラムは誰でも受講できます。このプログラムは守勢型運転テクニックをまとめた優れたコースであるとともに、運転技術を刷新したいというドライバーにも役立ちます。このコースを奨励するため、修了者のインディアナ州運転記録に4ポイントのクレジットが3年間表示されます。

- 詳細のお問合せ：上述のプログラムに関する詳しい情報は、BMV運転者改善プログラム部に電話で連絡するか（317-233-6000、オプション1を選択）、BMVのウェブサイト（www.bmvexpress.IN.gov）をご覧ください。運転者改善プログラム・コースを受講したいときは提供会社のリストから選んで、そこへ直接ご連絡ください。

運転手改善プログラム・コースの強制的受講を怠ったとき：

BMV認定の運転者改善プログラムを受けるよう法廷から命令された者、または、12ヵ月間に交通違反を2度以上犯し有罪になったためにこのプログラムを受けるよう義務付けられた者が、BMVの規定する期間内にこのコースを修了しなかった場合は、このドライバーの運転の特権が取り上げられます。コースの修了を怠った場合だけでなく、コース料金を支払わなかった場合も免許停止処分の対象となります。運転者改善プログラムの受講を義務付ける通知は郵送されます。そのため、住所が変わった場合は、BMVに必ず変更通知を出してください。BMVからの通知を受け取らなかったために免許停止処分を受けるような事態を回避できます。

以下は違反例とそれに課されるポイント数を示しています。
（スピード違反の場合は状況によってポイント数が異なります）

スピード違反：	
制限速度を1〜15 mph 超過	2 ポイントの違反
制限速度を16〜25 mph 超過	4 ポイントの違反
制限速度を26 mph以上超過	6 ポイントの違反
ヘッドライトの未使用	2 ポイントの違反
ブレーキランプまたはシグナルランプ未点灯	2 ポイントの違反
『停止』／『譲れ』の標識無視	6 ポイントの違反
緊急用車両に先行権を譲るのを怠った	8 ポイントの違反
不適切なUターン	4 ポイントの違反
前車に接近し過ぎ	6 ポイントの違反
安全性に欠けた車線上の動き	4 ポイントの違反
先行権のある者に譲らなかった	6 ポイントの違反
路上スピード・レース	8 ポイントの違反
オートバイの不適切なヘルメット	4 ポイントの違反
オートバイの不適切な乗り合い	4 ポイントの違反
免許停止中の運転 （DWI）	8 ポイントの違反

BMVに不渡り小切手で支払った場合

インディアナ州法により、BMVのサービスに対する料金の支払いに、不渡り小切手を書いた者に対して、BMVは運転免許を無制限に停止します。運転免許を再発行してもらうには、支払い金額に20ドルの手数料と5%の不渡り小切手料を加えた金額を支払う必要があります。

飲酒・薬物の影響下での船や水上機の操縦、または船や水上機に関する他の違反による免許停止処分

飲酒・薬物の影響下で船や水上機を操縦することは、同様の状態で車を運転するときと同じように危険であり違法行為です。飲酒・薬物の影響下で船や水上機を操縦して有罪になったときは、同様の状態で車を運転して有罪になった場合と同じ最高・最低期間だけ免許証が停止されます。さらに、この有罪判決はBMVに通知され、免許停止処分が実施されるほか、ドライバーの運転記録にも載せられます。また、他者の安全を脅かすような無謀な操縦や、免許停止処分を受けている間の操縦など、他の船や水上機に関

連した犯罪も同じようにBMVに通知されます。

子供の養育費の支払いを怠ったことによる免許停止処分

子供の後見人ではない親が養育費の支払いを義務付けられているにも拘らず、それを支払おうとしない場合も、今では免許停止処分の対象となる可能性があります。養育費を支払わない親には次の二通りの形で免許証が停止されることがあります。

- 法廷の命令による免許停止：
  法廷は、子供の養育費の支払いを故意に行わない親に対して、直ちに免許証を停止するようBMVに命令することができます。このようなときは、この親が法廷を満足させる形で養育費を支払い始めるまで停止処分は無期限に続きます。
- 行政当局の命令による免許停止：
  養育費の支払いが3ヵ月以上遅れているか、2000ドル滞納している親に対し、子供の養育費支払いを管理する地元の行政当局がBMVに命令を発して、20日以内にこの親親が滞納分を支払い、毎月の給与から自動的に引き落とされるよう手配するか、あるいは、養育費の支払い遅延に対して異議を申し立てるかしない限り、当人の免許証を無期限に停止することができます。

いたずら書きに対する免許停止処分

いたずら書きを行ったことで有罪になった場合は、法廷の任意の判断により、最高1年間、免許証が停止されることがあります。

他の理由による停止処分

BMVは、適切な理由を入手したときには、免許証または許可証、あるいはその両方、登録証明書、ライセンスプレートの無効措置または停止処分を実施することがあります。

第7章
車両の所有権獲得と登録

車両の所有者証明書

所有者証明書（Certificate of Title）は車両の所有権を明らかにする書類です。インディアナ州民が州内で使用するために車両を購入したときは、購入日から31日以内に所有権を確立しなければなりません。31日を超えた場合は遅滞料が課されます。

- **所有権証明書はどこで入手できるか：**
  インディアナ州内の免許証を扱う支店であればどこでも申請することができます。
- **売上税の支払い：**
  自動車の認可ディーラーから車を購入しなかったときは、購入価格に基づいて売上税を免許証取扱い支店に支払わなければなりません。認可ディーラーから購入する場合は購入時に売上税をディーラーに支払うことになります。
- **必要な書類と情報：**
  - 販売者による所有権の譲渡：新しい所有権証明書を申請する者は、車を売った者がもっていた所有権証明書または製造地証明書（新車の場合）を提出して、車両が申請者に譲渡されたことを示す必要があります。
  - 走行距離計の数値表明書：車の所有権が変わるときは必ず販売者が走行距離計の示す数値を表明書に記入するよう州法と連邦法の両方によって義務付けています。この表明書は普通、所有権証明書の中に含まれています。
  - 他州で所有権証明書が発行された車：申請者に譲渡される所有権証明書が他の州で発行された場合、購入者は、警察官の署名入り表明（この欄はインディアナ州検査書式（Indiana Inspection Form）の中に含まれているはずです）を入手しなければなりません。あるいは、免許証取扱い支店の職員が、州外で発行された所有権証明書の車識別番号（Vehicle Identification Number: VIN）と車両に表示されたVINとを照らし合わせて認証することもあります。
  - 社会保障番号（Social Security Number）か連邦雇用者識別番号（Federal Employer Identification Number）：インディアナ州法（IC 4-1-8-1）は、課税と身元証明を目的として、申請者が州内で車の所有権証明書を取得するときに社会保障番号を提出するよう義務付けています。法人がこの証明書を取得する場合は、申請時に連邦雇用者識別番号を提出しなければなりません。社会保障番号か連邦雇用者識別番号なしに所有権証明書が発行されることはありません。
  - 新規住民に対する規定：インディアナ州へ移転してきた新規住民は、インディアナ州居住者になってから60日以内に各自の車両の所有権証明書を取得しなければなりません。その際、以前住んでいた州の所有権証明書を提出し、州外で発行された所有権証明書のVINと、対象となる車両に表示されたVINが同じかどうかを証明する警察官の表明書か、免許取扱い支店の職員の認証を得る必要があります。

ご注意：　車両が借入の担保となっている場合は、申請者に代わって担保権保有者から申請者の所有権を提出してもらうよう免許取扱い支店からリクエストされます。従って、申請者は担保権保有者の情報も提供しなければなりません。

- **車両の登録とライセンスプレート：**
  車両を合法的に運転するには、予め正しく登録し、車の後方に最新のライセンスプレートが掲示されていなければなりません。また車の登録とライセンスプレートを取得するには、予め車の所有権が確立されていなければなりません。

- **車の登録場所と登録方法：**
  - 新車の購入：購入した車が新車の場合はインディアナ州内の免許取扱い支店に本人が行って登録します。正しく登録を済ませると、申請者に新しいライセンスプレートが発行されるか、これまでもっていたインディアナ州ライセンスプレートに移転されます。
  - 登録の更新：BMVは、記録上のドライバー全員に対し、サービスの一環として、更新通知を事前に郵送しています。BMVでは、最寄りの免許取扱い支店で個人的に登録することに加えて、標準車両の登録であれば、以下の4通りの便利な登録方法を提供しています。なお、有効なライセンスプレートが掲示されているか、あるいは更新ステッカーがライセンスプレートに貼られていない限り、車両を合法的に登録または更新したとみなされませんのでご注意ください。

BMVエクスプレスを使った四通りの更新方法

インターネット（My License Plate）
お手元のコンピュータからインターネットを通じて、車のライセンスプレートと登録の作業を日夜いつでも都合のよいときに10分以内に済ませられます。以下の情報をお手元に用意して、ウェブサイトサイト**www.bmvexpress.IN.gov**にアクセスしてください。

- ライセンスプレート番号
- 社会保障番号
- 保険情報
- マスターカードかビザのクレジットカード、またはデビットカード

BMVの安全なウェブサーバーを通じて各自の個人情報と支払い情報を入力してください。新しいライセンスプレートまたは登録証明書が約10営業日後に郵送されてきます。

セルフサービス・ターミナル（SST）
ライセンスプレートまたは登録証明書が郵送されるまで10日間も待てない場合、州内36ヵ所に設置されたセルフサービス・ターミナルを利用すると登録更新をその場で行い登録証明書を入手することができます。ほとんどのSSTは24時間アクセスでき、個人小切手、マスターカードかビザのクレジットカード、またはデビットカードを使えます。車の登録証明書、社会保障番号、保険情報、支払方法をお手元に用意したうえで、最寄りのSSTで更新してください。

タッチトーン電話による更新
タッチトーン電話を用いてライセンスプレートと車両登録を行うときは、以下のフリーダイヤル番号を利用してください（**1.877.4NEW.BMV**）。BMVのタッチトーン更新システムで更新するときは以下の項目をお手元にご用意ください。

- マスターカードまたはビザのクレジットカードまたはデビットカード
- **車両登録通知に掲載されたPIN 番号**

タッチトーン電話で上記の番号にかけ、PIN番号を入力し、個人情報を確認し、支払い情報を述べてください。新しいライセンスプレートまたは車両の登録証明書は10営業日以内に郵送されてきます。

郵送による更新
ライセンスプレートや車両登録の更新を郵送で行うのも、さして時間はかかりません。郵送されてきた更新通知書のカードに必要項目を記入し、返送していただくだけで完了です。更新通知を受け取らなかった場合は、BMVに電話して（317.233.6000 ）、送付してもらってください。更新カードは、受け取り次第処理されますので、運転できるようになるまで長い間待つ必要はありません。なお、ライセンスプレートと登録書が送られてくるまでに1〜3週間かかります。

- 登録後：
送られてきた新しいライセンスプレートを直ちに車の後部に取り付けるか、または、**既存のライセンスプレートの右上コーナーに、以前のステッカーを覆うようにして新しいステッカーを貼ってください**。登録証明書の各自のコピーに署名して、常に車内においておくこと。警察官から提示を求められたときに、その場で見せる必要があるからです。
- 車の物品税：
- インディアナ州では、申告総重量が3,000ポンド以下の乗用車、オートバイ、あらゆるトレーラー、それに申告総重量が11,000ポンド以下のトラックに対して、物品税（Excise Tax）が課されます。この税金は車両の登録時に全額支払う必要があります。BMVは、収集した物品税を登録者の在住する郡に分配します。これを受けた地元コミュニティーは学校、消防、警察などの基礎サービスに利用します。
- 車両の追徴／ホイール税：
インディアナ州内の中には、ホイールの数に応じて追徴税(Sur/Wheel Tax)を賦課する郡もあります。この税金は登録者の住む町に配分されます。

インディアナ州車両管理局（BMV）の歴史

1905年　この年のインディアナ州議会で、州内の車両の規制管理を行う最初の法律が制定される。金属製の円形の紋章に番号が表示されたが、この登録料は1ドルで車を所有している限り有効。この年に発行された紋章は4,253件。以下のようなスピード制限法が導入される。

ビジネス街と住宅街：時速8マイル
その他の市中および町中：時速15マイル
郊外・田舎道：時速20マイル

州議会は、当時「州長官自動車局」（Automobile Department of the Secretary of State）と呼ばれる部門の運営費として200ドルを計上。

1911年　初のライセンスプレート発行。

1912年　インディアナ州内の車両数およそ5万台に達する。

1920年　インディアナ州登録車数333,067台に達する。

1925年　最高制限速度が時速35マイルになり、執行権限が州警察に授与される。

1929年　ライセンスプレートの配布に当たり、州内に129件の免許証取扱い支店を設置。あらゆるドライバーに免許証の取得を義務付けた法律「Motor Vehicle Operators and Chauffeurs License Law」が州議会により制定される。

1945年　州議会により下院法案410で車両管理局（Bureau of Motor Vehicles）を創設。当時の知事ラルフ・ゲイツにより署名されて法制化される。

1971年　車両の登録更新が郵便で可能になる。

1991年　臓器寄贈プログラムが導入され、資金調達とインディアナ州に貢献する組織を認識する目的で、特別認識ライセンスプレート・プログラムが発足。

1993年　ライセンスプレートを毎年発行する代わりに、複数年数だけ有効な更新ステッカーを発行し始める。

1994年　「問題のあるドライバーの指摘システム（PDPS）」にインディアナ州が参加。このシステムは、運転の特権に逆らうような有害な行為を他の州で行った者に対して免許証の発行を阻止する目的をもつ。

1995年　「全国選挙者登録法」、略称「Motor Voter」の法律に基づき1月1日に全米最初の選挙民がインディアナ州で登録。

1997年　7月1日、BMVは、免許証の失効日を各ドライバーの誕生月末ではなく、ドライバーの誕生日にすることに決定し実施に移す。また、BMVのウェブサイト第一号がオンライン化され、標準車両の登録更新がインターネットで行えるようになる。さらに、車両の登録更新を10分以内にできるセルフサービス・ターミナルを導入。

1999年　免許取扱い支店でデジタル免許証の発行開始。これによりBMVは映像検索能力を持つようになる。

2001年　ドライバーの在住する郡とは関係なく、どの郡でも車両登録が行えるようになる。

2004年　同年3月、中央認証プロセスが実施される。これにより、IDカードを発行する前に、申請者が提出した移民書類の信憑性を市民権移民局の記録と照らし合わせて確認できるようになる。

2005年　顧客との業務処理をより正確かつ便利にできる新コンピュータシステム「STARS」が導入される。

現在　およそ550万台の登録業務を処理。

2006年4月印刷

インディアナ日米協会

インディアナ州日本語版運転者マニュアルは、インディアナ日米協会のアレンジにより作成されました。

インディアナ日米協会(JASI)は、米国インディアナ州と日本を結ぶ架け橋として設立された非営利の文化交流団体です。1988 年に、地方自治体、ビジネス、教育分野のリーダーにより設立され、現在ではインディアナ全州にわたり、1,500 人を超える企業および個人会員が所属しています。昨今の日米間におけるビジネス、政治、経済等の問題を取り上げたプログラムの企画、また会員同士のネットワーク作りや親睦に貢献するイベントを運営しています。

また当協会はインディアナ州にお住まいの方々にとって、情報センター的役割を果たしています。
日本人会員の皆様には、インディアナ州での生活に欠かせない情報の提供や様々なお手伝いをさせていただいており、アメリカ人と日本人のスタッフがその問い合わせの対応にあたっています。

当協会の重要な役割の一つは、インディアナで生活を始めた日本人がなるべく早くアメリカでの生活に慣れるためのお手伝いをすることです。日本人のための日本語によるセミナー「アメリカでの生活」プログラム・シリーズは、医療制度、教育、法律、運転免許、銀行などの、米国での生活における重要な情報を提供しています。また日米協会では、インディアナ全州における旅行者情報、実用的な生活のヒント、教育・文化のトピックスが満載の日本語による情報誌『インディアナ生活ガイドブック』を発行しています。

またインディアナ日米協会では、近代的または伝統的な日本文化のプログラムやイベント、講義、展示、お祭りなど様々な形を通して、インディアナ州民および個人会員の皆様に日本文化と芸能を紹介する素晴らしい機会を提供しています。

インディアナ日米協会では、日本人社会に影響がある BMV の規定変更を監視しており、最新情報を会員の皆様にお知らせしています。また当協会では、インディアナ運転免許の筆記試験を受験する際に通訳をすることができる BMV 認定通訳者のリストを整備しています。また BMV 認定通訳者試験にご興味のある方に、そのお手伝いもしております。

Japan-America Society of Indiana, Inc. インディアナ日米協会
Union Station, 39 W. Jackson Place, Suite 50, Indianapolis, Indiana 46225
TEL: 317-635-0123　FAX: 317-635-1452
www.japanindiana.org　email: jasi@japanindiana.org

The Japan-America Society of Indiana (JASI)

The Japanese version of the Drivers Manual was facilitated by the Japan-America Society of Indiana.

The Japan-America Society of Indiana (JASI) is a not-for-profit cultural and educational organization whose mission is to serve as a bridge of friendship and cooperation between the people of Indiana and Japan. Founded in 1988 by community, business, and academic leaders, membership in the Society includes over 1500 corporate and individual members located throughout the state. JASI sponsors programs dealing with current issues in the Japan-U.S. relationship and organizes opportunities for networking, and business development.

The Society's office serves as an information clearinghouse for Japan-related resources in Indiana. JASI's bilingual staff provides personal support to Japanese individuals, family members, and executives, and responds in Japanese to requests for assistance, practical living information, and educational information.

An important function of JASI is to ease the transition into American life for Japanese individuals living in Indiana. The "Living in the USA" Program Series offers seminars for Japanese, in Japanese, on important topics for adjusting to life in the United States. Topics include healthcare, education, law, driving, and banking. Further, JASI has published the "Indiana Guidebook in Japanese," a 300-page Japanese-language resource book, which is an excellent source of information about tourist attractions, practical living tips, and educational and cultural topics for all regions of Indiana.

The Japan-America Society of Indiana presents Hoosier communities with wonderful opportunities to appreciate Japanese culture and performing arts. The Society regularly presents programs and events on contemporary and traditional Japanese culture for its individual members through lectures, exhibits, events, and festivals.

JASI also monitors changes in BMV policies that may affect the Japanese community in Indiana and issues bulletins to its members informing them of the latest developments. JASI also maintains a database of authorized BMV interpreters who are qualified to assist individuals in taking the written test for an Indiana Driver's license. We also encourage and assist those qualified individuals who would like to become authorized BMV interpreters.

Japan-America Society of Indiana, Inc. インディアナ日米協会
Union Station, 39 W. Jackson Place, Suite 50, Indianapolis, Indiana 46225
TEL: 317-635-0123 FAX: 317-635-1452
www.japanindiana.org email: jasi@japanindiana.org